LTE USB DATA ADAPTOR **UX302NCR**

取扱説明書



P020-052

はじめに

このたびは、「UX302NC-R」（以降、本製品と呼びます）をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本製品を安全に正しく使用いただくため、ご使用の前に必ずこの取扱説明書をお読みいただき、安全に正しくお取り扱いください。
特に「安全上のご注意」（4～9 ページ）と「ご使用上のお願い」（10～12 ページ）は、必ずお読みいただき、安全に正しくお取り扱いください。
お読みになったあとは、いつでも見ることができるようにお手元に大切に保管してください。

おことわり

本書内で使用されている表示画面・イラストなどは説明用に作成されたもので、実際の画面・イラストとは異なる場合があります。
本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
本書の内容については万全を期してはおりますが、正確性を保証するものではありません。
万一ご不審な点や記載漏れなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。

■ ご注意

- ハードウェア、ソフトウェア、外観に関しては、予告なく変更されることがあります。

■ 商標について

- Microsoft®、Windows®、Internet Explorer®、Microsoft Edge は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Mac、mac OS、Safari は、米国およびその他の国で登録された米国 Apple. Inc.の登録商標または商標です。
- Intel®、Pentium®、Celeron®は、Intel 社の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Adobe、Adobe ロゴ、Adobe Reader は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- その他、商品名および製品名などは一般に各社の商標または登録商標です。
- Google、Android、Google Chrome は、Google LLC の商標です。
- その他の社名および商品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。なお、本文中では、TM、® マークを省略している場合があります。

梱包品の確認

ご使用の前に下図のものが全て入っているかご確認ください。
万一、不足しているものがありましたら、お買い上げの販売窓口にお問い合わせください。

□本体



□クイックスタートガイド



本製品には次のものが収録されています。

- UX302NC Data Connection Manager
- UX302NC-R Device Setting Tool
- 各種ドライバ
- 取扱説明書(PDF)・・・本書

お知らせ

- UX302NC Data Connection Manager は、UX302NC、UX302NC-R で使用可能なパソコンにインストールして使用する接続ソフトです。
- UX302NC-R Device Setting Tool は本体ファームウェアバージョン v2.1.7 以降に収録されている Windows のパソコンにインストールして使用するソフトです。
- UX302NC でご使用になる場合、一部機能に制限があります。
  Windows の場合は、(「接続方式とネットワークを設定する」⇒51 ページ)をご覧ください。
  macOS の場合は、(「接続方式とネットワークを設定する」⇒79 ページ)をご覧ください。

お 願 い

- ソフトウェアの仕様は、予告なく変更する場合があります。最新のソフトウェアについては当社ホームページをご覧ください。

本製品のご利用について

- 本製品は、LTE・W-CDMA・GSM/GPRS 方式に対応している SIM ロックが設定されていない製品です。
- 本製品は無線を使用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない場所、屋外でも電波の弱い場所ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい場所であってもご使用になれない場合がありますので、ご了承ください。
- 本製品は防水/防塵性能を有しておりません。湿気やほこりの多い場所でのご使用はおやめください。
- お客様ご自身で本製品に設定されたデータは、定期的にメモを取る、パソコンなどの外部記録媒体に保管していただくようお願いします。本製品の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万が一、設定された内容が消失してしまうことがあっても、当社としては一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- データ量の大きい通信を行うと、パケット通信料が高額になりますのでご注意ください。
- 紛失に備え本製品のお買い上げ時のパスワードの設定を変更の上保管いただき、本製品のセキュリティを確保してください。
- 本製品を廃棄する場合は、必ず初期化してください。
  内部に保存された APN プロファイル情報や、お客様のサービス利用情報（個人情報等）が第三者に復元・悪用される恐れがあります。

本製品の主な機能

受信時最大 150Mbps、送信時最大 50Mbps に対応しています。
通信速度は、送受信時の技術規格上の最大値であり、実際の通信速度を示すものではありません。ベストエフォート方式による提供となり、実際の通信速度は、通信環境やネットワークの混雑状況に応じて変化します。

パソコンに接続ソフトウェア(Connection Manager)をインストールしてモデム接続する USB モデムモードとドライバがインストールできない機器に接続し Web ブラウザを使用して各種設定をすることができるルーターモードをご利用いただけます。
お買い上げ時は USB モデムモードに設定されています。

お知らせ

ルーターモードは本体ファームウェアバージョン v2.1.7 以降でご利用いただけます。

安全上のご注意

安全にお使いいただくために必ずお読みください

- この「安全上のご注意」には、本製品を使用するお客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、守っていただきたい事項を記載しています。安全にお使いいただくために必ずお読みください。
- 各事項は以下の区分に分けて記載しています。

表示の説明

⚠危険	⚠警告	⚠注意
この表示は「人が死亡または重傷※1を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容」を示しています。	この表示は「人が死亡または重傷※1を負う可能性が想定される内容」を示しています。	この表示は「人が傷害※2を負う可能性が想定される内容や物的損害※3の発生が想定される内容」を示しています。

※1「重傷」とは、失明・けが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、または治療に入院や長期の通院を要するものを指します。

※2「傷害」とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど（高温・低温）・感電などを指します。

※3「物的損害」とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害を指します。

図記号の説明

		
この絵表示は、行ってはいけない[禁止]の内容を示しています。	この絵表示は、分解してはいけない[禁止]内容を示しています。	この絵表示は、必ず実行していただく[強制]の内容を示しています。

免責事項について

- 地震や水害などの天災および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品の故障・誤作動・不具合・通信不良、停電・落雷などの外的要因、第三者による妨害行為などの要因によって、通信機会を逃したために生じた損害などの純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 通信内容や保持情報の漏えい、改ざん、破壊などによる経済的・精神的損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品の使用または使用不能から生じる付随的な損害（記憶内容の変化・消失、事業利益の損失、事業の中断など）に関して、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 当社が関与していない接続機器、ソフトウェアとの組合せによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品の使用者は、当社がホームページに公開している最新ソフトウェアに適時に更新し、製品およびサービスの安全性を維持してください。適切な更新を行わなかったことによる不具合や損害については、当社は一切の責任を負いません。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

本製品について

⚠危険　**必ず、以下の危険事項をお読みになってからご使用ください。**

引火や爆発のおそれがある場所（ガソリンスタンドなど）、高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、コタツの中、炎天下の車内、直射日光の当たる場所、炎天下など）や引火性ガスの発生するような場所での使用や放置はしないでください。
爆発・発火・破裂・故障・火災の原因となります。
またケースの一部が熱くなり、やけどの原因となることがあります。

電子レンジや高温容器などの中に本製品を入れないでください。
発火・破裂・故障・火災の原因となります。

火の中に投入したり、加熱したりしないでください。
発火・破裂・火災の原因となります。

本製品の使用により、皮膚に異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。
お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。各箇所の材質については以下をご参照ください。
「材料一覧」⇒9 ページ

⚠警告

必ず、以下の警告事項をお読みになってからご使用ください。

落下させる、投げつけるなど強い衝撃を与えないでください。
発熱・発火・破裂・故障・けがの原因となります。

分解や改造をしないでください。
故障・発火・感電・傷害の原因となります。
修理・点検などのご相談は当社窓口にお問合せください。

本製品は防水仕様ではございません。水などの液体をかけたりしないでください。また、水などが直接かかる場所や風呂場など湿気の多い場所での使用、または濡れた手での使用は絶対にしないでください。
感電や電子回路のショート、腐食による故障の原因となります。（雨天・降雪中・海岸・水辺などでの使用は特にご注意ください。）万一、液体がかかってしまった場合には直ちにご使用のパソコンから抜き取ってください。水に濡れた場合や湿気による故障は保証外となり、修理ができません。

運航の安全に支障をきたすおそれがありますので、航空機内では使用しないでください。（電源をお切りください。）
電子機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因となります。

心臓ペースメーカや医療機器（補聴器など）の近くで使用しないでください。電波によりそれらの装置・機器に影響を与える場合がありますので、以下のことを守ってください。

満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカを装着している方がいる可能性がありますので、本製品の使用を控えてください。

機関の屋内では以下のことを注意してください。

手術中、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室(CCU)に本製品を持ち込まないでください。

病棟内ではパソコンの電源を切り、使用しないでください。

ロビーなどであっても付近に医療機器がある場合は本製品を使用しないでください。

医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。

医療機関の外で心臓ペースメーカ以外の医療機器を使用される（自宅療養など）は、電波による影響が無いか、個別に医療機器メーカーなどにご確認ください。

機器内部（端子部など）に金属物などの異物を入れないでください。

発熱・発火・感電・故障の原因となります。

高精度な電子機器の近くでは電源をお切りください。

電子機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因となります。（影響を及ぼすおそれがある機器の例：ペースメーカ・補聴器・その他医療機器・火災報知器・自動ドアなど。医療機器をお使いの場合は機器メーカーまたは販売者に電波による影響についてご確認ください。）

落雷のおそれがあるときはパソコンの電源を切り、電源プラグを抜いてください。

落雷、感電、発火の原因となります。また屋外の場合は安全な場所へ移動してください。

⚠注意　必ず、以下の注意事項をお読みになってからご使用ください。

直射日光の当たる場所（自動車内など）や高温になる場所、極端に低温になる場所、湿気やほこりの多い場所に保管しないでください。
変形・故障の原因となる場合があります。

温度変化の激しい場所（クーラーや暖房機のそばなど）に置かないでください。
内部に結露が発生し、感電・火災・誤動作・故障の原因となる場合があります。

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所に置かないでください。
落下してけがや破損の原因となります。また、衝撃などにも十分ご注意ください。

幼児の手の届く場所には置かないでください。
傷害などの原因となる場合があります。

無理な力がかかるところ（ズボンのポケット、かばんの底など）に入れないでください。
破損・故障の原因となります。

湿気の多い場所で使用しないでください。
身に付けている場合は汗による湿気が故障の原因となる場合があります。水に濡れた場合や湿気による故障と判明した場合は保証の対象外となり、修理できません。

お客様による修理などは危険ですから、絶対にしないでください。

使用中に煙が出る、においがする、異常な音がする、発熱しているなど異常が起きたら使用しないでください。
異常が起きた場合は接続機器から外してご連絡ください。また、水に濡れたり、落下したり、破損したりした場合などもそのまま使用せず、ご連絡ください。

SIM カードについて

⚠警告

必ず、以下の警告事項をお読みになってからご使用ください。

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。
誤って口に入れたり、飲み込んだり、けがなどの原因となります。

⚠注意

必ず、以下の注意事項をお読みになってからご使用ください。

SIM カードに無理な力を加えないでください。
破損する原因となります。

本製品へ SIM カードを脱着する際、必要以上の力をかけないでください。
SIM カードまたは本製品の破損、手や指を傷つける原因となります。

SIM カードを分解、改造しないでください。
データの消失、故障の原因となります。

IC 部を傷つけないでください。また、ショートさせないでください。
故障の原因となります。

お知らせ

- SIM カードの取り付け、取り外しについては、(「SIM カードを取り付ける/取り外す」⇒22 ページ)をご覧ください。

材料一覧

使用箇所	材質／表面処理
外装ケース表面(本体カバー)	PC 樹脂／塗装
外装ケース本体ラベル面	PC+ABS 樹脂
外装ケース裏面、側面 USB コネクタ回転部	PC+ABS 樹脂／塗装
LED レンズ	PC 樹脂
USB コネクタ	ステンレス

使用上のご注意

お取り扱いについて

- **本製品を次のような場所で使用したり、放置したりしないでください。**
  - ・極度に高温や低温の場所
  - ・直射日光の当たる場所
  - ・湿気が多い場所や水がかかる場所
  - ・ほこりの多い場所
  - ・静電気が発生する場所
  - ・小さなお子様の手の届く場所
- **薬品や有害なガスに触れる可能性のある場所**
- **本製品を落とすなど、強い衝撃を与えないでください。**
- **本製品を曲げたり、重いものを乗せたり、無理な力を加えないでください。**
- **電子レンジ（電磁波が発生しているところ）の近くで本製品を使用しないでください。**
- **電子レンジの近くで使用すると通信速度が低下したり、データ通信が切れる場合があります。本製品を電子レンジから離して使用してください。**
- **万一、本製品から異常な発熱や発煙、異臭が生じた場合は、直ちにご使用のパソコンから抜き取ってください。お客様による修理は危険ですので、絶対におやめください。**
- **使用中、本製品が熱くなることがありますが、手で触れることのできる温度であれば異常ではありません。そのままお使いください。ただし、長時間触れたまま使用すると低温やけど※になるおそれがありますので注意してください。**
- **本製品をパソコンへ接続した状態で、パソコンをカバンやケースに収納しないでください。**
- **お手入れの際は、アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などは使わずに、乾いた柔らかい布で行ってください。**
- **寒い屋外から急に暖かい室内に移動した場合や、湿度の高い場所で使用された場合、本体内部に水滴が付くことがあります（結露といいます）。このような条件下での使用は故障の原因となりますので、結露がなくなるまで使用しないでください。**
- **エアコンの吹き出し口などの近くに置かないでください。急激な温度変化により結露すると、内部が腐食し故障の原因となります。**
- **水をかけないでください。本製品は、防水仕様になっておりません。**
- **本製品を使用しないときは、必ず USB プラグを収納して保管してください。ほこりなどにより本製品の端子が汚れると、正常に動作しない場合があります。**
- **本製品をパソコンに接続する際は、正しい方向に無理なく接続してください。逆方向に接続、または違和感がある状態で接続すると、故障の原因になります。**

※低温やけどについて
体温より少し高い温度のものでも、皮膚の同じ場所に、長時間、直接触れていると、低温やけどをおこすおそれがあります。

通信状態について

- サービスエリア内であっても、屋内や電車の中、トンネル、地下、ビルの陰、山間部など電波の伝わりにくいところでは、通信ができない場合があります。またサービスエリア内であっても、地域的に電波の伝わりにくい場所もありますので、あらかじめご了承ください。
- 電波状態が一定以上悪くなった場合には、突然通信が途切れることがあります。また、電波状態が良いところでも通信が途切れることがあります。あらかじめご了承ください。
- 本製品が、通信を行っていない状態で、表示ランプが赤点滅している場合は、圏外などのため使用できません。表示ランプが安定して緑点灯、または青点灯している状態で通信を行ってください。ただし表示ランプが安定して緑点灯、または青点灯している場合でも、回線が混んでいて通信ができない場合があります。この場合、しばらくしてから、もう一度接続してください。

その他

- 本製品はパソコンに接続すると通信状態ではない場合でも電力を消費します。通信しないときは、できるだけ本製品をパソコンより取り外してください。
- パソコンの電源が ON の状態のままで本製品を取り外すと、動作が不安定になる場合があります。その場合はパソコンの電源をいったん OFF にしてください。
- パソコンの電池が不足した状態では、動作が不安定になります。電池の残量をよく確認の上、お使いください。
- テレビやラジオのそばで本製品を使用すると、画面が乱れたり、雑音が入ったりする場合があります。この場合、テレビやラジオから離してお使いください。誤って操作をしたときは、パソコンの電源を一度切り、電源を入れ直してください。
- パソコンに本製品を接続した状態で、スタンバイまたはハイバネーション動作を行うと、お使いのパソコンの機種によっては、まれに正常に動作しない場合があります。
  そのような場合には必ず本製品を取り外してから、スタンバイまたはハイバネーション動作を行ってください。
- パソコンに本製品を接続した状態で、パソコンの電源を ON にしたり、再起動を行うと、お使いのパソコンの機種によっては、まれに正常に動作しない場合があります。そのような機種をお使いの場合はパソコンが完全に起動してから本製品を接続するようにしてください。
- 本製品は高い通信秘匿性を有しておりますが、電波を使用している以上、第三者に通信を傍受される可能性がないとはいえません。留意してご利用ください。
- 本製品は電波法に基づく無線局ですので、電波法に基づく検査を受けていただくことがあります。
- 公共の場でご使用の際は周りの方の迷惑にならないようにご注意ください。
- 改造された本製品は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法/電気通信事業法に抵触します。
  本製品は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則、及び電気通信事業法に基づく端末機器の技術基準適合認定等に関する規則を遵守しており、その証として「技適マーク㊣」が本製品のラベルに表示されております。
  本製品のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法および電気通信事業法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。

廃棄・譲渡時のデータ消去について

- 本製品をルーターモードでご使用になられた場合、廃棄、または第三者に譲渡される際は、必ず本製品を初期化してください。
  USB モデムモード（コネクションマネージャーを使用した通信）でのみご使用になられた場合には、本体に通信設定等は保存されませんので、初期化する必要はありません。
  初期化については（「工場出荷設定」⇒136 ページ）をご覧ください。
- データ消去を行わずに製品を手放した場合、内部に保存された APN プロファイル情報や、お客様のサービス利用情報（個人情報等）が第三者に復元・悪用される恐れがあります。

携帯電話/PHS のリサイクルについて

携帯電話/PHS 事業者は、環境を保護し、貴重な資源を再利用するために、お客様が不要となった携帯電話・PHS の本体、バッテリー、充電器をブランド/メーカーを問わず、モバイル・リサイクル・ネットワークのマーク（下記マーク）のある店舗で、無償で回収し、リサイクルを行っています。

モバイル・リサイクル・ネットワーク
携帯電話・PHSのリサイクルにご協力を。

やむを得ず廃棄する場合は、各地方自治体の条例に従って処理するようお願い致します。
梱包材、同梱物についても分別にご協力ください。

もくじ

はじめに …… 1
おことわり …… 1
梱包品の確認 …… 2
本製品のご利用について …… 3
本製品の主な機能 …… 3
安全上のご注意 …… 4
安全にお使いいただくために必ずお読みください …… 4
免責事項について …… 5
本製品について …… 5
SIM カードについて …… 9
材料一覧 …… 9
使用上のご注意 …… 10
お取り扱いについて …… 10
通信状態について …… 11
その他 …… 12
廃棄・譲渡時のデータ消去について …… 13
携帯電話/PHS のリサイクルについて …… 13

1 ご使用になる前に

各部の名称と機能 …… 17
各部の名称 …… 17
本体表面（本体カバーを外したところ） …… 17
各部の機能 …… 18
表示ランプについて …… 19
ご使用前の準備 …… 21
本体カバーについて …… 21
SIM カードを取り付ける/取り外す …… 22

2 セットアップ

セットアップについて …… 25
セットアップ-Windows- …… 26
管理者（Administrator）権限の確認方法 …… 27
コネクションマネージャー/ドライバのインストール …… 28
コネクションマネージャー/ドライバをアンインストールする …… 32
本製品をパソコンから取り外す …… 34
セットアップ-macOS- …… 35
コネクションマネージャー/ドライバのインストール …… 35
コネクションマネージャー/ドライバをアンインストールする …… 38
本製品をパソコンから取り外す …… 39

3 コネクションマネージャーで接続する

コネクションマネージャーについて……41
コネクションマネージャー –Windows–……42
タスクトレイ画面……42
コネクションマネージャー メインメニュー画面……43
プロファイル設定……45
接続方式とネットワークを設定する……51
PIN 設定……53
本体情報・設定……62
インターネットへの接続/切断……68
コネクションマネージャー –macOS–……71
コネクションマネージャー メインメニュー画面……71
プロファイル設定……73
接続方式とネットワークを設定する……79
PIN 設定……81
本体情報・設定……90
インターネットへの接続/切断……96

4 各種機能を設定する (Web ブラウザ)

デバイス設定ツールについて……100
デバイス設定ツールの画面……100
ルーターモードを設定する……101
本製品を初期化する……103
Web UI……104
初回起動時のログインパスワード設定……104
Web UI にログインする……106
Web UI の画面……107
設定・確認を行う……109
基本情報……109
モバイルネットワーク設定……111
ルータ設定……128
システム設定……131

5 付録

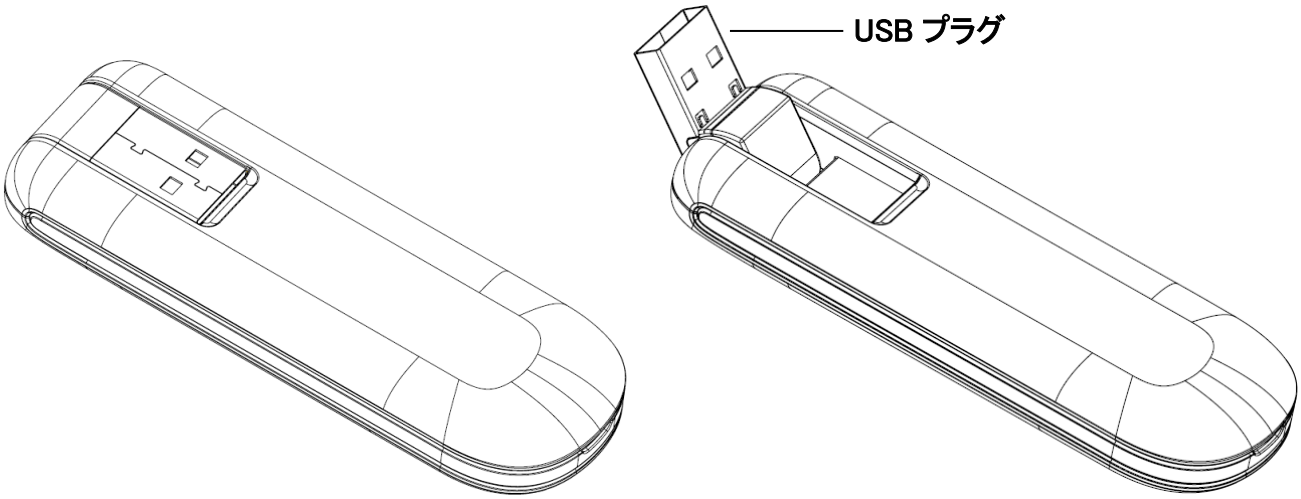
ファームウェア更新……138
エラーコード……139
困ったときに……143
よくある質問……145
仕様……146
用語集……148
本製品の比吸収率(SAR)などについて……150

1 ご使用になる前に

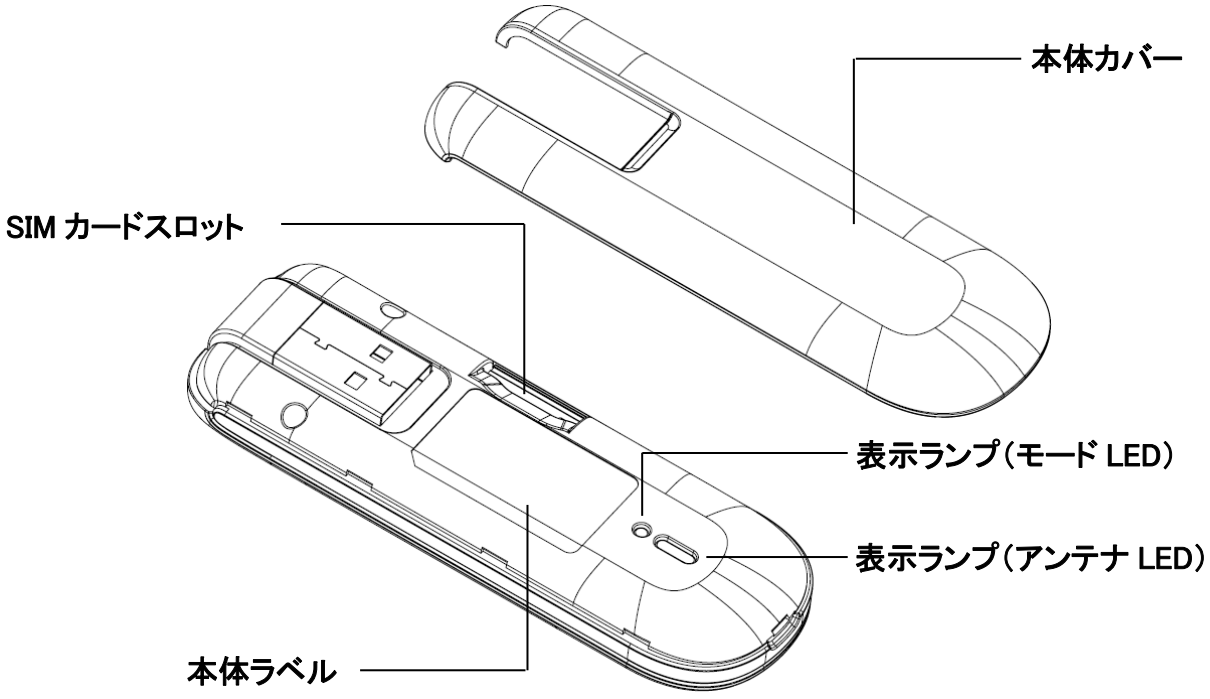
各部の名称と機能 ……17
各部の名称 ……17
本体表面（本体カバーを外したところ） ……17
各部の機能 ……18
表示ランプについて……19
ご使用前の準備 ……21
本体カバーについて ……21
SIM カードを取り付ける/取り外す ……22

各部の名称と機能

各部の名称



本体表面（本体カバーを外したところ）



お知らせ

● 表示ランプについては（「表示ランプについて」⇒19 ページ）をご覧ください。

各部の機能

名称	機能
USB プラグ	ホスト機器と接続する為に使用します。
表示ランプ	本製品の通信モードおよびアンテナレベルの状態表示です。
SIM カードスロット	SIM カードを挿入するスロットです。
本体カバー	SIM カードを挿入するスロットのカバーです。
本体ラベル	製品名、製造元、認証番号、警告文、IMEI が記載されています。

表示ランプについて

下記表示ランプの点灯により、本製品の通信状態をお知らせします。
表示ランプの場所については、(「本体表面(本体カバーを外したところ)」⇒17 ページ)を
ご覧ください。

端末の状態		アンテナ LED	モード LED
電源 OFF		消灯	消灯
起動中		消灯	水色(シアン)点灯 ⇒サイクリック点灯 ※4
圏外		赤点滅	消灯
受信レベル ※1	Level 5 Level 4	点灯	–
	Level 3	点滅 (長い点灯⇔短い消灯)	–
	Level 2	点滅 (同じ間隔で点灯⇔消灯)	–
	Level 1 Level 0	点滅 (短い点灯⇔長い消灯)	–
PIN	PIN ロック	消灯	赤点滅 (同じ間隔で点灯⇔消灯)
	PIN 入力待ち	消灯	赤点滅 (同じ間隔で点灯⇔消灯)
SIM カード未挿入		消灯	赤点灯
ネットワーク検出状態 ※2		水色(シアン)	–
待機状態 ※3	HSDPA /HSUPA	青	青点滅 (短い点灯⇔長い消灯)
	W-CDMA	紫	青点滅 (短い点灯⇔長い消灯)
	GPRS	黄	青点滅 (短い点灯⇔長い消灯)
接続状態	LTE	緑	青点灯
	HSDPA/HSUPA	青	青点灯
	W-CDMA	紫	青点灯
	GPRS	黄	青点灯

※1 受信レベルの表示ランプ色は各状態のランプ色で表示されます。

※2 ネットワーク検出状態とはネットワーク設定「Dual」または「LTE Only」に設定され、切断状態のときに遷移します。
本状態は、基地局への位置登録がされず、基地局からの信号を検出している状態で、接続を開始することで基地局への位置登録及びネットワークに接続される待機状態です。
ネットワーク検出状態は USB モデムモードでのみの動作状態です。

※3 待機状態とは、ネットワーク設定を「Auto」または「3G Only」に設定され、切断状態のときに遷移します。

本状態は、基地局への位置登録がされ、ネットワークに接続可能な待機状態です。
待受状態は USB モデムモードでのみの動作状態です。

※4 ランプが 7 色順番に点灯します。

お願い

- 本製品をパソコンに接続し、電源を投入した際に、モード LED が赤点滅の場合には、本製品を一度パソコンから取り外し、SIM カードが正しく接続されているかをご確認ください。

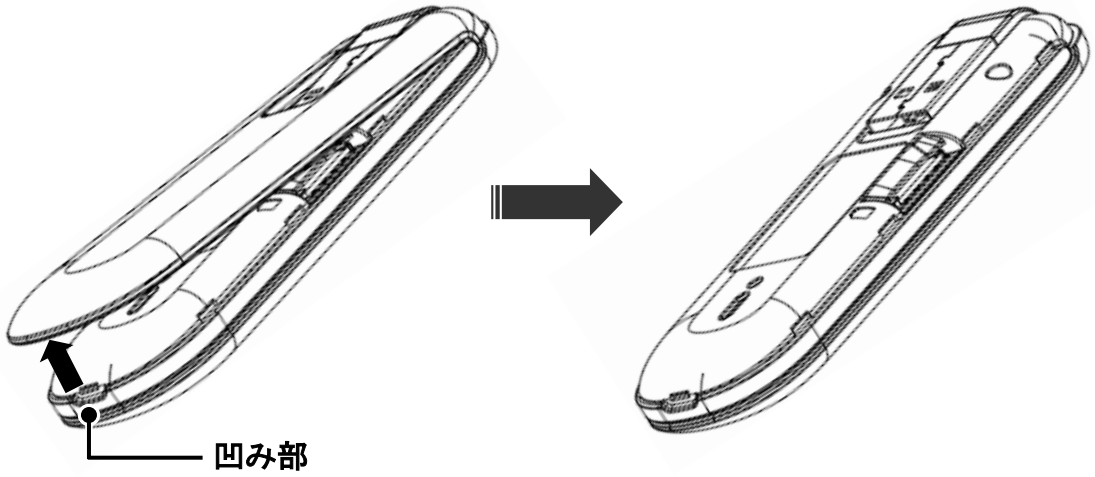
ご使用前の準備

本体カバーについて

本体カバーを取り外したり、取り付けたりする際は、本製品の電源が切れた状態（パソコンへ接続していない状態）で行ってください。

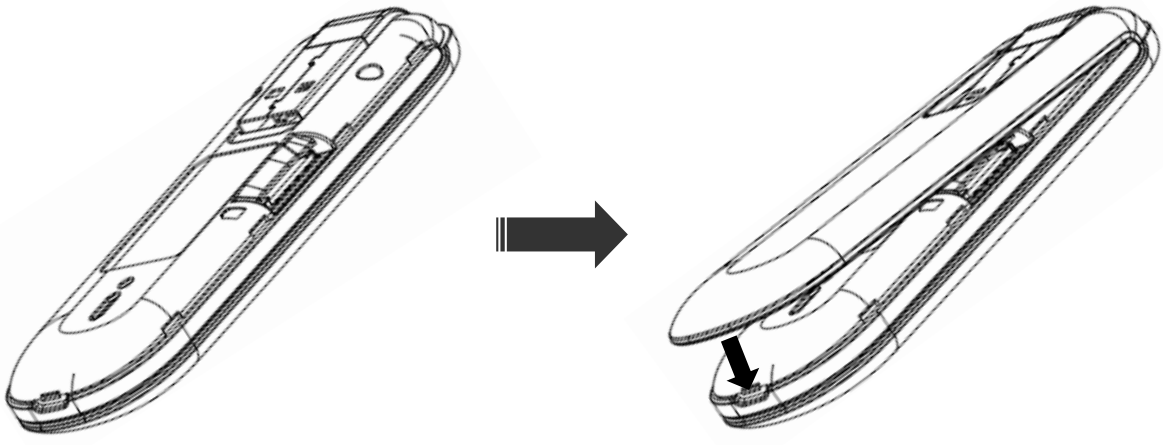
本体カバーの取り外し方

①本体カバーにある凹み部に指などを当て、下図の矢印の方向に取り外します。



本体カバーの取り付け方

②本体カバーを本製品の下図の位置に合わせ、矢印の方向にカチッと感触があるところまで本体カバーを本製品に取り付けます。



SIM カードを取り付ける/取り外す

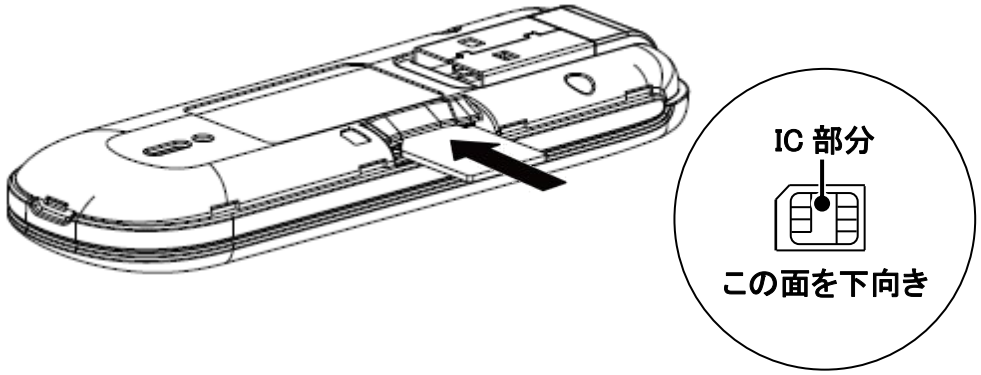
SIM カードは、電話番号などお客様の情報が記録されている IC カードです。
本製品を使用してデータ通信を行う際は、はじめに SIM カードを本製品に取り付ける必要があります。
本体カバーを取り外したり、取り付けたりする際は、本製品の電源が切れている状態（パソコンへ接続していない状態）で行ってください。

お 願 い

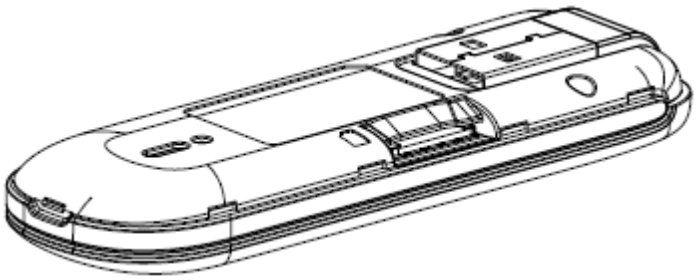
● 本製品は、SIM カードを取り付けないとデータ通信を行うことができません。

SIM カードの取り付け方

①本体カバーを取り外します。
SIM カードの IC 部分が下向きの状態で、下図のように SIM カードコネクタに挿入します。

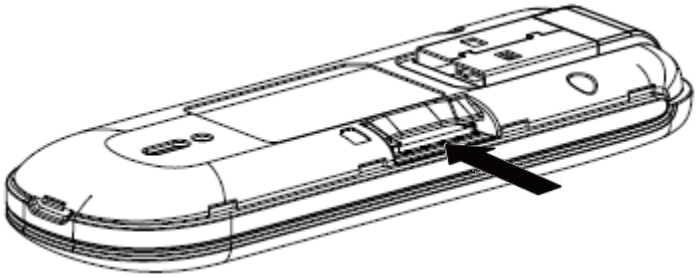


②SIM カードをカチッと鳴るまで押し込むと下図のような状態となります。

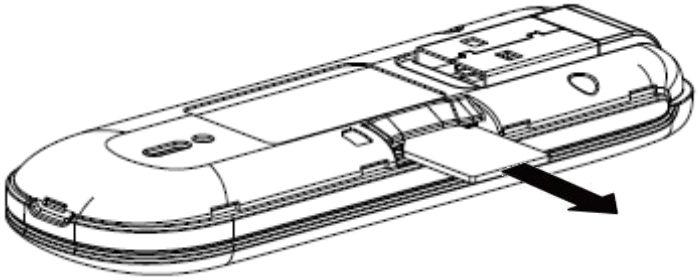


SIM カードの取り外し方

①本体カバーを取り外します。
SIM カードを下図の矢印の方向にカチッと鳴るまで押し込みます。



②SIM カードが出てきたら IC 部に注意し、矢印の方向にスライドさせ SIM カードを取り外してください。



注意

- 無理に取り付けようとしたり、取り外そうとしたりすると、SIM カードが破損するおそれがありますのでご注意ください。
- 本体カバーを取り外し/取り付けする際は、本製品の電源が切れている状態（パソコンへ接続していない状態）で行ってください。電話番号などデータが消失する可能性があります。
- SIM カードの IC 部に触れたり、傷つけたりしないようご注意ください。IC 部が汚れていると、接触が悪くなり、本製品の電源が切れることがありますのでご注意ください。
- SIM カードを取り外した際は、紛失しないようご注意ください。

2 セットアップ

セットアップについて……25
セットアップ–Windows–……26
管理者（Administrator）権限の確認方法……27
コネクションマネージャー/ドライバのインストール……28
コネクションマネージャー/ドライバをアンインストールする……32
本製品をパソコンから取り外す……34
セットアップ–macOS–……35
コネクションマネージャー/ドライバのインストール……35
コネクションマネージャー/ドライバをアンインストールする……38
本製品をパソコンから取り外す……39

セットアップについて

本製品を使用してデータ通信を行うには、セットアップを行う必要があります。本製品に収録されているセットアップツールを使用することで、UX302NC Data Connection Manager、UX302NC-R Device Setting Tool およびドライバを自動でインストールすることができます。
ここではインストール手順について説明します。
なお、この説明では、代表的な OS やソフトウェアを使用しておりますが、使用環境により、多少異なる場合があります。最新情報は、当社ホームページをご覧ください。
https://www.ncxx.co.jp/

お知らせ

- UX302NC-R Device Setting Tool は Mac にはインストールされません。

■UX302NC Data Connection Manager の動作環境

対応 OS

- Windows 7 SP1 以降 [32bit/64bit]
- Windows 8.1 [32bit/64bit]
- Windows 10 [32bit/64bit]
- Windows 11 [64bit]
- Mac OS X 10.8 以降 [Intel]
- macOS 10.12 Sierra／10.13 High Sierra／10.14 Mojave／10.15 Catalina [Intel]
- macOS 11 Big Sur [Intel/Apple Silicon]
- macOS 12 Monterey [Intel/Apple Silicon]
- macOS 13 Ventura [Intel/Apple Silicon]
- macOS 14 Sonoma [Intel/Apple Silicon]
- macOS 15 Sequoia [Intel/Apple Silicon]

■UX302NC-R Device Setting Tool の動作環境

対応 OS

- Windows 10 [32bit/64bit]
- Windows 11 [64bit]

対応パーソナルコンピュータ

- 本体：上記対応 OS が正常に動作しているパーソナルコンピュータ
- CPU：Intel® Pentium®/Celeron®ファミリ または互換品
- メモリー： Windows 10/11 1GB 以上
  macOS 512MB 以上
- HDD：100MB 以上の空き容量

お知らせ

- ソフトウェアの仕様は、予告無く変更する場合があります。
  インストール前に、最新のソフトウェアに関する情報を当社ホームページにてご確認ください。
  https://www.ncxx.co.jp/

セットアップ-Windows-

Windows を使用した本製品のセットアップ方法を説明します。
ここでは、Windows11 の画面を掲載して説明します。

お願い

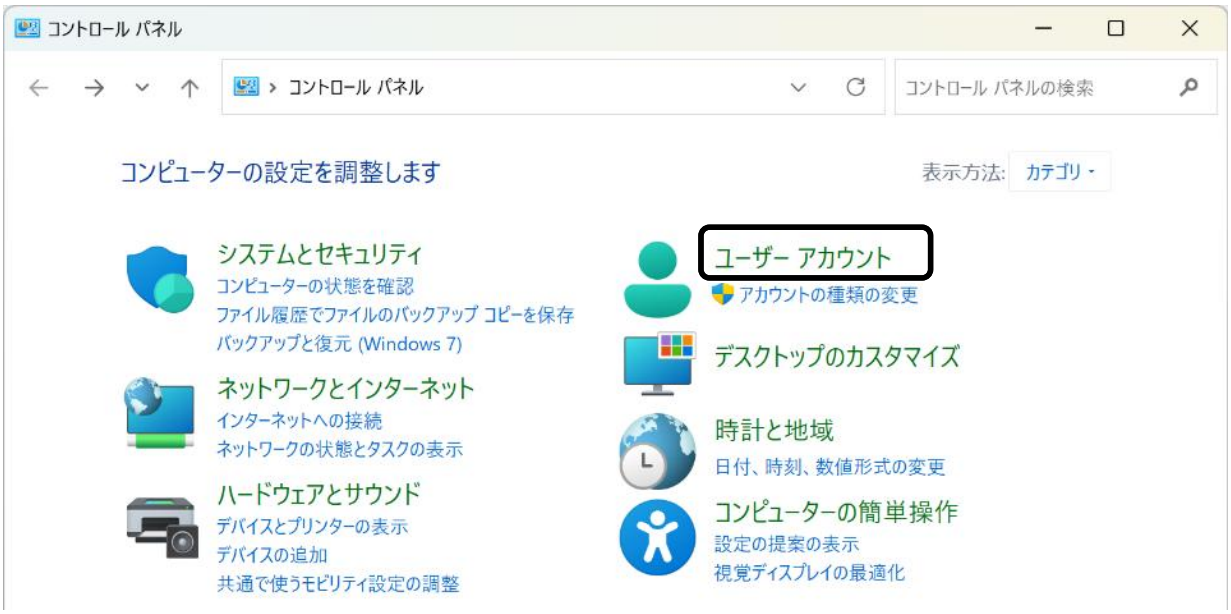
- セットアップを行う際は、「コンピュータの管理者（Administrator）」のユーザ名でログオンする必要があります。コンピュータのログオン用に複数のユーザ名を作成している場合にはご注意ください。管理者の権限については、（「管理者（Administrator）権限の確認方法」⇒27 ページ）をご覧ください。
- お使いのパソコンにより、本製品を接続しても、自動でセットアップが開始されない場合があります。デスクトップ画面上から［エクスプローラ］を開き、［UX302NC Data Connection Manager］フォルダの中の［Setup_vx.x.x.exe］をダブルクリックしてください。
  セットアップを開始します。
- お使いのパソコンの状況により、本製品を接続した際、インストール前に再起動を求められる場合がありますが、ソフトウェアインストール完了後に再起動を行ってください。

お知らせ

- 本製品にはインストーラー、ドライバが収録されており、本製品を接続すると、自動的にセットアップが開始されます。初めてご使用になる際は、「USB 大容量記憶デバイス」としてパソコンに認識されます。お使いのパソコンによっては、このデバイスの認識までに多少時間がかかります。
- 本製品を接続した際、本製品のソフトウェアとは別に、OS 標準ドライバのセットアップが開始される場合があります。

管理者(Administrator)権限の確認方法

❶ デスクトップ画面上の[スタート]から[コントロールパネル]を開き、[ユーザ アカウント]をクリックします。



❷ [アカウントの管理]画面が表示されたら、お客様のユーザ名の下に[Administrator]と記載してあることを確認してください。



コネクションマネージャー/ドライバのインストール

お知らせ

- Windows では、本体ファームウェアバージョン v2.1.7 以降でデバイス設定ツール（UX302NC-R Device Setting Tool）もインストールされます。

❶ **パソコンの電源を ON にし、Windows を起動します。**

お 願 い

- セットアップを行う際は、「コンピュータの管理者（Administrator）」のユーザ名でログオンする必要があります。コンピュータのログオン用に複数のユーザ名を作成している場合にはご注意ください。管理者の権限については、（「管理者（Administrator）権限の確認方法」⇒27 ページ）をご覧ください。

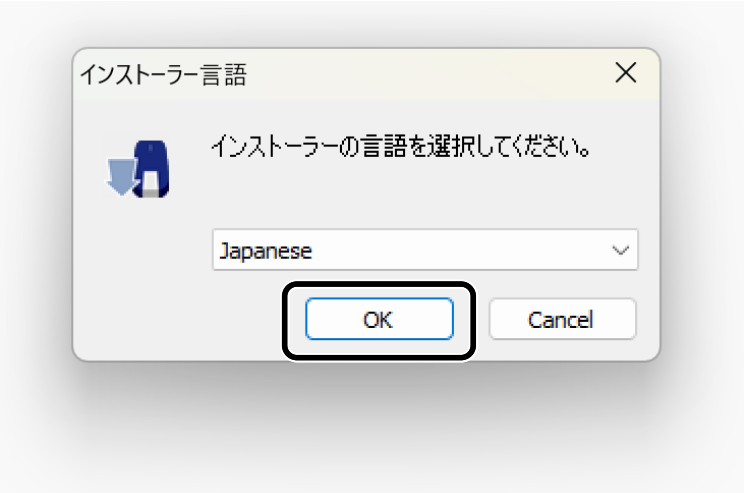
❷ **本製品をパソコンに接続すると画面右上に下記画面が表示されますので、クリックします。**



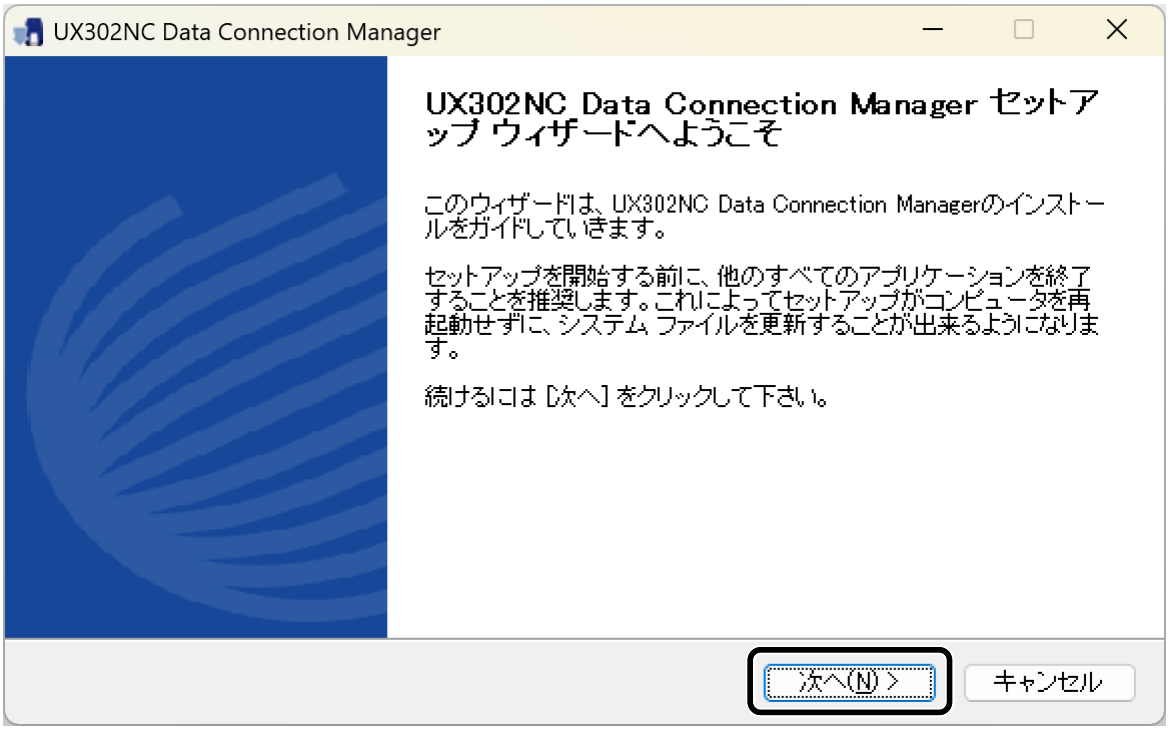
❸ **下記画面のインストーラーが起動します。**
[自動再生]画面が表示されたら、[Setup_vx.x.x.exe の実行]をクリックします。
インストールプログラムが自動的に起動されない場合は、デスクトップ画面上から[エクスプローラ]を開き、[UX302NC Data Connection Manager]フォルダの中の[Setup_vx.x.x.exe]をダブルクリックしてください。



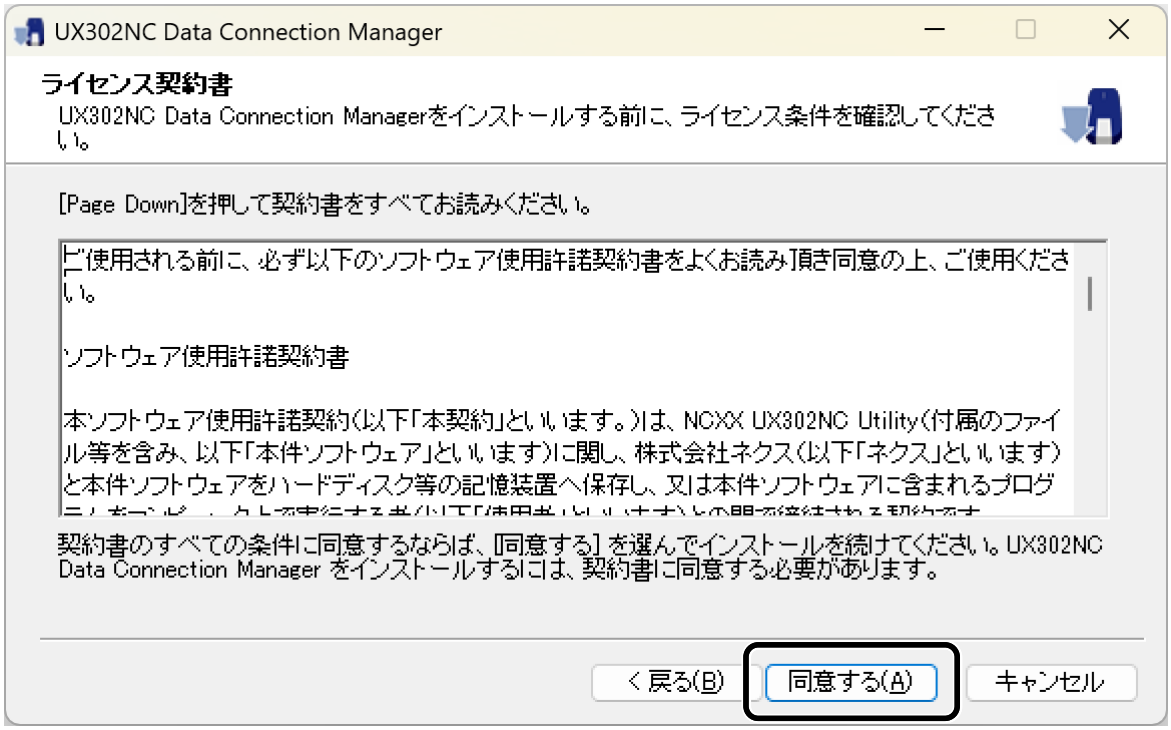
❹ **インストーラー言語を選択して[OK]をクリックします。**



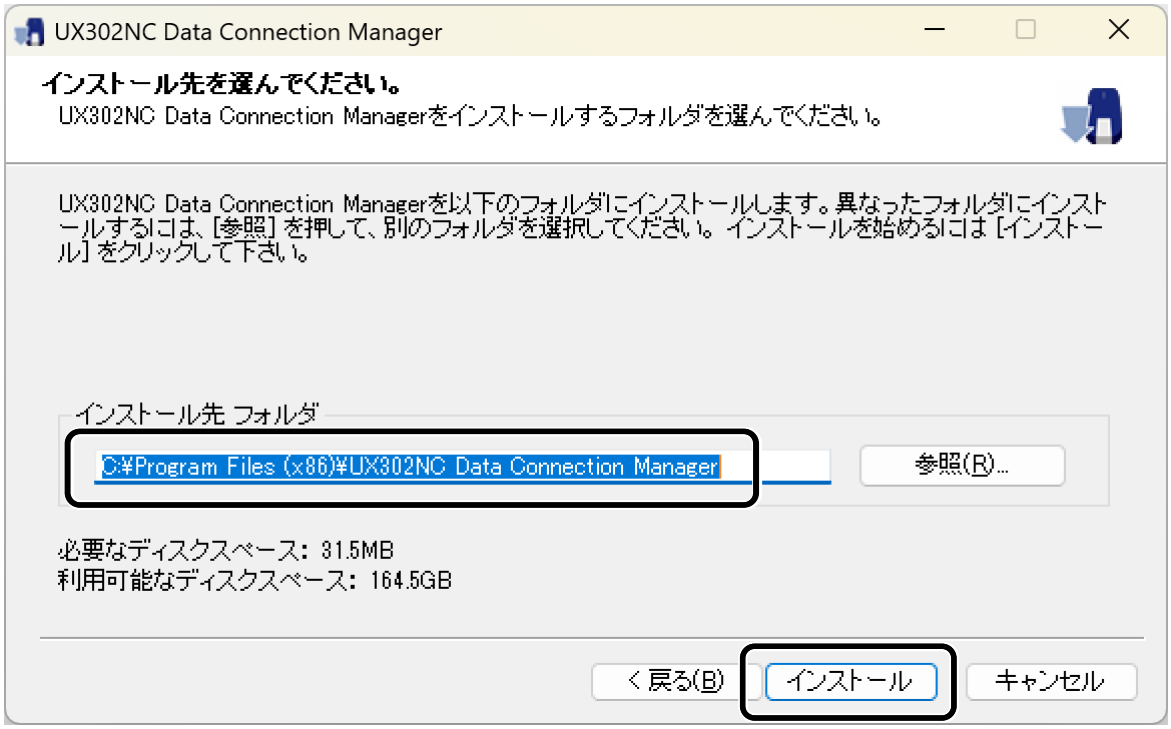
❺ **[UX302NC Data Connection Manager セットアップ ウィザード]が起動します。**
[次へ]をクリックします。



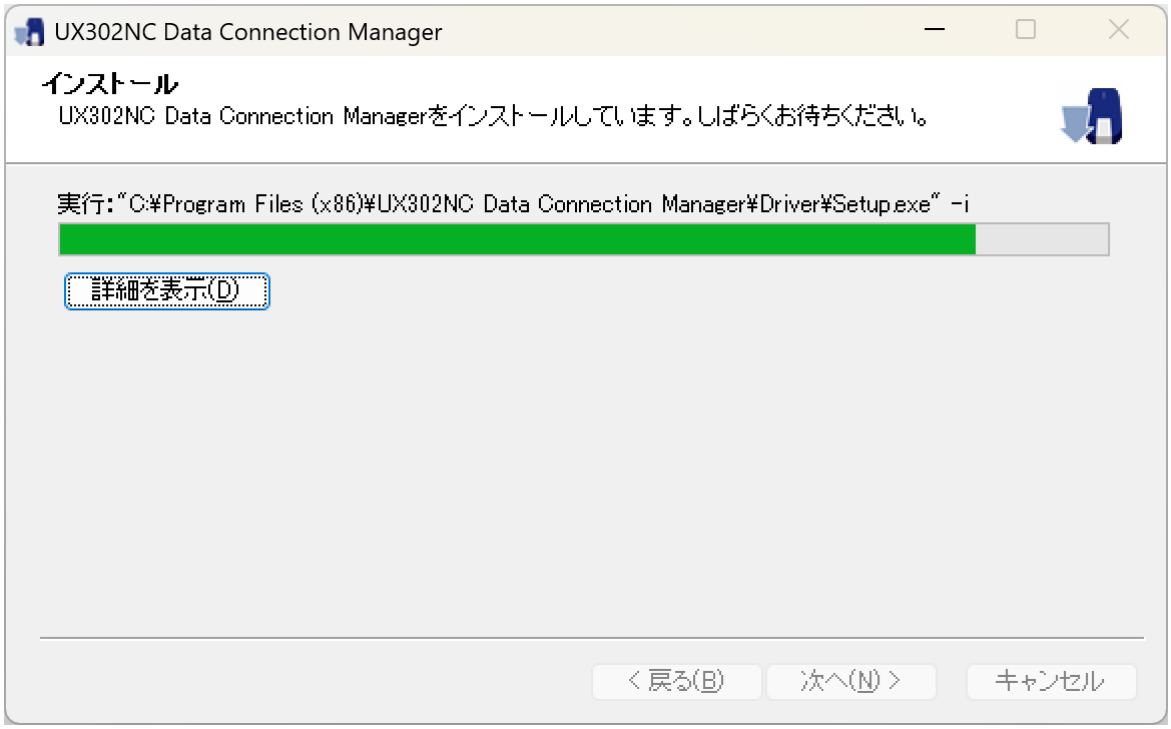
❻ **[使用許諾契約書の同意]画面が表示されます。使用許諾契約の内容をお読みの上、[同意する]をクリックします。**



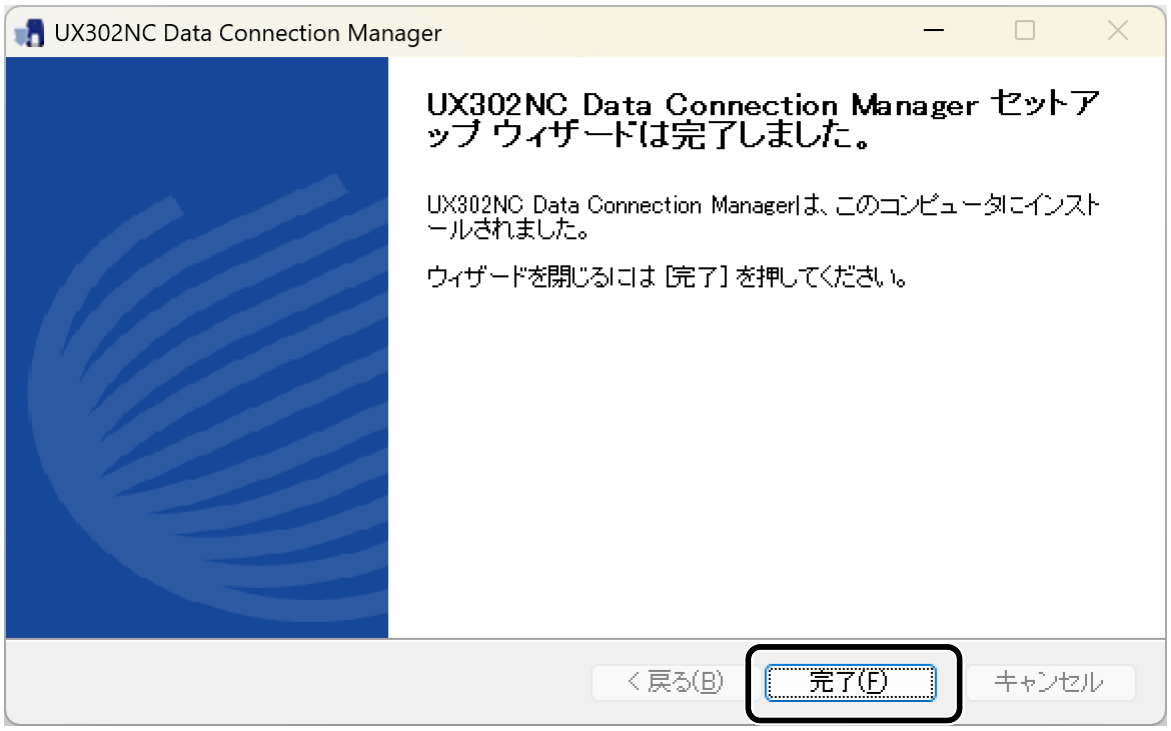
❼ **インストール先を指定し、[インストール]をクリックします。**



❽ インストール中は下図のような画面になりますので、そのままでしばらく(約1分)お待ちください。



❾ デバイスドライバ、コネクションマネージャーのインストールが完了すると下図の画面になります。[完了]ボタンをクリックしてセットアップ完了となります。



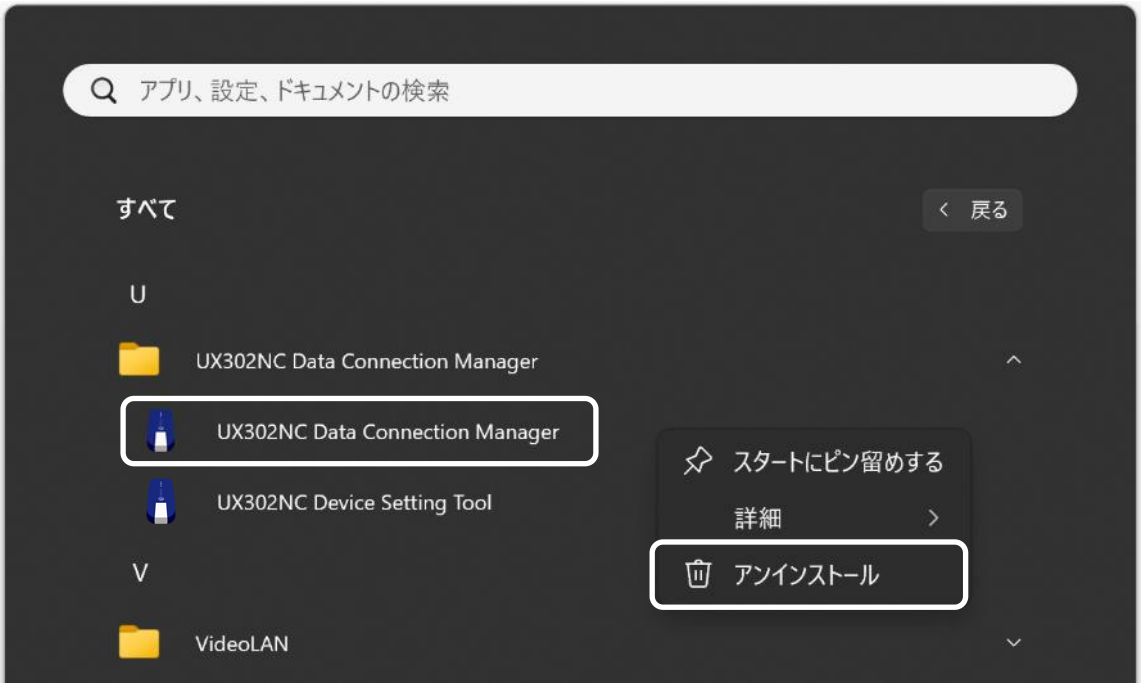
以上で UX302NC Data Connection Manager/ UX302NC-R Device Setting Tool/ドライバのインストールは完了です。

お 願 い

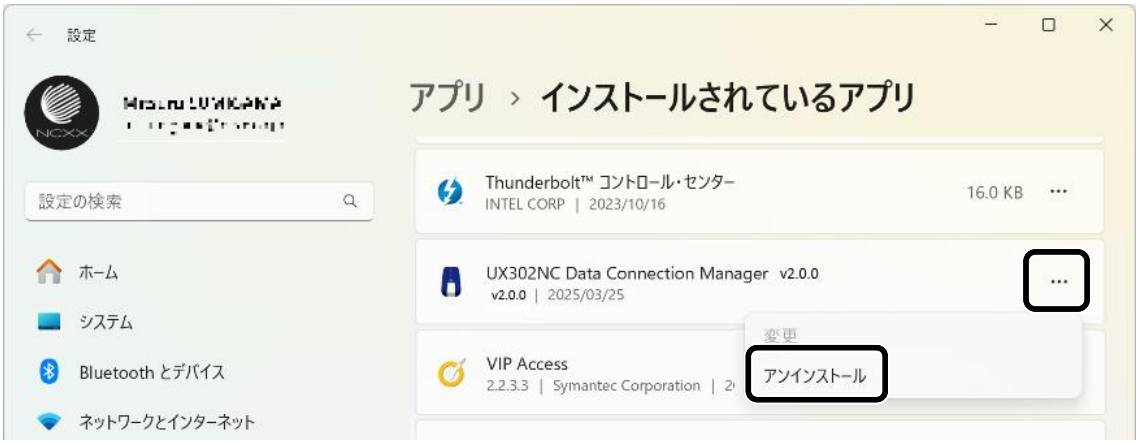
- 一度設定すると、それ以降は本製品を接続するだけで自動認識されます。認識が正常に行われない場合、再度設定してください。

コネクションマネージャー/ドライバをアンインストールする

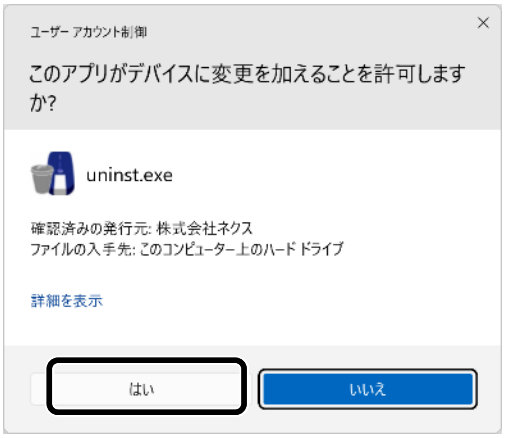
❶ [スタート]から「UX302NC Data Connection Manager」を右クリックし、画面に表示されるアンインストールをクリックします。



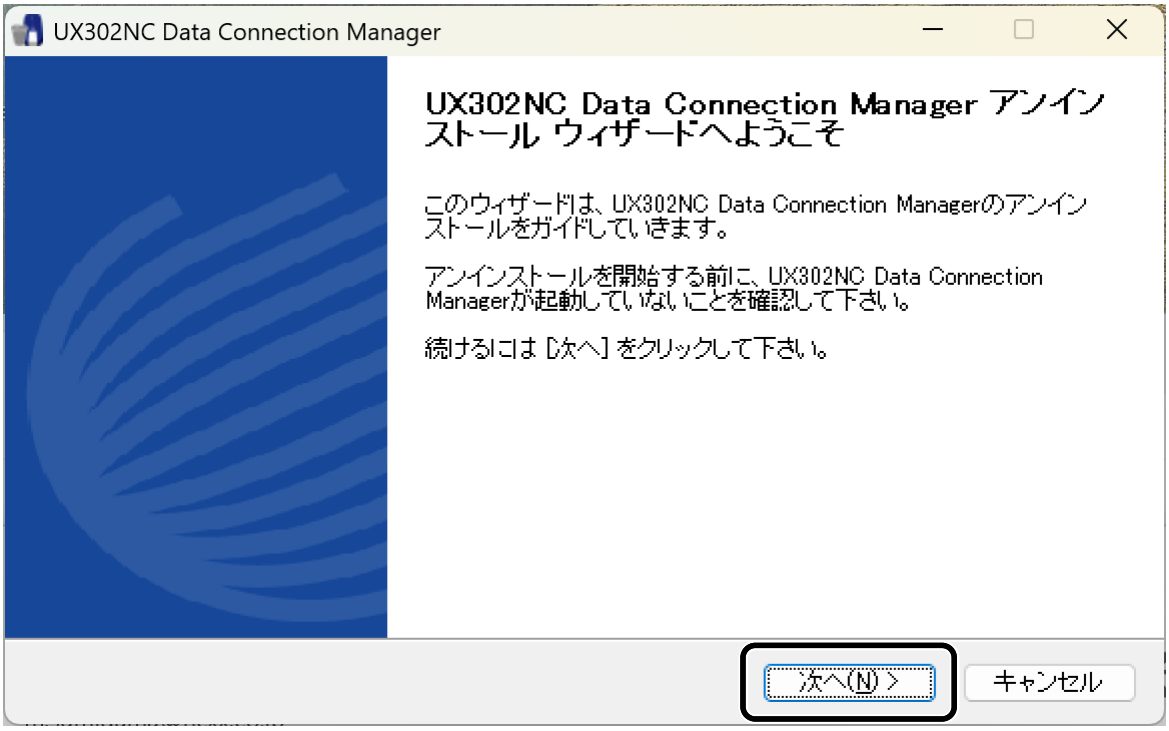
❷ インストールされているアプリに表示される「UX302NC Data Connection Manager」の右にある「・・・」をクリックすると表示されるアンインストールをクリックします。



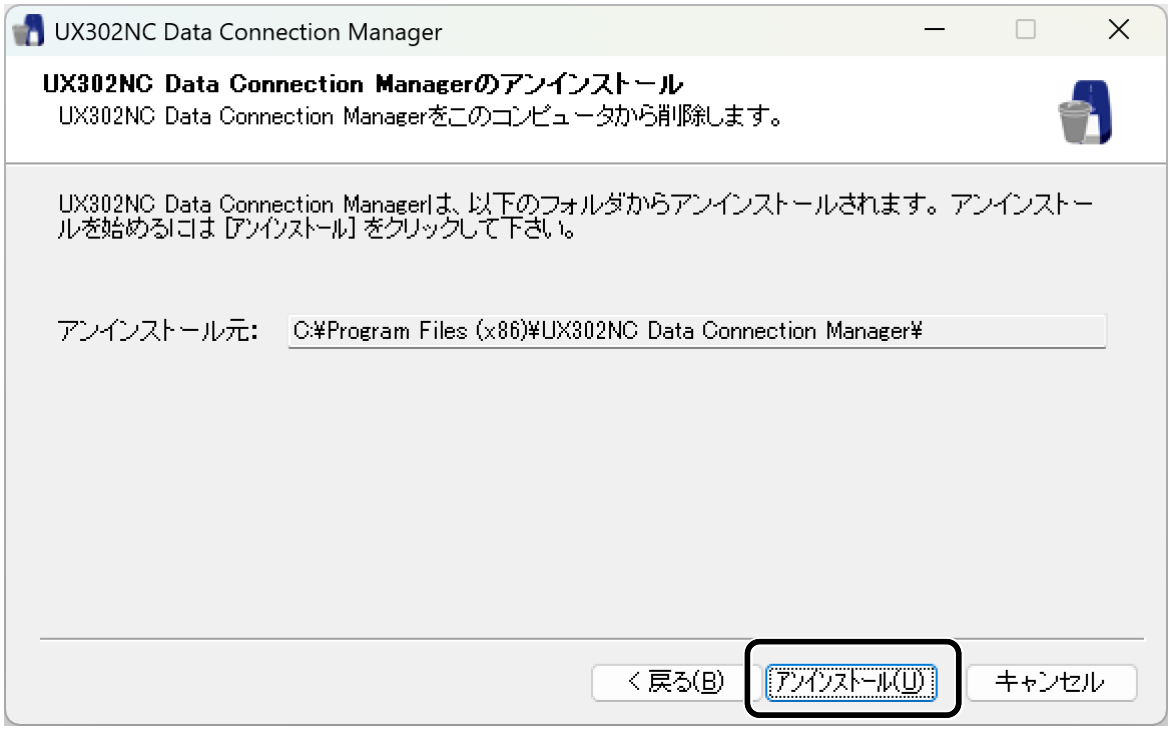
❸ 「uninst.exe」が表示されます。コネクションマネージャーを起動している場合は、コネクションマネージャーを終了させてから「はい」をクリックします。



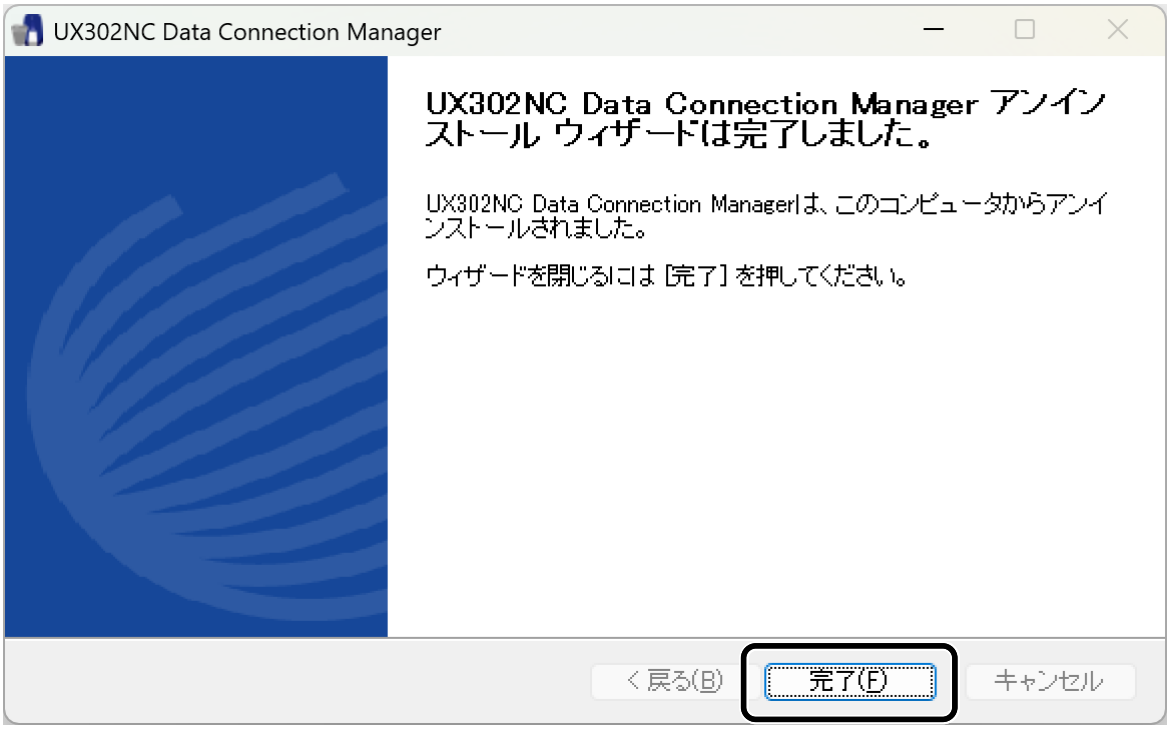
❹ [UX302NC Data Connection Manager アンインストールウィザード]画面が表示されます。
[次へ]をクリックしてください。



❺ [アンインストール]をクリックします。



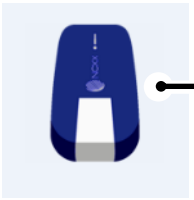
❻ **下記画面が表示されたら、アンインストールは完了です。[完了]をクリックして終了します。**



本製品をパソコンから取り外す

本製品をパソコンから取り外す際は、必ず下記の手順で取り外しを行ってください。

❶ **お使いのパソコンの画面右下に表示されるコネクションマネージャーアイコンを右クリックし、[終了]をクリックするか、Connection Manager の[終了]ボタンをクリックします。**



[UX302NC Data Connection Manager]アイコン

❷ **本製品をパソコンから取り外してください。**

セットアップ-macOS-

macOS を使用した本製品のセットアップ方法を説明します。
ここでは、macOS 14 Sonoma の画面を掲載して説明します。

コネクションマネージャー/ドライバのインストール

❶ パソコンの電源を ON にし、Mac を起動します。

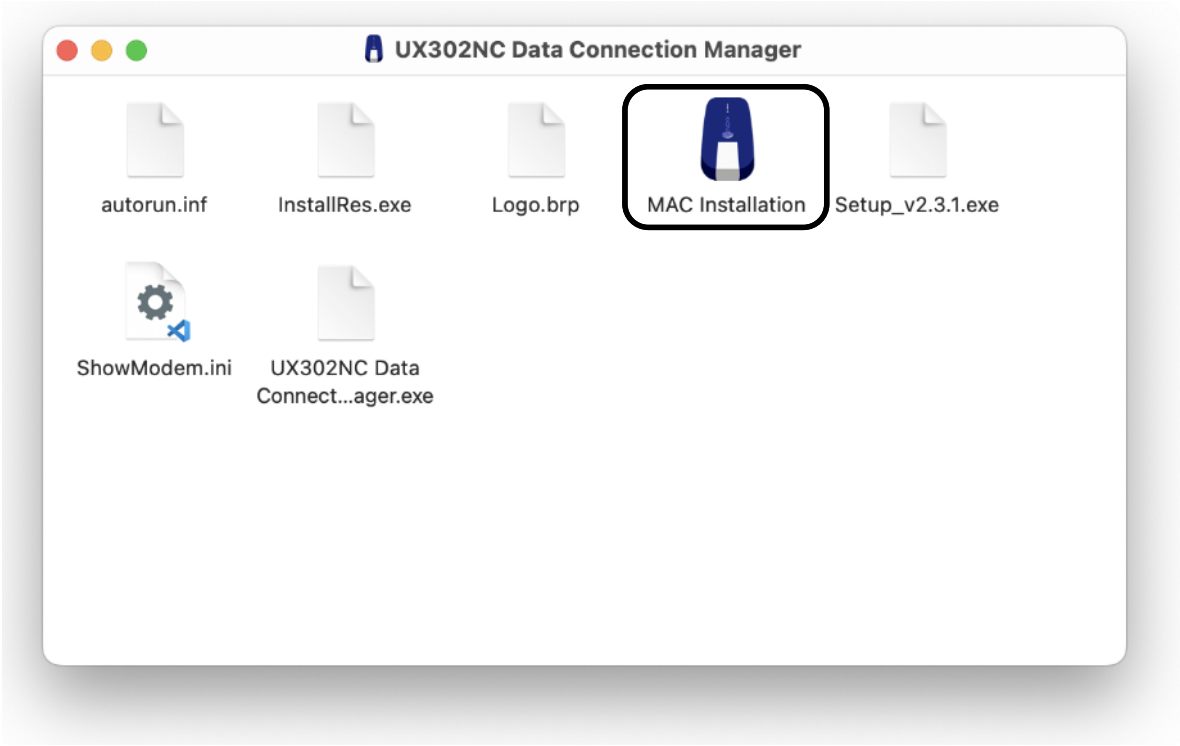
❷ 本製品をパソコンに接続します。

❸ デスクトップ画面上に表示された[UX302NC Data Connection Manager]アイコンをダブルクリックします。



[UX302NC Data Connection Manager]アイコン

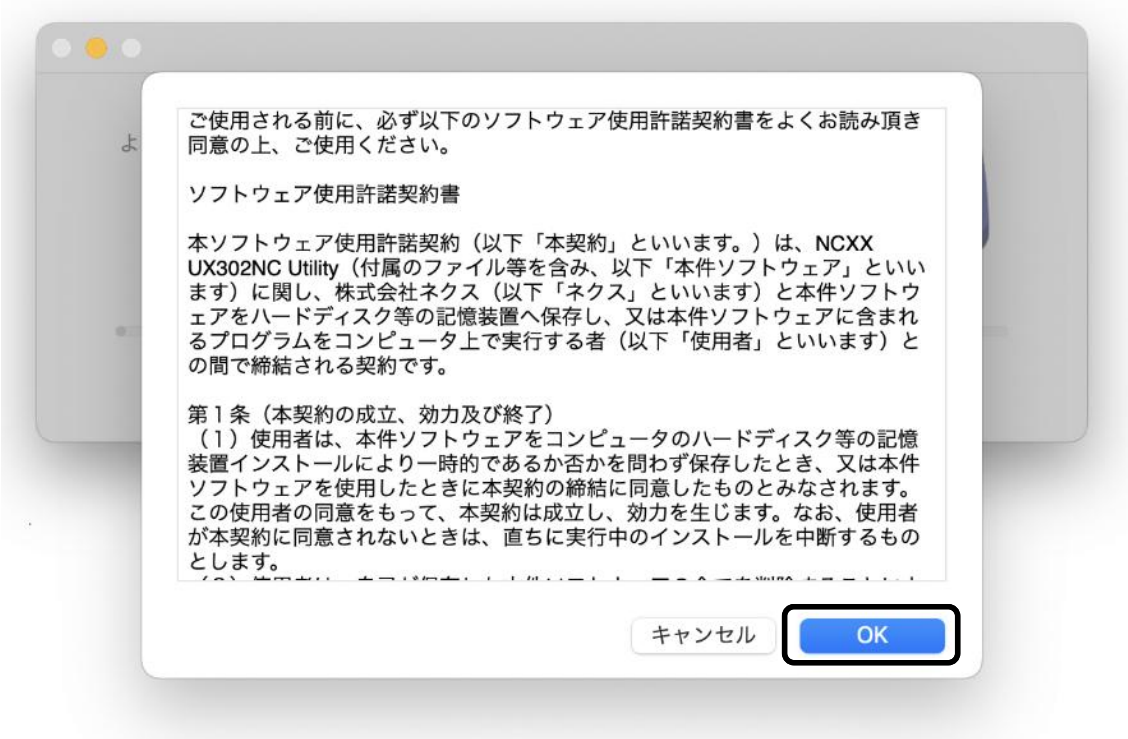
❹ 下記画面にて[Mac Installation]アイコンをダブルクリックします。



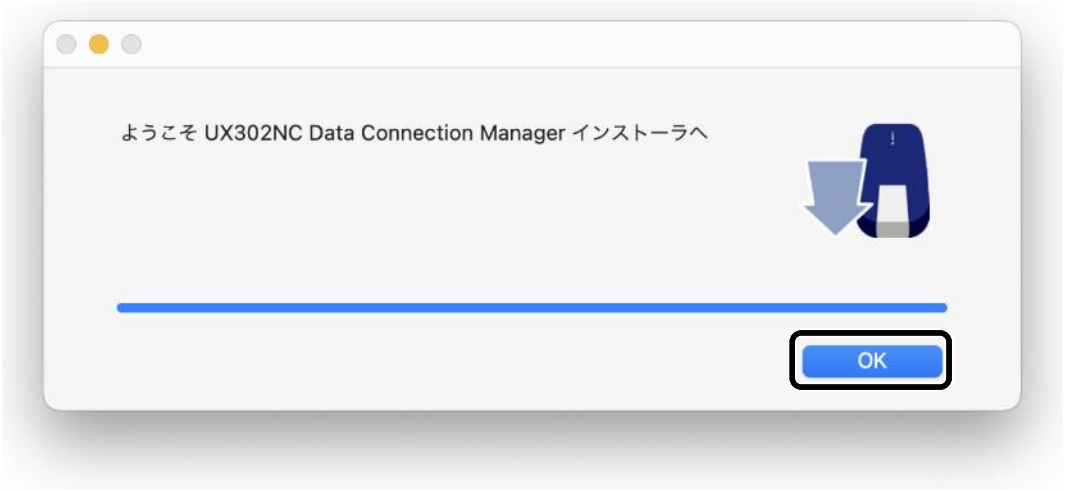
❺ インストーラーと同時に下記のようなパスワード入力画面が表示されますので、お客様のお使いのパソコンの名前（ユーザ名）、パスワードを入力してください。
入力後[OK]をクリックします。



❻ [使用許諾契約]画面が表示されます。使用許諾契約の内容をお読みの上、[OK]をクリックします。



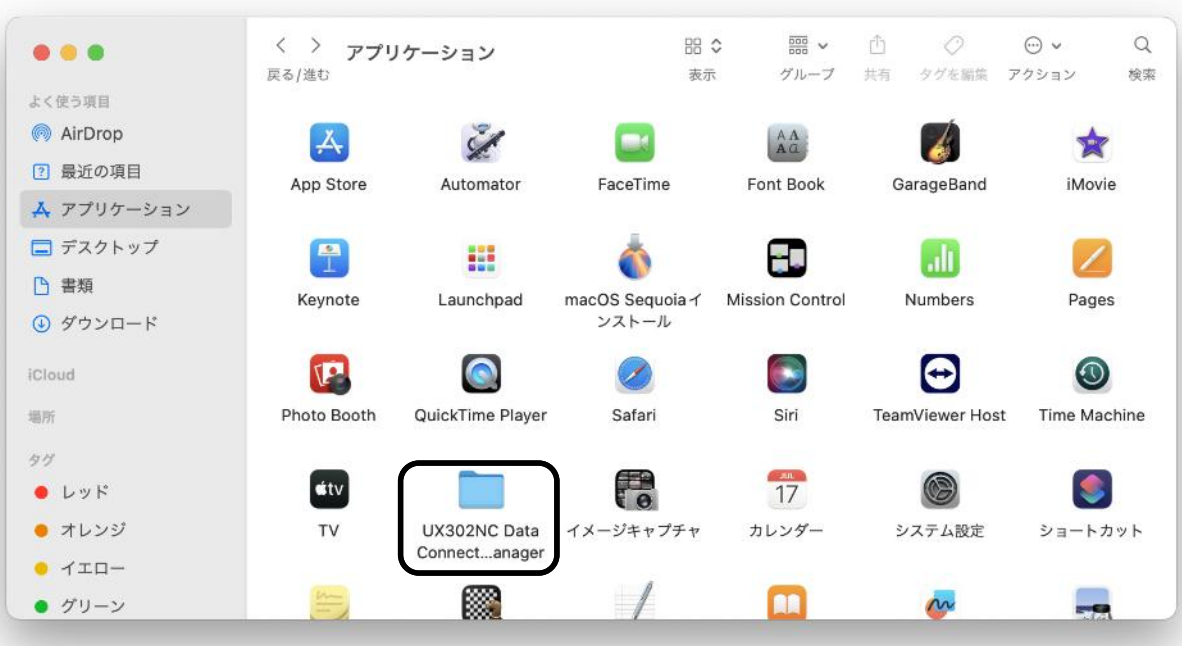
❼ インストールが完了後、下記画面になりますので、[OK]をクリックします。



これで UX302NC Data Connection Manager/ドライバのインストールは完了です。

コネクションマネージャー/ドライバをアンインストールする

❶ お使いのパソコンのハードディスクアイコンから[アプリケーション]を開きます。
[UX302NC Data Connection Manager]のフォルダを開くと表示される[UX302NC Data Connection Manager Uninstall]アイコンをクリックします。





❷ 下記画面が表示されますので、[はい]をクリックします。



❸ 下記のようなパスワード入力画面が表示されますので、お客様のお使いのパソコンの名前（ユーザ名）、パスワードを入力してください。
入力後[OK]をクリックすると、アンインストールが完了します。



本製品をパソコンから取り外す

❶ 本製品をパソコンから取り外してください。

3 コネクションマネージャーで接続する

コネクションマネージャーについて……41
コネクションマネージャー –Windows–……42
タスクトレイ画面……42
コネクションマネージャー メインメニュー画面……43
プロファイル設定……45
接続方式とネットワークを設定する……51
PIN 設定……53
本体情報・設定……62
インターネットへの接続/切断……68
コネクションマネージャー –macOS–……71
コネクションマネージャー メインメニュー画面……71
プロファイル設定……73
接続方式とネットワークを設定する……79
PIN 設定……81
本体情報・設定……90
インターネットへの接続/切断……96

コネクションマネージャーについて

USB モデムモードでは、コネクションマネージャーを使用することで、本製品のインターネット接続や各種設定を行うことができます。ここでは、コネクションマネージャーの機能、各種設定方法について説明します。

■UX302NC Data Connection Manager の動作環境

対応 OS

- Windows 7 SP1 以降 [32bit/64bit]
- Windows 8.1 [32bit/64bit]
- Windows 10 [32bit/64bit]
- Windows 11 [64bit]
- Mac OS X 10.8 以降 [Intel]
- macOS 10.12 Sierra／10.13 High Sierra／10.14 Mojave／10.15 Catalina [Intel]
- macOS 11 Big Sur [Intel/Apple Silicon]
- macOS 12 Monterey [Intel/Apple Silicon]
- macOS 13 Ventura [Intel/Apple Silicon]
- macOS 14 Sonoma [Intel/Apple Silicon]
- macOS 15 Sequoia [Intel/Apple Silicon]

注意

- macOS では OS のバージョンによって、ご使用になれない接続方式があります。
  以下の表をご確認頂き、ご使用になれる接続方式に設定を変更してご使用ください。
  接続方式の設定については(「接続方式とネットワークを設定する」⇒79 ページ)をご覧ください。

○: 使用可能　×: 使用不可

macOS	RAS	NDIS
macOS 11 (Big Sur)	×	○
macOS 12 (Monterey)	○	×
macOS 13 (Ventura)	○	×
macOS 14 (Sonoma)	○	×
macOS 15.0～15.3.1 (Sequoia) ※	×	×
macOS 15.3.2 以降 (Sequoia)	○	×

※15.3.2 以降にアップデートをしてからご使用ください。

Windows 用コネクションマネージャーと、macOS 用コネクションマネージャーの設定手順を分けて説明しておりますので、お使いのパソコンに合わせてご覧ください。
なお、Windows の場合は、例として Windows 11、macOS の場合は macOS 14 Sonoma の画面を記載しておりますが、他の対応 OS でも設定内容は同様です。

お知らせ

- コネクションマネージャーのインストール方法については、(「コネクションマネージャー/ドライバのインストール」⇒28 ページ)をご覧ください。

コネクションマネージャー　-Windows-

ここでは、Windows 用コネクションマネージャーの機能、各種設定方法について説明します。

タスクトレイ画面

❶ **お使いのパソコンの画面右下に表示される下記アイコンを右クリックします。**
メニュー画面が表示されます。

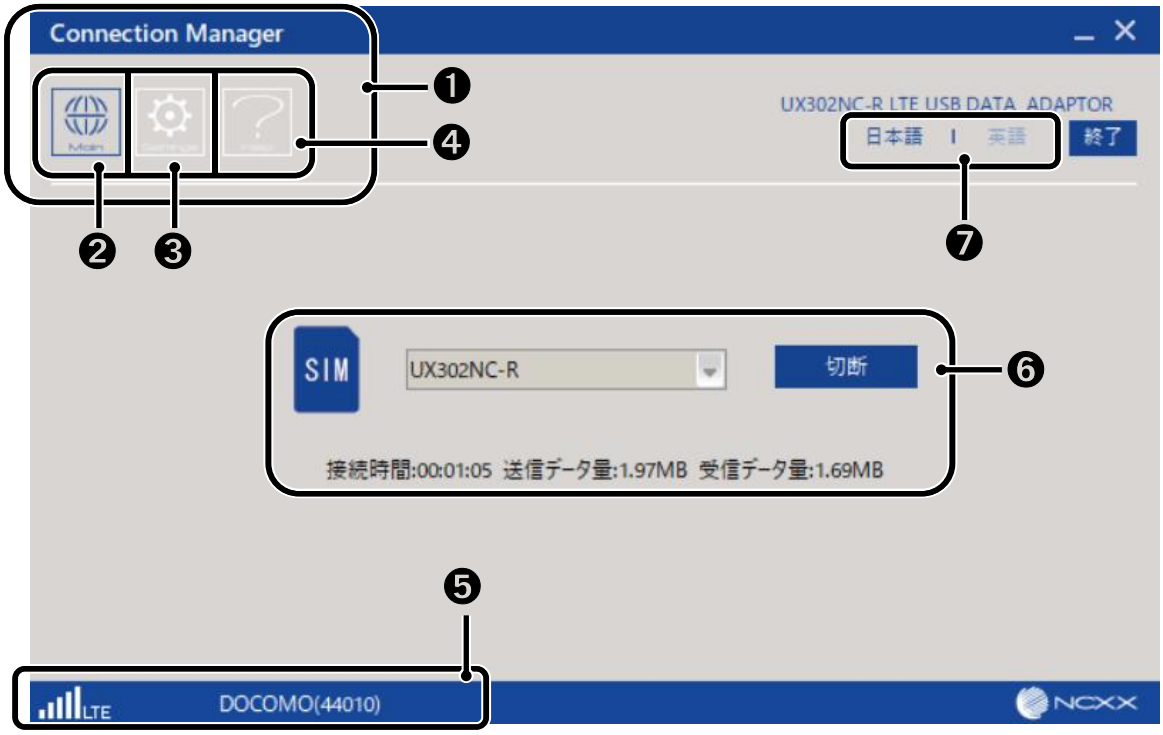


❷ **コネクションマネージャーの起動/終了および取扱説明書（本書）の起動などを行うことができます。**

メニュー	概要
開く	コネクションマネージャーを起動します。
ヘルプ	取扱説明書（本書）を起動します。
終了	コネクションマネージャーを終了します。

コネクションマネージャー　メインメニュー画面

コネクションマネージャーの画面について説明します。



❶コネクションマネージャー メニュー
メインメニューおよび各種設定、ヘルプの切り替えを行います。

❷メイン ボタン
インターネットに接続するためのダイヤルアップ接続先を表示します。

❸設定ボタン
プロファイル、PIN 設定、本体情報・設定を行います。

❹ヘルプボタン
取扱説明書（本書）を PDF ファイルで表示します。

❺状態表示
電波状態や通信状態、利用可能な通信方式、通信事業者/通信事業者固有番号、製品状態を表示します。

※電波状態表示例 （LTE の場合）

表示	圏外	LTE	LTE	LTE	LTE	LTE	LTE
状態	圏外	Level 0	Level 1	Level 2	Level 3	Level 4	Level 5

※通信方式表示例

表示	LTE	3G	GSM	
通信方式	LTE	3G	GSM	ネットワーク検出状態

国際ローミング時は通信方式の上側に  が表示されます。

※製品状態表示例 （通信事業者/固有番号は DOCOMO の場合）

表示			
製品状態	通信事業者/固有番号	ネットワーク検索中	SIM 無効

表示			
製品状態	SIM 未挿入	製品未挿入	サービスエリア外

❻ インターネットの接続/切断、通信状態表示

プロファイルの選択、接続/切断、接続時間、送受信データ量の表示を行います。

❼ 言語設定

コネクションマネージャーの言語を設定します。

プロファイル設定

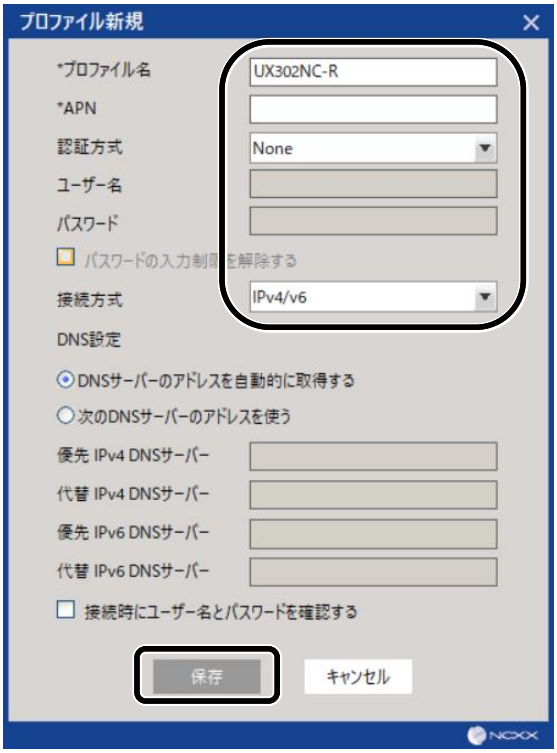
プロファイルの作成、編集、削除方法について説明します。

プロファイルを作成する

❶ **メインメニュー画面で[Setting]をクリックし、左側のタブ[プロファイル設定]をクリックし、[新規]をクリックします。**



❷ **プロファイル情報([プロファイル名]、[APN]、[ユーザ名]、[パスワード])を入力し、[認証方式]、[接続方式]を選択します。入力内容を確認し、[保存]をクリックします。**



お知らせ

- 新たに追加設定する場合は、プロバイダから取得した情報（接続先[APN]、ユーザ名、パスワードなど）を手元に控えた上で、設定してください。
- 「*」がついたプロファイル名、APN はプロファイルを作成、変更する為に必須の情報です。この箇所を入力しないと「保存」が有効にならず、保存できません。
- プロファイル名、ユーザ名は最大「半角 64 文字」、「全角 32 文字」まで入力ができます。
- パスワードは、「半角英数記号 64 文字」まで入力ができます。
  □「パスワードの入力制限を解除する」を有効にすると、入力制限されている記号「ダブルクオート（"）、（#）、（&）、アポストロフィー（'）、（*）、（+）、カンマ（,）、ピリオド（.）、コロン（:）、（=）、（>）、（@）、（¥）、アンダーバー（_）」が入力できるようになります。
- APN は最大「半角 100 文字」、「全角 50 文字」まで入力ができます。
- 接続方式の IPv4/v6 は RAS モードに対応しておりません。
  IPv4/v6 を使用する場合は接続方式を NDIS モードに設定してください。

❸ 設定したプロファイル名が追加されていることを確認します。



お知らせ

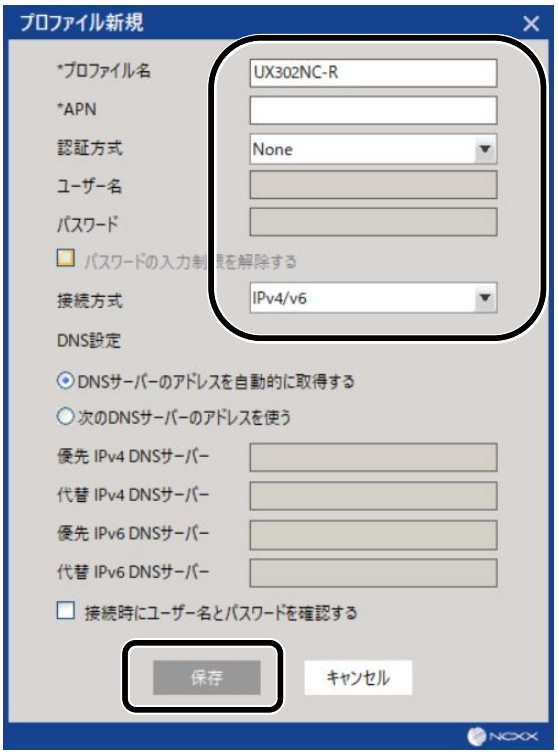
- 上記画面のプロファイル名[UX302NC-R]は参考名称です。お客様が入力した[プロファイル名]が表示されます。
- 複数のプロファイル（最大 16 個）の作成が可能です。指定するプロファイルで接続する際は、プロファイルを選択し、「接続先選択」を行ってください。

プロファイルを編集する

❶ メインメニュー画面で[Setting]をクリックし、左側のタブ[プロファイル設定]をクリックします。
表示されているプロファイルを選択し、[編集]をクリックするか、もしくはプロファイルをダブルクリックします。



❷ 下記画面で編集し、[保存]をクリックします。変更された内容は保存されます。

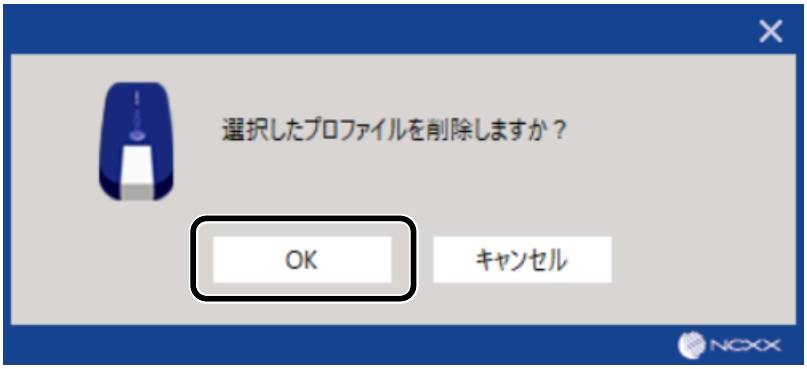


プロファイルを削除する

❶ メインメニュー画面で[Setting]をクリックし、左側のタブ[プロファイル設定]をクリックします。表示されているプロファイルを選択し、[削除]をクリックします。



❷ [OK]をクリックします。



プロファイルの接続先を選択する

❶ 登録されたプロファイルがある場合、接続先を選択することができます。
メインメニュー画面で[Setting]をクリックし、左側のタブ[プロファイル設定]をクリックします。
選択したいプロファイルを選択し、[接続先選択]をクリックします。



❷ 下記画面のように接続先に選択マークが表示されます。



❸ 下記画面のように接続先選択状態でプロファイルを選択し、[接続先解除]をクリックすることで接続先を解除できます。



接続方式とネットワークを設定する

接続方式（RAS または NDIS）、ネットワーク設定および自動再接続について説明します。

❶ **メインメニュー画面で[Setting]をクリックし、左側のタブ[接続タイプ]をクリックします。**



❷ **接続方式、ネットワーク設定および自動再接続を選択して[設定保存]をクリックします。**



NDIS：　Ethernet(LAN)接続と同様な接続方式
RAS：　ダイヤルアップによるネットワーク接続方式
通常は NDIS を選択してください。

ネットワーク設定による動作は以下のようになります。

[LTE/3G で利用する場合]

ネットワーク設定	利用可能なネットワーク		説明
	電源 ON 時 ※	接続時	
Auto	3G	3G/LTE	3G から接続し、LTE へハンドオーバーするモードです。 LTE のみのエリアでは、Dual/LTE Only を設定しご使用ください。
3G Only	3G	3G	3G のみに接続するモードです。
Dual	-	3G/LTE	接続を開始したタイミングで、3G/LTE への接続動作が開始されます。
LTE Only	-	LTE	接続を開始したタイミングで、LTE のみに接続するモードです。

※電源 ON 時とは、本製品をパソコンに接続し、コネクションマネージャーが起動された状態です。

お知らせ

- ネットワーク検出状態ではネットワークに位置登録をせずに対応周波数の信号検出のみを行うため、通信に利用する電波状態レベルとは異なります。
- 日本国内での 3G サービスは終了しています。Auto/3G Only の設定は 3G サービスが行われている国でご使用ください。
- Dual/LTE Only については、UX302NC（本体ファームウェアバージョン v1.0.x）ではご使用になれません。
- GSM を利用する場合は、Auto/Dual に設定しご利用ください。

自動再接続は[有効]に設定すると、通信網側から回線を切断された場合も自動的に再接続を行います。

お知らせ

自動接続の機能はコネクションマネージャーバージョン v2.3.3 以降でご利用いただけます。

PIN 設定

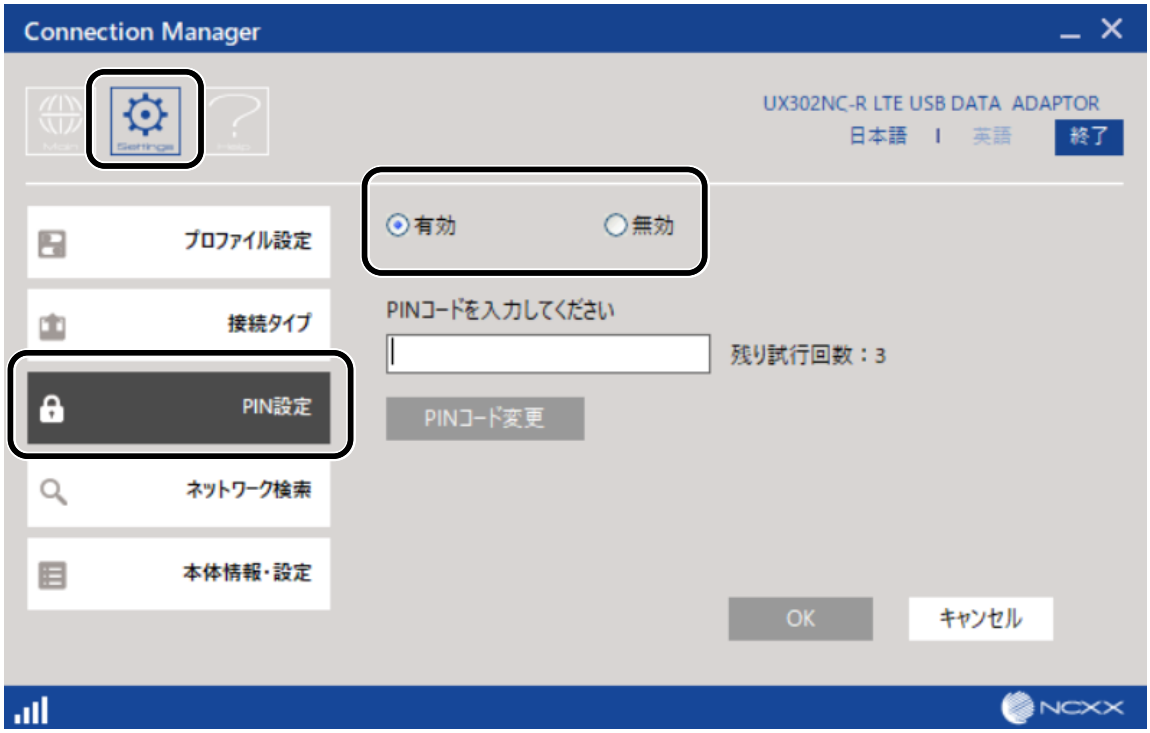
SIM カードには、「PIN コード」という暗証番号があります。この暗証番号により、ユーザ固有データと第 3 者不正使用に対する強力なセキュリティ機能を実現しています。
お買い上げ時、PIN コードは「0000」に設定されており、PIN コードは無効になっています。有効にすることで、紛失、または盗難にあった際、不正に使用されることがありません。

お 願 い

- 設定した PIN コードは、メモを取るなどして忘れないようご注意ください。
- PIN コードを有効に設定した上で、PIN コードをお忘れになった場合、PIN コードを解除するための PUK コードが必要になります。

PIN コードの設定を有効にする

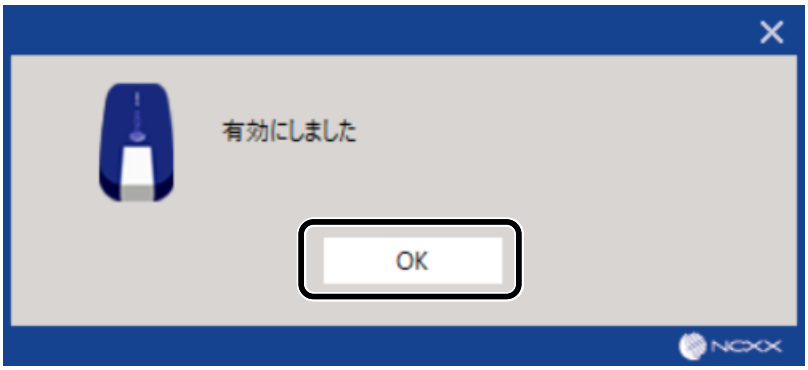
❶ メインメニュー画面で[Setting]をクリックし、左側のタブ[PIN 設定]をクリックします。
[有効]をクリックします。



❷ PIN コード「0000」を入力し、[OK]をクリックします。PIN コードを変更している場合（「PIN コードを変更する」⇒56 ページ）は、4～8 桁の範囲で、設定した PIN コードを入力します。

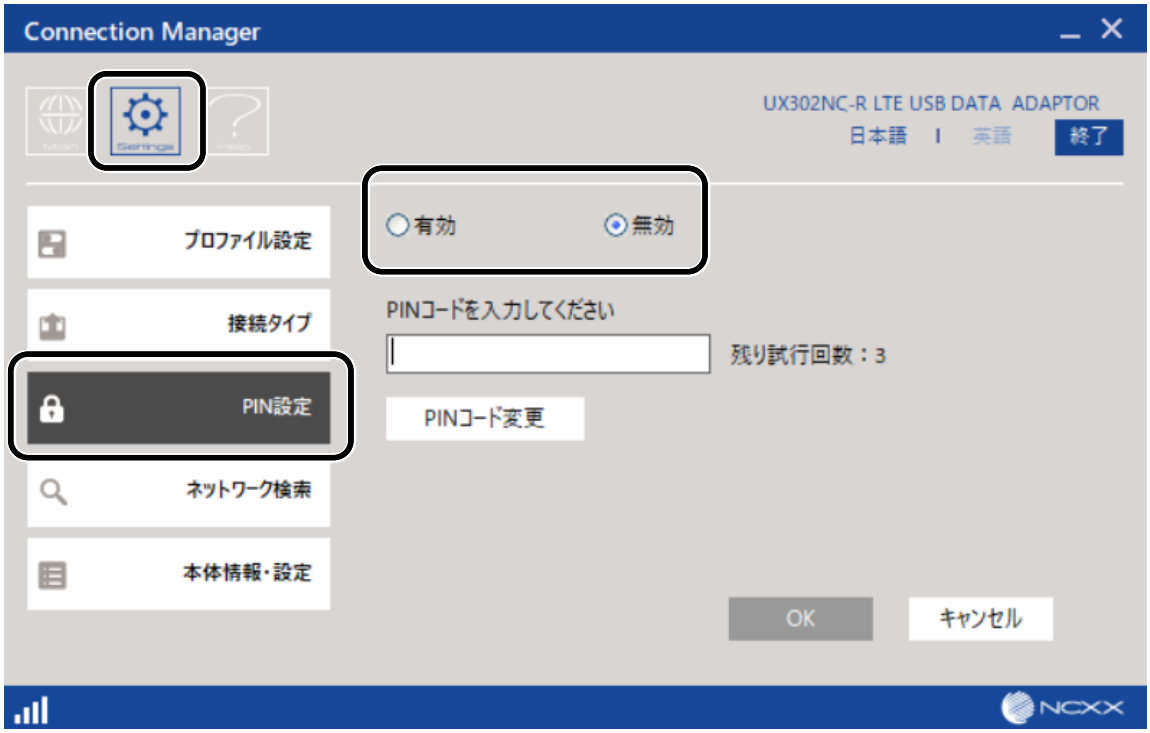


❸ 下記画面の表示を確認し、[OK]をクリックします。



PIN コードの設定を無効にする

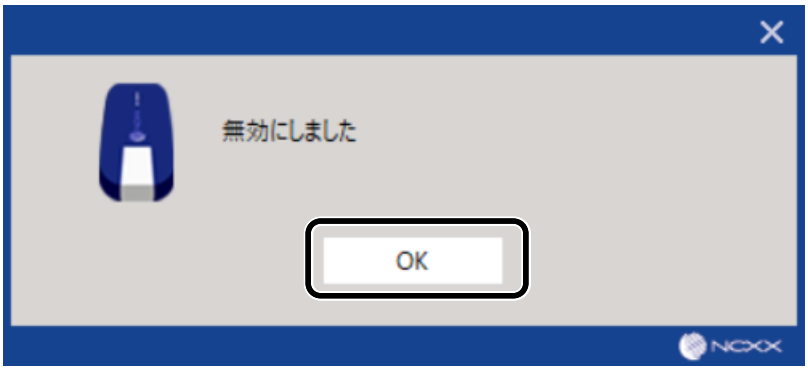
❶ メインメニュー画面で[Setting]をクリックし、左側のタブ[PIN 設定]をクリックします。
[無効]をクリックします。



❷ 4～8 桁の範囲で設定したコードを入力し、[OK]をクリックします。



❸ 下記画面の表示を確認し、[OK]をクリックします。



PIN コードを変更する

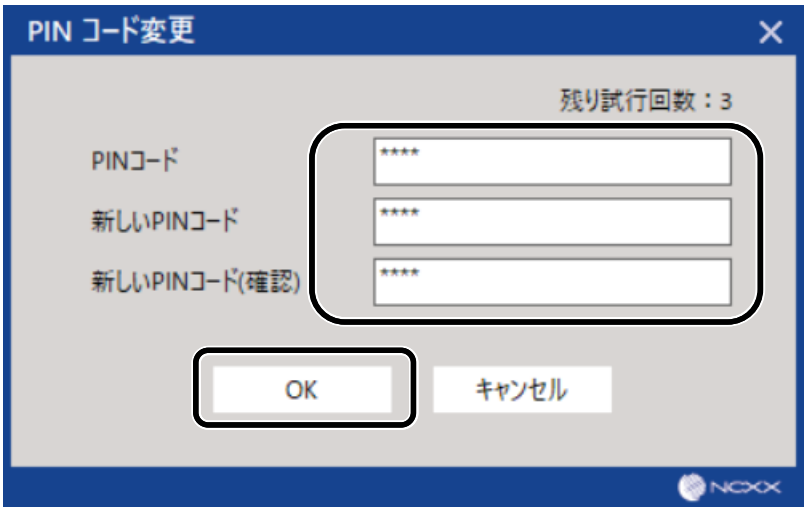
お知らせ

● [PIN コードの変更]は PIN コードが有効に設定されているときのみ選択することができます。

❶ メインメニュー画面で[Setting]をクリックし、左側のタブ[PIN 設定]をクリックします。
[PIN コード変更]をクリックします。



❷ 下記画面が表示されますので、[PIN コード]には現在設定されている PIN コードを入力します。[新しい PIN コード]、[新しい PIN コードの確認] に 4～8 桁の範囲で、新しい PIN コードを入力します。[OK]をクリックします。



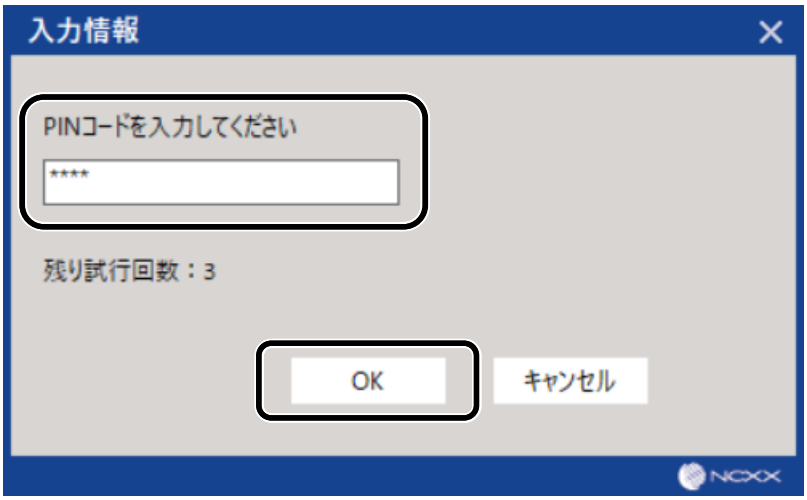
❸ 下記画面の表示を確認し、[OK]をクリックします。



PIN コードを解除する

PIN コードが有効の状態で本製品をパソコンに接続すると、セキュリティの解除を求める画面が表示されます。

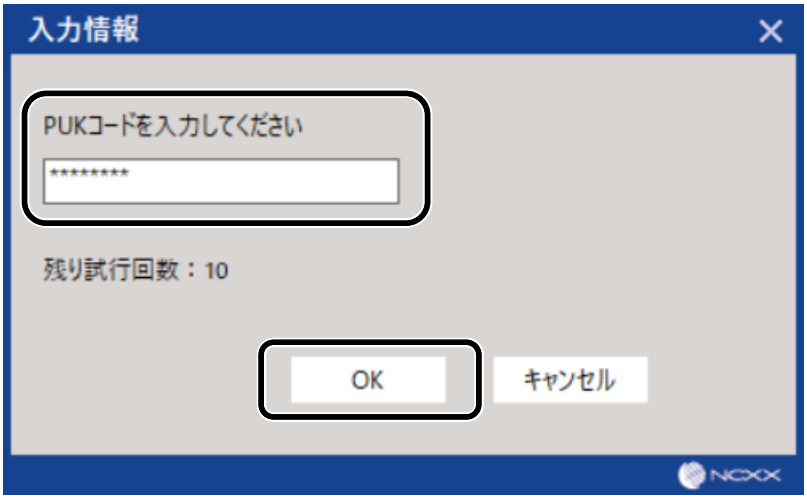
❶ **[入力情報]画面が表示されます。4～8 桁の範囲で、設定したコードを入力し、[OK]をクリックします。**



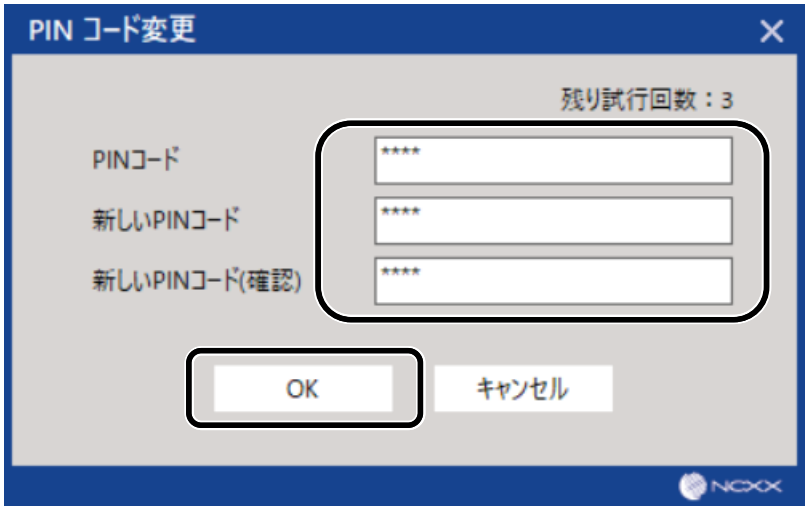
PIN ロックを解除する

PIN コードを有効にした状態で、PIN コードの入力を 3 回連続で間違えると、設定した PIN コードが無効になり、すべての機能がロックされ、PIN ロック状態となります。その場合、PUK コードの入力により、PIN コードを再発行する事ができます。

❶ **コネクションマネージャーを起動または本製品をパソコンに接続すると下記の[入力情報]画面が表示されます。ご契約の通信事業者から提供された PUK コードを入力し、[OK]をクリックします。**



❷ 下記画面が表示されますので、[新しい PIN コード]、[新しい PIN コードの確認] に 4～8 桁の範囲で、新しい PIN コードを入力します。[OK]をクリックします。



お知らせ

- 上記画面で[キャンセル]をクリックした場合、PIN コードは「0000」に設定されます。

注意

- PIN コードは 3 回連続、PUK コードは 10 回連続で間違えると、それぞれのコードが無効になり、PIN ロック/PUK ロック状態となります。PIN ロック/PUK ロック状態となった場合は、ご契約の通信事業者の窓口へお問い合わせ下さい。

ネットワーク検索する

接続する際のネットワークを検索する機能で、自動を選択した場合は接続時に自動でネットワークを検索して接続します。よってここでは海外で利用する場合など、接続するネットワークを手動で選択する場合のネットワーク検索手順について説明します。

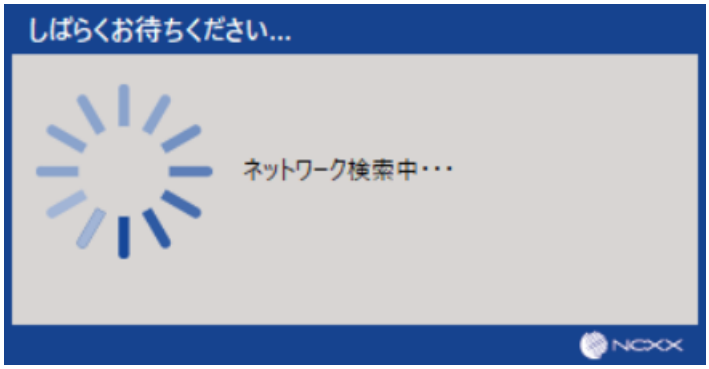
❶ **メインメニュー画面で[Setting]をクリックし、左側のタブ[ネットワーク検索]をクリックします。**



❷ **ネットワーク検索について[手動]を選択し、[検索]をクリックします。**



❸ **下記画面のようにネットワークの検索を行ないます。**



❹ **下記画面のように検索されたネットワークが表示されますので、利用するネットワークを選択して[選択]をクリックします。**



お知らせ

- 3G Only、LTE Only を選択した場合には、他の通信方式のネットワークは表示されません。
- Auto を選択した場合には、LTE のみのネットワークは使用できません。
  LTE のみのネットワークを使用する場合は、Dual モードのネットワーク設定でご使用ください。

本体情報・設定

本体情報、本体設定内容のエクスポート/インポート方法について説明します。

本体情報を確認する

❶ **メインメニュー画面で[Setting]をクリックし、左側のタブ[本体情報・設定]をクリックします。下記画面のように電話番号、IMEI、コネクションマネージャーバージョン、本体ファームウェアバージョンが確認できます。**



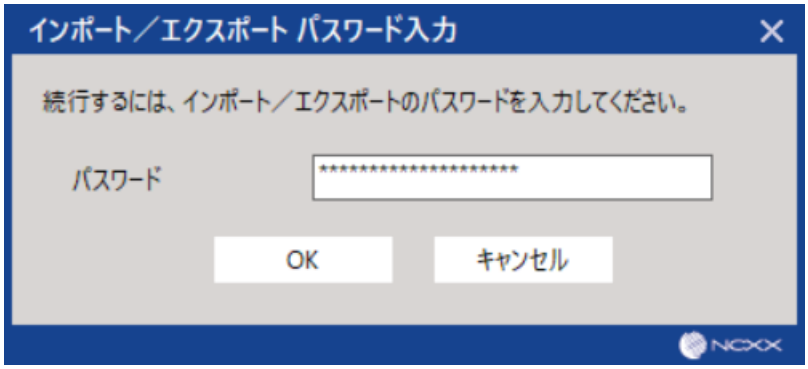
^

本体設定をエクスポートする

❶ メインメニュー画面で[Setting]をクリックし、左側のタブ[本体情報・設定]をクリックします。
下記画面にある本体設定の[エクスポート]をクリックします。



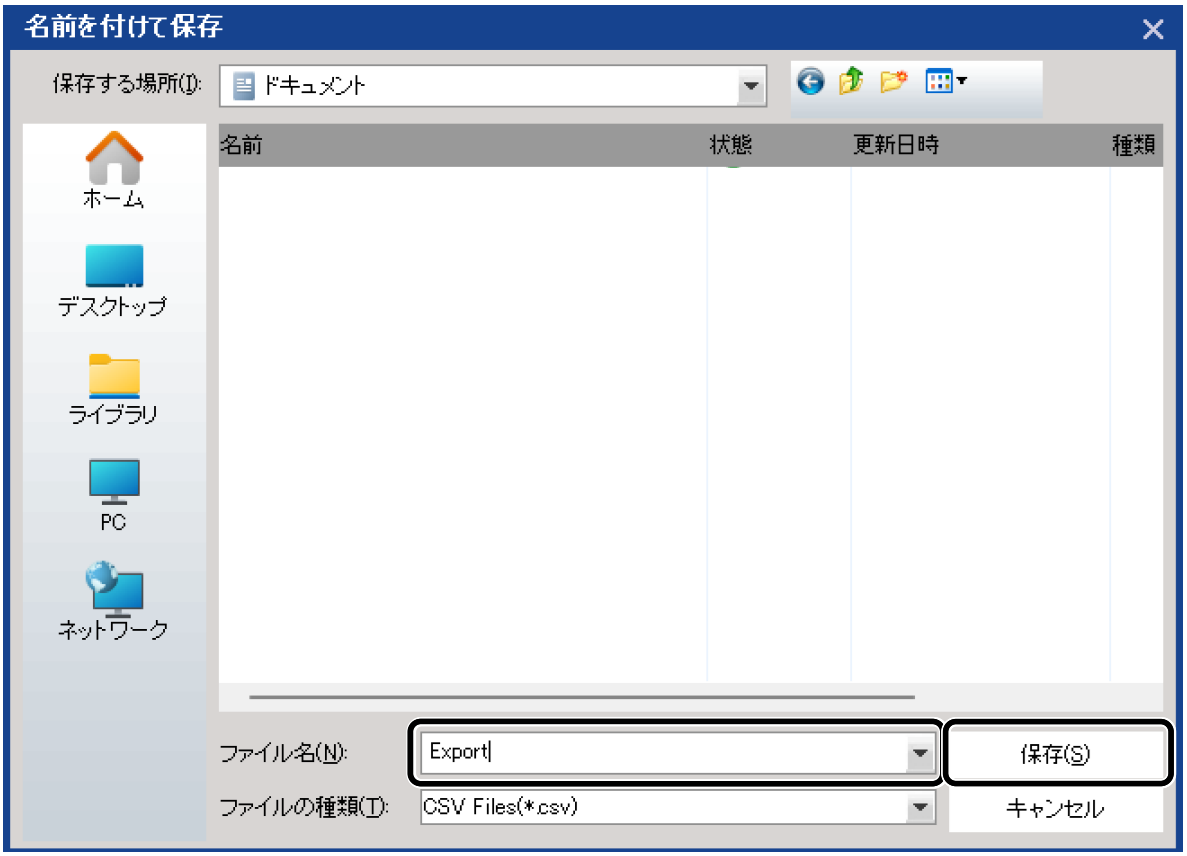
❷ 下記画面が表示されますので、[パスワード] に半角英数字 4～20 桁の範囲で、パスワードを入力します。[OK]をクリックします。



お知らせ

- コネクションマネージャーバージョン v2.x.x からエクスポートした本体設定はコネクションマネージャーバージョン v1.0.x にインポートすることはできません。コネクションマネージャーを v2.x.x にバージョンアップしてください。

❸ 下記画面でファイル名を入力し、[保存]をクリックします。

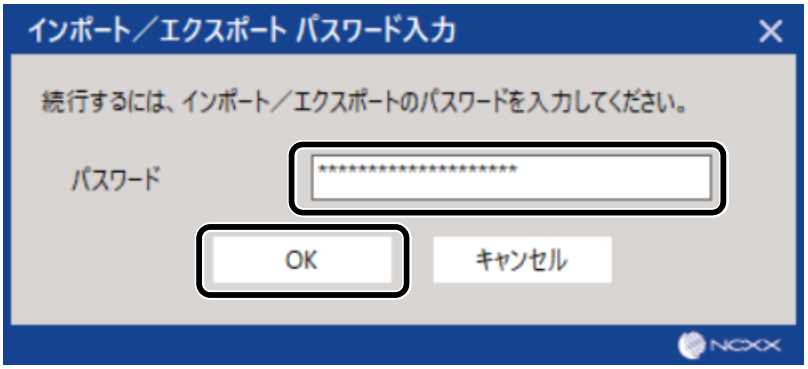


本体設定をインポートする

❶ メインメニュー画面で[Setting]をクリックし、左側のタブ[本体情報・設定]をクリックします。
下記画面にある本体設定の[インポート]をクリックします。



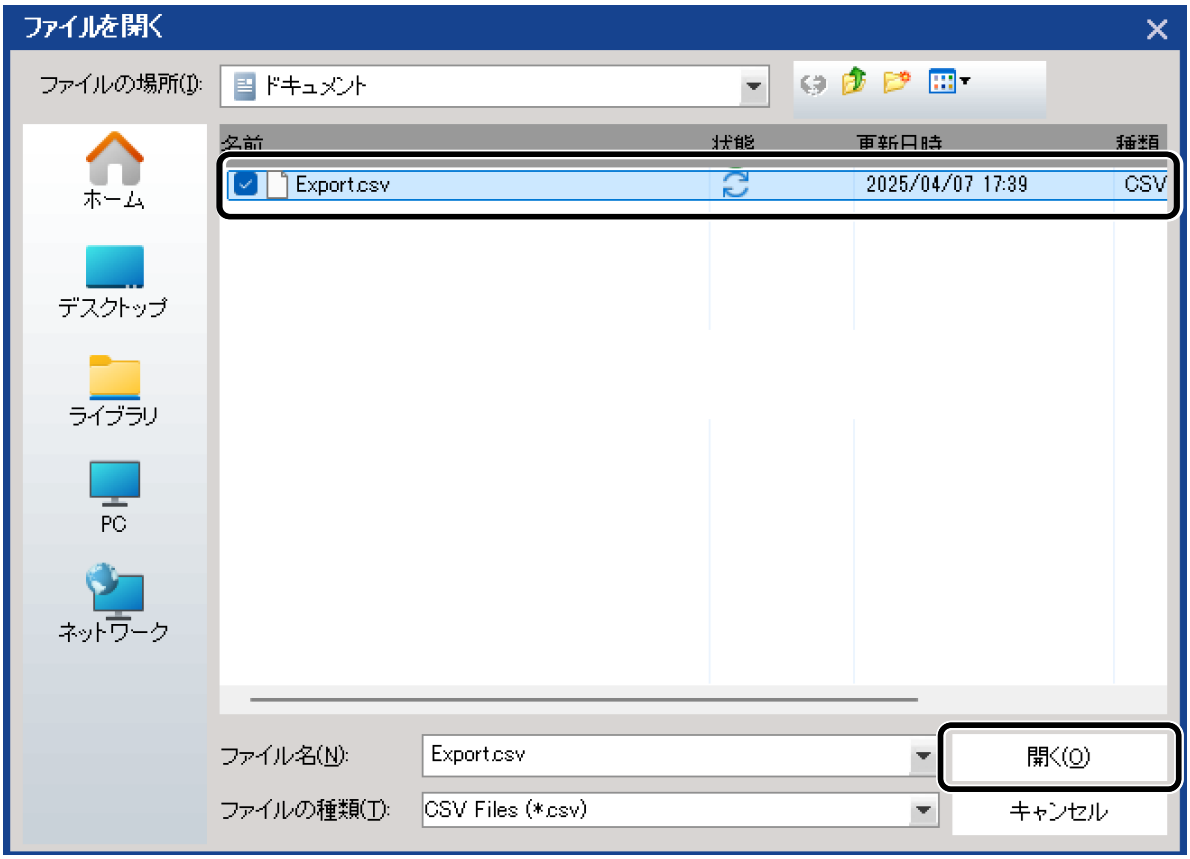
❷ 下記画面が表示されますので、[パスワード] に半角英数字 4～20 桁の範囲で、パスワードを入力します。[OK]をクリックします。



お知らせ

- エクスポートしたときのパスワードを入力します。
- コネクションマネージャーバージョン v1.0.x からエクスポートした本体設定をコネクションマネージャーバージョン v2.x.x にインポートする場合、パスワードに「0000」を入力します。

❸「ファイルを開く」でインポートしたいファイルを選択し、[開く]をクリックします。



インストールモードを無効にする

インストールモードを無効にすることによって、無断で第 3 者が他のパソコンへドライバ/コネクションマネージャーをインストールすることを制限する機能です。

❶ **メインメニュー画面で[Setting]をクリックし、左側のタブ[本体情報・設定]をクリックします。**
インストールモードを「無効」に設定します。

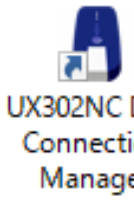


インターネットへの接続/切断

インターネットへの接続、切断方法について説明します。

インターネットへ接続する

❶ **デスクトップに作成された[UX302NC Data Connection Manager]アイコンをダブルクリックし、コネクションマネージャーを起動します。**



[UX302NC Data Connection Manager]アイコン

❷ **電波状態が圏内であることを確認し、[接続]をクリックします。**



❸ **[接続]画面が表示されます。認証が完了すれば画面は消えます。**



❹ インターネットに接続すると、下記画面のように接続状態を確認する画面が表示され、
[接続時間]と[データ量]を確認することができます。



❺ インターネットエクスプローラなどのブラウザを起動してください。

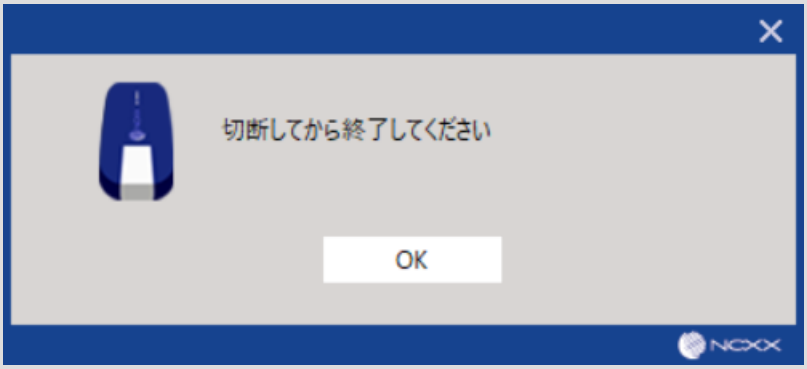
インターネットの接続を切断する

❶ 下記画面の[切断]をクリックします。



お 願 い

- コネクションマネージャーを終了する場合は、インターネット接続を切断し行ってください。
  インターネット接続中に[終了]をクリックすると下記画面が表示されます。
  その場合は切断後、コネクションマネージャーを終了してください。

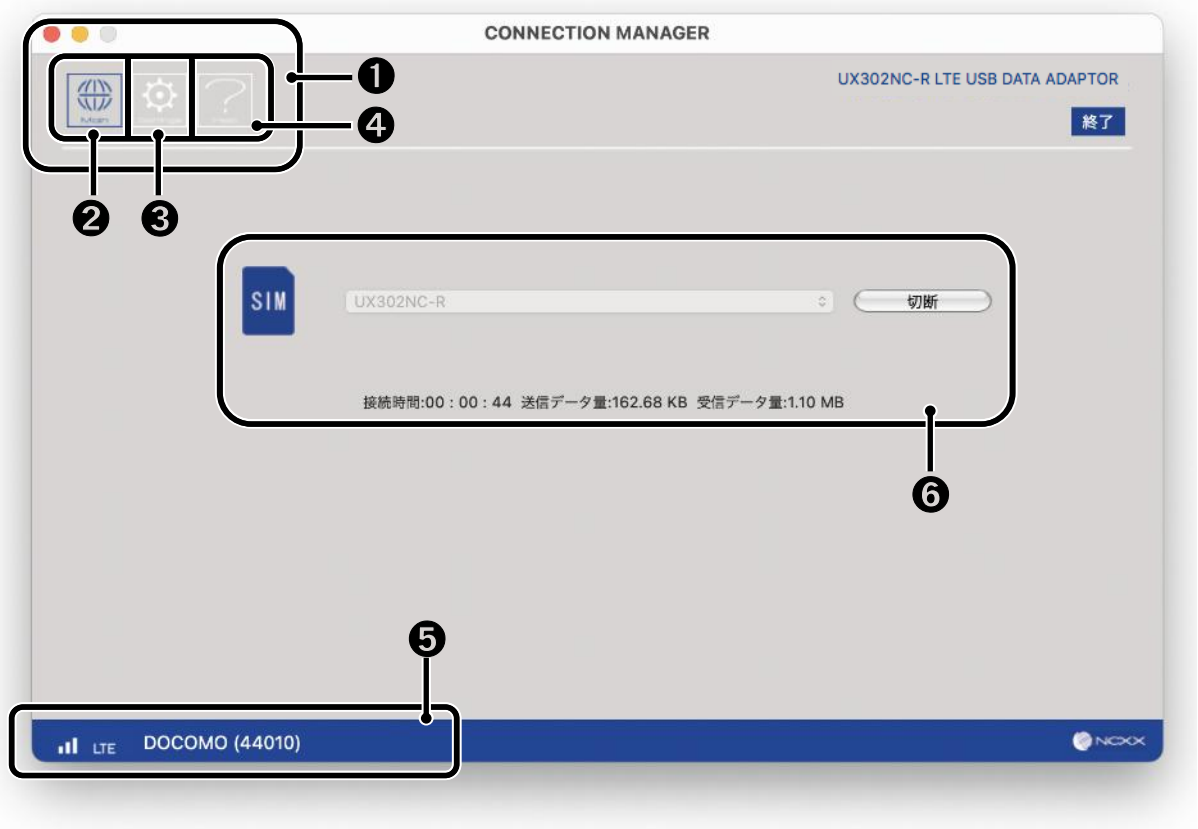


コネクションマネージャー –macOS-

ここでは、macOS 用コネクションマネージャーの機能、各種設定方法について説明します。

コネクションマネージャー　メインメニュー画面

コネクションマネージャー起動時の画面について説明します。



❶コネクションマネージャー メニュー

メインメニューおよび各種設定、ヘルプの切替を行います。

❷メイン ボタン

インターネットに接続するためのダイヤルアップ接続先を表示します。

❸設定ボタン

プロファイル、PIN 設定、本体情報・設定を行います。

❹ヘルプボタン

取扱説明書（本書）を PDF ファイルで表示します。

❺状態表示

電波状態や通信状態、利用可能な通信方式、通信事業者/通信事業者固有番号、製品状態を表示します。

※電波状態表示例 （3G の場合）

表示	圏外	3G	3G	3G	3G	3G	3G
状態	圏外	Level 0	Level 1	Level 2	Level 3	Level 4	Level 5

※通信方式表示例

表示				
通信方式	LTE	3G	GSM	ネットワーク検出状態

国際ローミング時は通信方式の上側に  が表示されます。

※製品状態表示例 （通信事業者/固有番号は DOCOMO の場合）

表示			
製品状態	通信事業者/固有番号	ネットワーク検索中	SIM 無効

表示			
製品状態	SIM 未挿入	製品未挿入	サービスエリア外

❻ インターネットの接続/切断、通信状態表示

プロファイルの選択、接続/切断、接続時間、送受信データ量の表示を行います。

プロファイル設定

プロファイルの作成、編集、削除方法について説明します。

プロファイルを作成する

❶ **メインメニュー画面で[Setting]をクリックし、左側のタブ[プロファイル設定]をクリックし、[新規]をクリックします。**



❷ **プロファイル情報([プロファイル名]、[APN]、[ユーザ名]、[パスワード])を入力し、[認証方式]、[接続方式]を選択します。入力内容を確認し、[保存]をクリックします。**



お知らせ

- 新たに追加設定する場合は、プロバイダから取得した情報（接続先[APN]、ユーザ名、パスワードなど）を手元に控えた上で、設定してください。
- 「*」がついたプロファイル名、APN はプロファイルを作成、変更する為に必須の情報です。この箇所を入力しないと「保存」が有効にならず、保存できません。
- プロファイル名、ユーザ名は最大「半角 64 文字」、「全角 32 文字」まで入力ができます。
- パスワードは、「半角英数記号 64 文字」まで入力ができます。
  □ 「パスワードの入力制限を解除する」を有効にすると、入力制限されている記号「ダブルクオート（″）、（#）、（&）、アポストロフィー（'）、（*）、（+）、カンマ（,）、ピリオド（.）、コロン（:）、（=）、（>）、（@）、（¥）、アンダーバー（_）」が入力できるようになります。
- APN は最大「半角 100 文字」、「全角 50 文字」まで入力ができます。
- 接続方式は IPv4 または IPv6 を選択できます。
- 接続方式の IPv6 は RAS モードに対応しておりません。
  IPv6 を使用する場合は接続方式を NDIS モードに設定してください。

❸ 設定したプロファイル名が追加されていることを確認します。



お知らせ

- 上記画面のプロファイル名[UX302NC-R]は参考名称です。お客様が入力した[プロファイル名]が表示されます。
- 複数のプロファイル（最大 16 個）の作成が可能です。指定するプロファイルで接続する際は、プロファイルを選択し、「接続先選択」を行ってください。

プロファイルを編集する

❶ メインメニュー画面で[Setting]をクリックし、左側のタブ[プロファイル設定]をクリックします。
表示されているプロファイルを選択し、[編集]をクリックするか、もしくはプロファイルをダブルクリックします。



❷ 下記画面で編集し、[保存]をクリックします。変更された内容は保存されます。

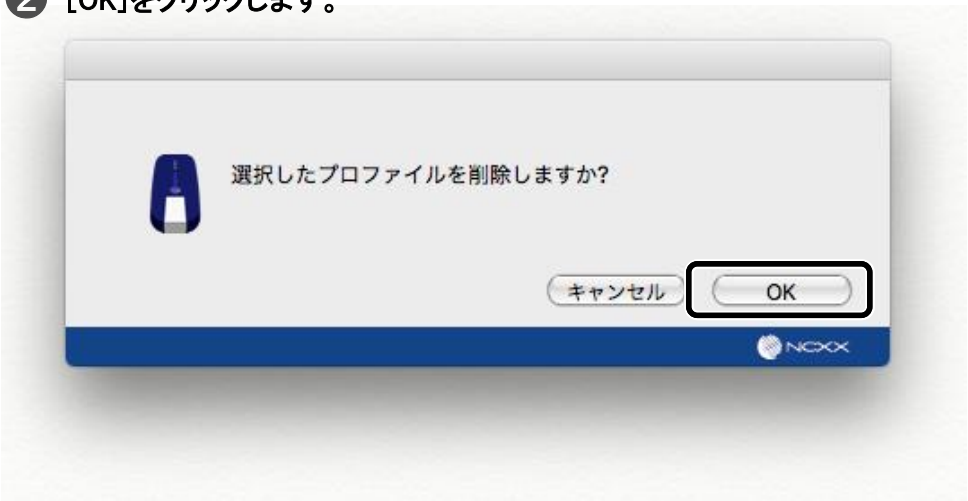


プロファイルを削除する

❶ メインメニュー画面で[Setting]をクリックし、左側のタブ[プロファイル設定]をクリックします。表示されているプロファイルを選択し、[削除]をクリックします。



❷ [OK]をクリックします。

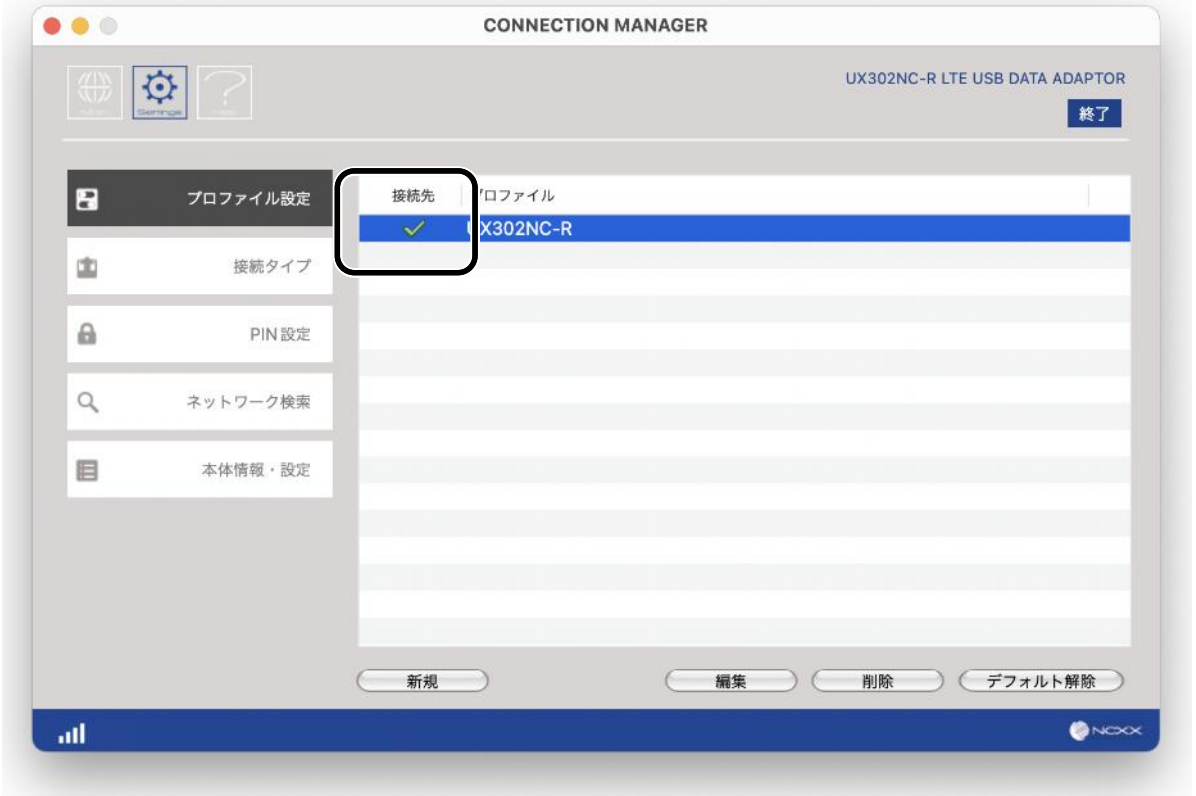


プロファイルの接続先を選択する

❶ 登録されたプロファイルがある場合、接続先を選択することができます。
メインメニュー画面で[Setting]をクリックし、左側のタブ[プロファイル設定]をクリックします。
選択したいプロファイルを選択し、[デフォルト設定]をクリックします。



❷ 下記画面のように接続先に選択マークが表示されます。



❸ 下記画面のように接続先選択状態でプロファイルを選択し、[デフォルト解除]をクリックすることで接続先を解除できます。



接続方式とネットワークを設定する

接続方式（RAS または NDIS）、ネットワーク設定および自動再接続について説明します。

❶ **メインメニュー画面で[Setting]をクリックし、左側のタブ[接続タイプ]をクリックします。**



❷ **接続方式、ネットワーク設定および自動再接続を選択して[設定保存]をクリックします。**



NDIS：　Ethernet(LAN)接続と同様な接続方式
RAS：　ダイヤルアップによるネットワーク接続方式
通常は NDIS を選択してください。

ネットワーク設定による動作は以下のようになります。

[LTE/3G で利用する場合]

ネットワーク設定	利用可能なネットワーク		説明
	電源 ON 時 ※	接続時	
Auto	3G	3G/LTE	3G から接続し、LTE へハンドオーバーするモードです。 LTE のみのエリアでは、Dual/LTE Only を設定しご使用ください。
3G Only	3G	3G	3G のみに接続するモードです。
Dual	-	3G/LTE	接続を開始したタイミングで、3G/LTE への接続動作が開始されます。
LTE Only	-	LTE	接続を開始したタイミングで、LTE のみに接続するモードです。

※電源 ON 時とは、本製品をパソコンに接続し、コネクションマネージャーが起動された状態です。

お知らせ

- ネットワーク検出状態ではネットワークに位置登録をせずに対応周波数の信号検出のみを行うため、通信に利用する電波状態レベルとは異なります。
- 日本国内での 3G サービスは終了しています。Auto/3G Only の設定は 3G サービスが行われている国でご使用ください。
- Dual/LTE Only については、UX302NC（本体ファームウェアバージョン v1.0.x）ではご使用になれません。
- GSM を利用する場合は、Auto/Dual に設定しご利用ください。

自動再接続は[有効]に設定すると、通信網側から回線を切断された場合も自動的に再接続を行います。

お知らせ

自動接続の機能はコネクションマネージャーバージョン v2.3.3 以降でご利用いただけます。

PIN 設定

SIM カードには、「PIN コード」という暗証番号があります。この暗証番号により、ユーザ固有データと第 3 者不正使用に対する強力なセキュリティ機能を実現しています。
お買い上げ時、PIN コードは「0000」に設定されており、PIN コードは無効になっています。有効にすることで、紛失、または盗難にあった際、不正に使用されることがありません。

お 願 い

- 設定した PIN コードは、メモを取るなどして忘れないようご注意ください。
- PIN コードを有効に設定した上で、PIN コードをお忘れになった場合、PIN コードを解除するための PUK コードが必要になります。

PIN コードの設定を有効にする

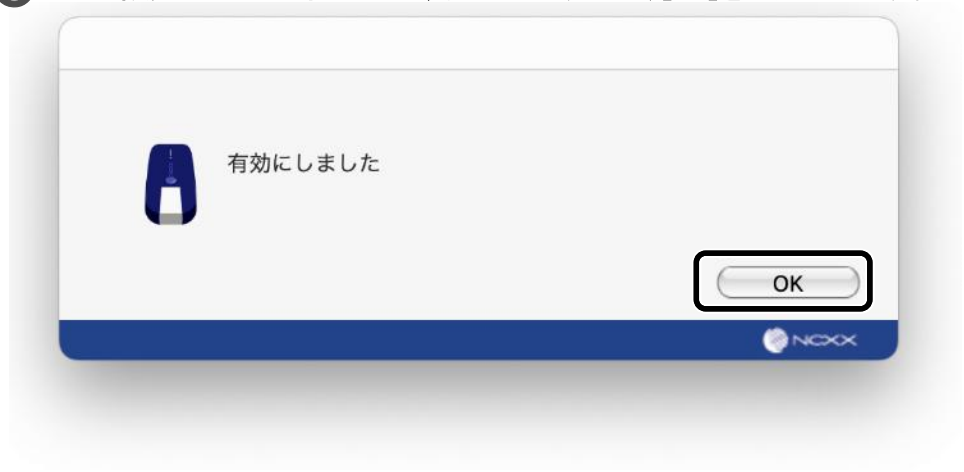
❶ メインメニュー画面で[Setting]をクリックし、左側のタブ[PIN 設定]をクリックします。[有効]をクリックします。



❷ [PIN コードの入力]画面が表示されます。「0000」を入力し、[OK]をクリックします。
PIN コードを変更している場合(「PIN コードを変更する」⇒84 ページ)は、4～8 桁の範囲で、
設定した PIN コードを入力します。



❸ 正しく設定されると下記画面が表示されますので、[OK]をクリックします。



PIN コードの設定を無効にする

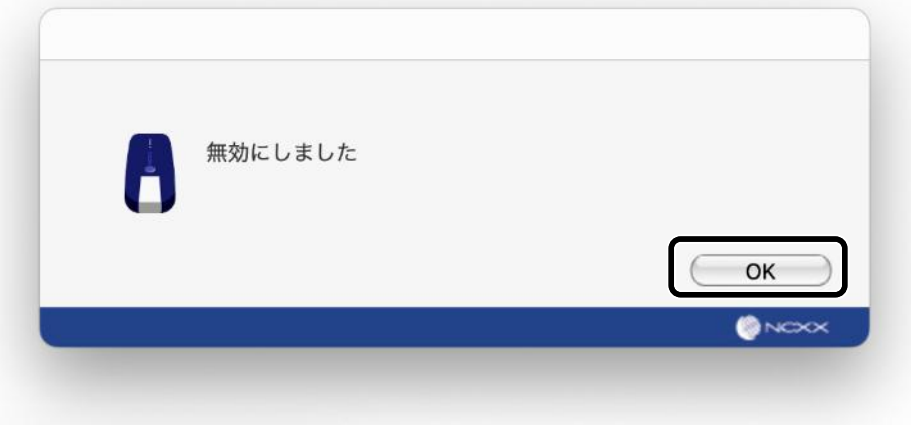
❶ メインメニュー画面で[Setting]をクリックし、左側のタブ[PIN 設定]をクリックします。[無効]をクリックします。



❷ [PIN コードの入力]画面が表示されます。「0000」を入力し、[OK]をクリックします。
PIN コードを変更している場合(「PIN コードを変更する」⇒84 ページ)は、4～8 桁の範囲で、設定した PIN コードを入力します。



❸ 正しく設定されると下記画面が表示されますので、[OK]をクリックします。



PIN コードを変更する

お知らせ

● [PIN コードの変更]は PIN コードが有効に設定されているときのみ選択することができます。

❶ メインメニュー画面で[Setting]をクリックし、左側のタブ[PIN 設定]をクリックします。
[PIN コード変更]をクリックします。



❷ 下記画面が表示されますので、[古い PIN コード]には設定した PIN コードを入力します。
[新しい PIN コード]、[新しい PIN コードの確認] に 4～8 桁の範囲で、新しい PIN コードを入力します。[OK]をクリックします。



❸ PIN コードが変更されましたという表示を確認し、[OK]をクリックします。



PIN コードを解除する

PIN コードが有効の状態で本製品をパソコンに接続すると、セキュリティの解除を求める画面が表示されます。

下記画面が表示されます。4～8 桁の範囲で、設定したコードを入力し、[OK]をクリックします。



PIN ロックを解除する

PIN コードを有効にした状態で、PIN コードの入力を 3 回連続で間違えると、設定した PIN コードが無効になり、すべての機能がロックされ、PIN ロック状態となります。その場合、PUK コードの入力により、PIN コードを再発行する事ができます。

❶ **コネクションマネージャーを起動または本製品をパソコンに接続すると下記の[入力情報]画面が表示されます。ご契約の通信事業者から提供された PUK コードを入力し、[OK]をクリックします。**



❷ **下記画面が表示されますので、[新しい PIN コード]、[新しい PIN コードの確認] に 4～8 桁の範囲で、新しい PIN コードを入力します。[OK]をクリックします。**



お知らせ

- 上記画面で[キャンセル]をクリックした場合、PIN コードは「0000」に設定されます。

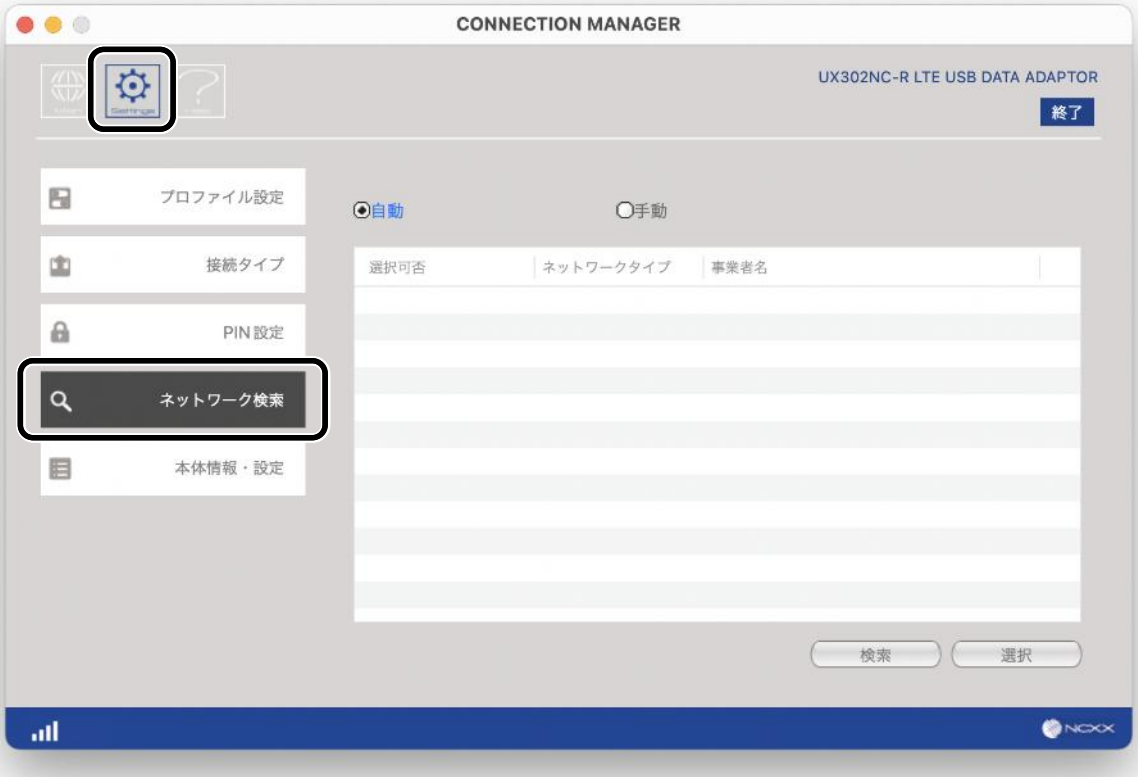
注意

- PIN コードは 3 回連続、PUK コードは 10 回連続で間違えると、それぞれのコードが無効になり、PIN ロック/PUK ロック状態となります。PIN ロック/PUK ロック状態となった場合は、ご契約の通信事業者の窓口へお問い合わせ下さい。

ネットワーク検索する

接続する際のネットワークを検索する機能で、[自動]を選択した場合は接続時に自動でネットワークを検索して接続します。よってここでは海外で利用する場合など、接続するネットワークを手動で選択する場合のネットワーク検索手順について説明します。

❶ **メインメニュー画面で[Setting]をクリックし、左側のタブ[ネットワーク検索]をクリックします。**



❷ **ネットワーク検索について[手動]を選択し、[検索]をクリックします。**



❸ 下記画面のようにネットワークの検索を行ないます。



❹ 下記画面のように検索されたネットワークが表示されますので、利用するネットワークを選択して[選択]をクリックします。



お知らせ

- 3G Only、LTE Only を選択した場合には、他の通信方式のネットワークは表示されません。
- Auto を選択した場合には、LTE のみのネットワークは使用できません。
  LTE のみのネットワークを使用する場合は、Dual モードのネットワーク設定でご使用ください。

❺ 下記画面のネットワーク選択中となり、ネットワークが選択されます。



本体情報・設定

本体情報、本体設定内容のエクスポート/インポート方法について説明します。

本体情報を確認する

❶ **メインメニュー画面で[Setting]をクリックし、左側のタブ[本体情報・設定]をクリックします。下記画面のように電話番号、IMEI、コネクションマネージャーバージョン、本体ファームウェアバージョンが確認できます。**

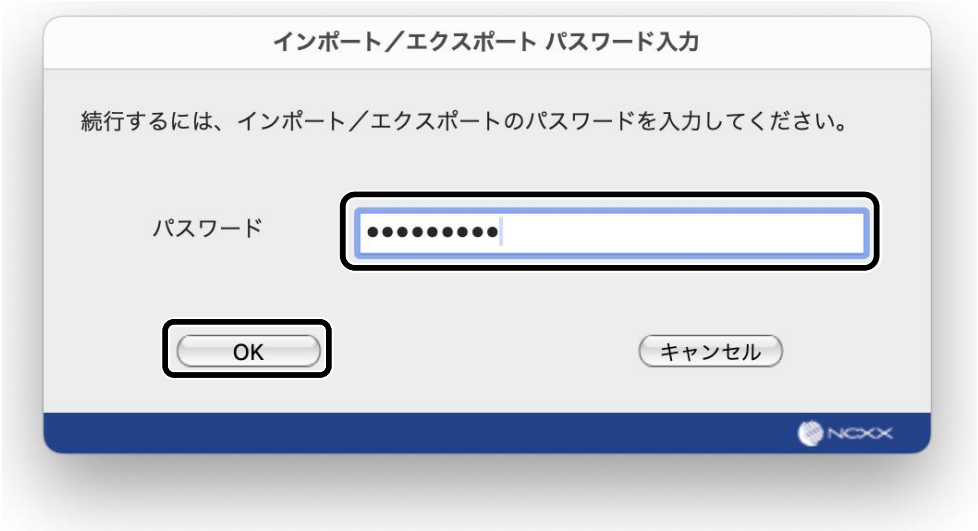


本体設定をエクスポートする

❶ メインメニュー画面で[Setting]をクリックし、左側のタブ[本体情報・設定]をクリックします。
下記画面にある本体設定の[エクスポート]をクリックします。



❷ 下記画面が表示されますので、[パスワード] に半角英数字 4～20 桁の範囲で、パスワードを入力します。[OK]をクリックします。



お知らせ

- コネクションマネージャーバージョン v2.x.x からエクスポートした本体設定はコネクションマネージャーバージョン v1.0.x にインポートすることはできません。コネクションマネージャーを v2.x.x にバージョンアップしてください。

❸ 下記画面でファイル名を入力し、[保存]をクリックします。

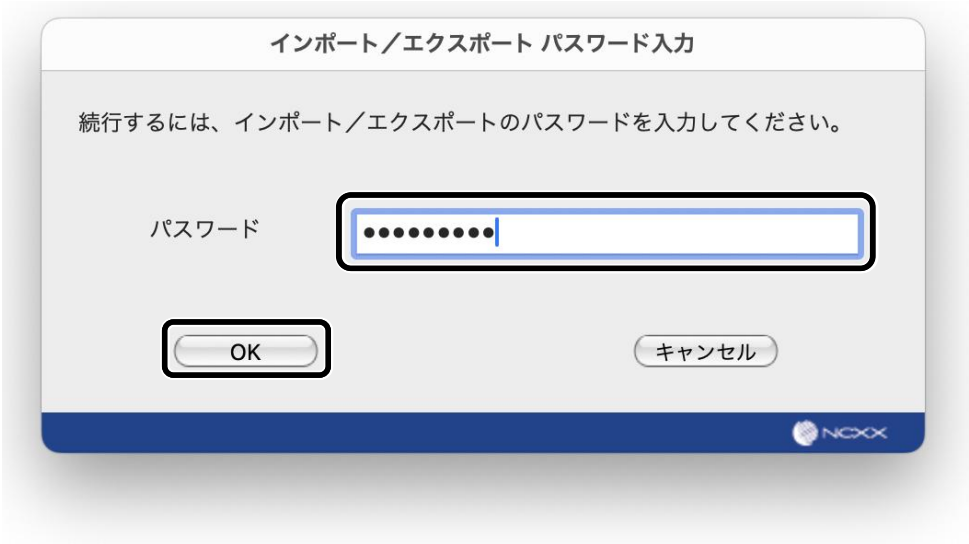


本体設定をインポートする

❶ メインメニュー画面で[Setting]をクリックし、左側のタブ[本体情報・設定]をクリックします。
下記画面にある本体設定の[インポート]をクリックします。



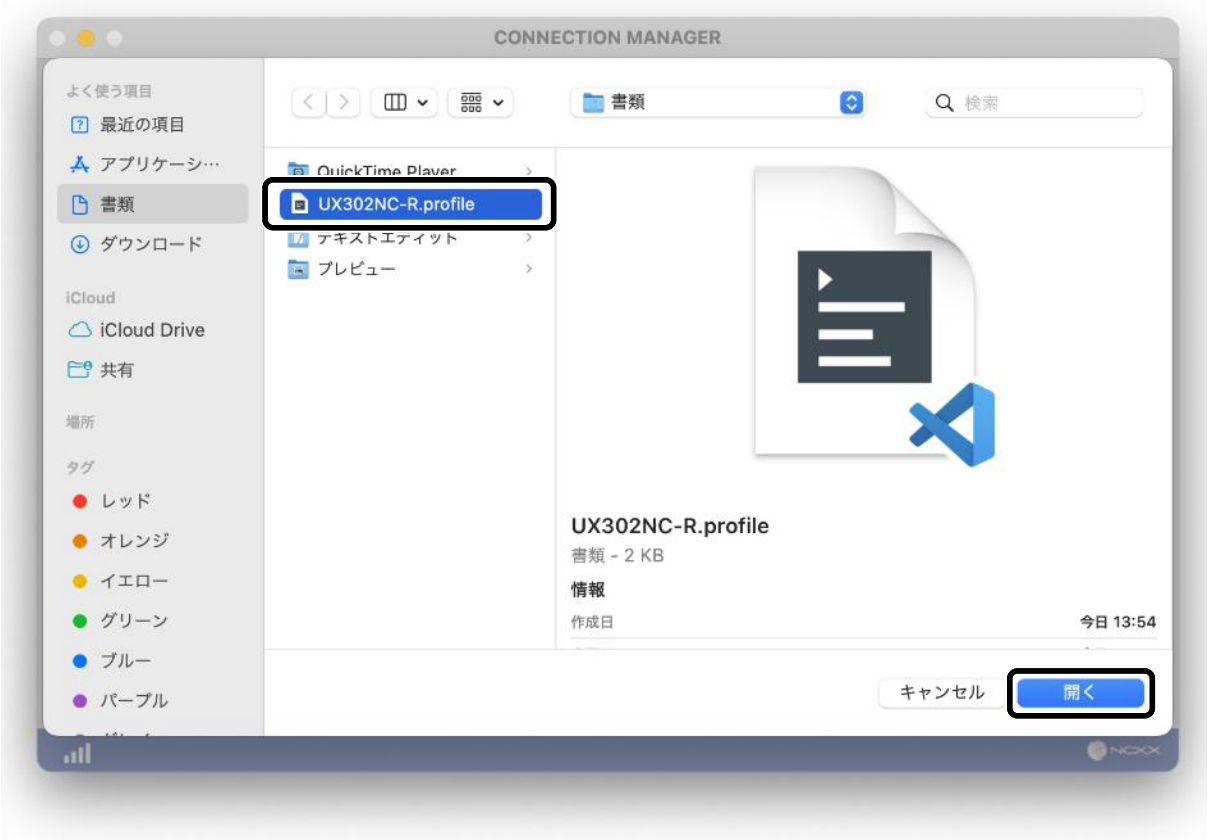
❷ 下記画面が表示されますので、[パスワード] に半角英数字 4～20 桁の範囲で、パスワードを入力します。[OK]をクリックします。



お知らせ

- エクスポートしたときのパスワードを入力します。
- コネクションマネージャーバージョン v1.0.x からエクスポートした本体設定をコネクションマネージャーバージョン v2.x.x にインポートする場合、パスワードに「0000」を入力します。

❸ 下記画面でインポートしたいファイルを選択し、[開く]をクリックします。



インストールモードを無効にする

インストールモードを無効にすることによって、無断で第 3 者が他のパソコンへドライバ/コネクションマネージャーをインストールすることを制限する機能です。

❶ メインメニュー画面で[Setting]をクリックし、左側のタブ[本体情報・設定]をクリックします。
[無効]をクリックします。



インターネットへの接続/切断

インターネットへの接続、切断方法について説明します。

インターネットへ接続する

❶ **デスクトップに作成された[UX302NC Data Connection Manager]アイコンをダブルクリックし、コネクションマネージャーを起動します。**



[UX302NC Data Connection Manager]アイコン

❷ **電波状態が圏内であることを確認し、[接続]をクリックします。**



❹ インターネットに接続すると、下記画面のように接続状態を確認する画面が表示され、
[接続時間]と[データ量]を確認することができます。



❺ Safari などのブラウザを起動してください。

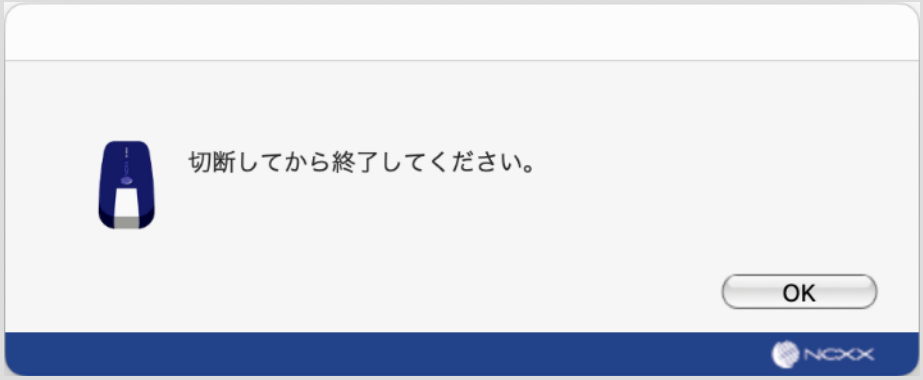
インターネットの接続を切断する

❶ 下記画面の[切断]をクリックします。



お 願 い

- コネクションマネージャーを終了する場合は、インターネット接続を切断し行ってください。
  インターネット接続中に[終了]をクリックすると下記画面が表示されます。
  その場合は切断後、コネクションマネージャーを終了してください。



4 各種機能を設定する（Web ブラウザ）

デバイス設定ツールについて …… 100
デバイス設定ツールの画面 …… 100
ルーターモードを設定する …… 101
本製品を初期化する …… 103
Web UI …… 104
初回起動時のログインパスワード設定 …… 104
Web UI にログインする …… 106
Web UI の画面 …… 107
設定・確認を行う …… 109
基本情報 …… 109
モバイルネットワーク設定 …… 111
ルータ設定 …… 128
システム設定 …… 131

デバイス設定ツールについて

デバイス設定ツールは、USB モデムモードとルーターモードの切り替えや本製品の初期化を行うことができます。
デバイス設定ツールは、コネクションマネージャー/ドライバと同時にインストールされます。

お知らせ

- デバイス設定ツールは、本体ファームウェアバージョン v2.1.7 以降に収録されている Windows のパソコンにインストールして使用するソフトです。 Mac にはインストールされません。
- デバイス設定ツールのインストール方法については、(「コネクションマネージャー/ドライバのインストール」⇒28 ページ)をご覧ください。

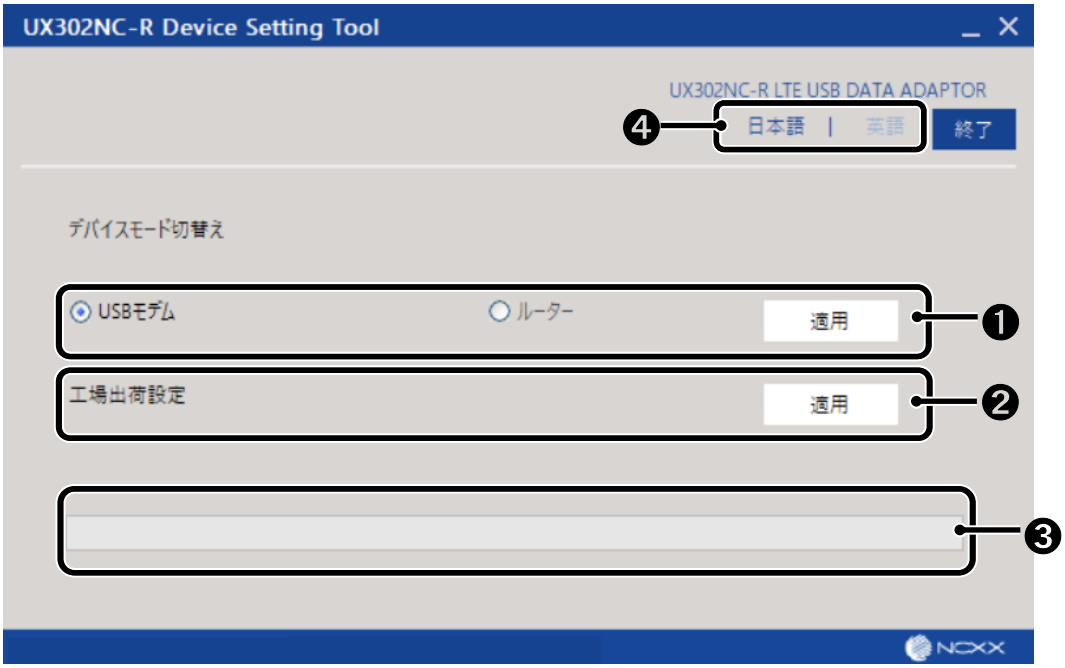
■UX302NC-R Device Setting Tool の動作環境

対応 OS

- Windows 10 [32bit/64bit]
- Windows 11 [64bit]

デバイス設定ツールの画面

デバイス設定ツールの画面について説明します。



❶ 動作モード
USB モデムモードとルーターモードの切り替えを行います。

❷ 初期化ボタン
お買い上げ時の状態に戻すことができます。

❸ プログレスバー

❹ 言語設定
デバイス設定ツールの言語を設定します。

ルーターモードを設定する

❶ 本製品をパソコンに接続し、コネクションマネージャーを起動します。
デスクトップに作成された[UX302NC Data Connection Manager]アイコンをダブルクリックします。



●――[UX302NC Data Connection Manager]アイコン

パソコンが本製品を認識していることを確認します。
コネクションマネージャー下の状態表示に「デバイスが挿入されていません」が表示されていないことを確認します。

❷ コネクションマネージャーの右上の[終了]をクリックして、コネクションマネージャーを終了します。

❸ パソコンの[スタート](Windows アイコン)をクリックし、表示されたメニューをスクロールさせ、[UX302NC Data Connection Manager]をクリックします。

❹ [UX302NC-R Device Setting Tool]が表示されるので、クリックしてデバイス設定ツールを起動します。

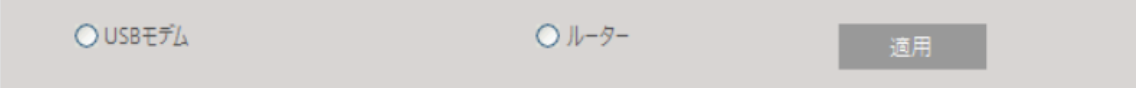
❺ [ルーター]にチェックが入っていることを確認して、[適用]をクリックします。



動作モード設定	使用する動作モードを選択します。 ●USB モデム（初期値） ●ルーター

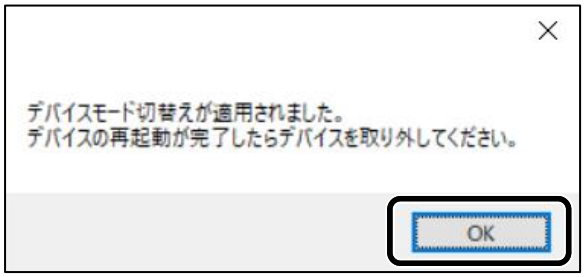
お知らせ

- チェックが表示されているモードは変更する動作モードです。現在の動作モードはチェックが表示されていないモードです。
  [ルーター]にチェックが表示されている場合、現在の動作モードは USB モデムモードであることを示します。
- [USB モデム]と[ルーター]のどちらにもチェックが表示されていない場合は、本製品をパソコンが正しく認識できていませんので、❶の手順からやりなおしてください。



- ルーターモードから USB モデムモードに変更する場合は、コネクションマネージャーを起動する必要はありませんので、❸の手順から行ってください。
  [USB モデム]にチェックが入っていることを確認して、[適用]をクリックします。

❻ 下記画面の表示を確認し、[OK]をクリックします。



本製品はルーターモードで再起動します。
デバイス設定ツールの右上の[終了]をクリックして、デバイス設定ツールを終了します。

本製品を初期化する

本製品に設定した内容を消去して工場出荷状態（お買い上げ時の状態）に戻すことができます。
初期化は本製品がルーターモードに設定されている場合にのみ行うことができます。

❶ ルーターモードに設定した本製品をパソコンに接続します。

❷ パソコンの[スタート](Windows アイコン)をクリックし、表示されたメニューをスクロールさせ、[UX302NC Data Connection Manager]をクリックします。

❸ [UX302NC-R Device Setting Tool]が表示されるので、クリックしてデバイス設定ツールを起動します。

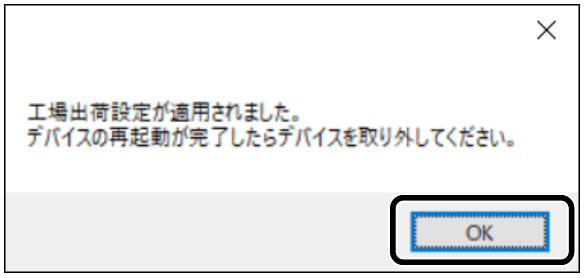
❹ 工場出荷設定の右に表示されている[適用]をクリックします。



お知らせ

● 本製品がルーターモードに設定されている場合は[USB モデム]にチェックが表示されます。

❺ 下記画面の表示を確認し、[OK]をクリックします。



本製品は初期化されて再起動します。
デバイス設定ツールの右上の[終了]をクリックして、デバイス設定ツールを終了します。

Web UI

Web UI は本製品と接続したパソコンから、Web ブラウザを利用して本製品の各種設定を行うための機能です。
Web UI を利用する場合、本製品はルーターモードに設定する必要があります。
ルーターモードの設定方法については、(「ルーターモードを設定する」⇒101 ページ)をご覧ください。

お知らせ

Web UI の機能は本体ファームウェアバージョン v2.1.7 以降でご利用いただけます。

初回起動時のログインパスワード設定

Web UI の初回起動時には、ログインパスワードを設定する必要があります。

❶ **本製品をパソコンに接続し、Web ブラウザを起動します。**

❷ **URL を入力する欄に「http://192.168.128.1/」と入力するとログイン画面が表示されます。**

❸ **ログインパスワード、ログインパスワードの確認の入力欄に設定するパスワードを入力して、[ログイン]をクリックします。**



ログインパスワード	ログインパスワードを入力します。 半角英数字 8～32 文字で、大文字、小文字、数字を必ず 1 文字以上使用する必要があります。
ログインパスワードの確認	ログインパスワードを再入力します。 半角英数字 8～32 文字で、大文字、小文字、数字を必ず 1 文字以上使用する必要があります。

パスワードを記憶させる場合には[パスワードを記憶する。]のチェックボックスにチェックを入れます。

お願い

- 初回起動時に設定したパスワードの情報は、忘れないように管理してください。

Web UI にログインする

本製品の各種設定をする場合は、設定したパスワードで Web UI にログインする必要があります。

❶ **本製品をパソコンに接続し、Web ブラウザを起動します。**

❷ **URL を入力する欄に「http://192.168.128.1/」と入力するとログイン画面が表示されます。**
パスワード入力欄に設定したパスワードを入力して、[ログイン]をクリックしログインします。



パスワード	設定したログインパスワードを入力します。

お知らせ

- 万が一パスワードをお忘れになられた場合は初期化を行い、お買い上げ時の状態に戻してください。初期化については(「本製品を初期化する」⇒103 ページ)をご覧ください。

Web UI の画面

Web UI の画面について説明します。



❶ 設定メニュー

各種設定行うメニューを表示します。

❷ 状態表示

本製品の状態を表示します。

SIM 情報

表示	NTT DOCOMO(44010)	SIM PIN LOCK	SIM PUK LOCK
状態	通信事業者/固有番号 ※DOCOMO 表示例	PIN コード入力による 解除待ち	PUK 入力による 解除待ち

電波状態

表示							
状態	圏外	Level 0	Level 1	Level 2	Level 3	Level 4	Level 5

通信方式

表示	N	LTE	3G	G	E
状態	圏外	LTE	3G	GSM （GPRS）	GSM （EDGE）

※国際ローミング

通信方式の左側に「R」が表示されます。

表示	R LTE
状態	国際ローミング時

SIM カード

表示		
状態	SIM カード正常認識	SIM カード未挿入 /SIM ロック中

❸ 言語設定

Web UI の言語を設定します。

❹ ヘルプボタン

取扱説明書（本書）を PDF ファイルで表示します。

❺ ログアウトボタン

Web UI からログアウトします。

設定・確認を行う

基本情報

本製品の状態が表示されます。

❶ **設定メニューの[基本情報]をクリックします。**



SIM 状態	SIM カードの状態（Ready、SIM カードが挿入されていません。）が表示されます。
電話番号	SIM カードの電話番号が表示されます。
IMEI	本製品の IMEI が表示されます。
ソフトウェアバージョン	本製品のソフトウェアバージョンが表示されます。
接続状態	接続状態（接続、接続中...、切断）が表示されます。

ネットワーク	ネットワークの状態（LTE、3G、GSM、圏外）が表示されます。
WAN IP アドレス	ネットワークから割り当てられた IP アドレスが表示されます。
ゲートウェイ	ネットワークから割り当てられたゲートウェイアドレスが表示されます。
プライマリ DNS	ネットワークから割り当てられたプライマリ DNS アドレスが表示されます。
セカンダリ DNS	ネットワークから割り当てられたセカンダリ DNS アドレスが表示されます。
WAN IPv6 アドレス	ネットワークから割り当てられた IPv6 アドレスが表示されます。
IPv6 ゲートウェイ	ネットワークから割り当てられた IPv6 ゲートウェイアドレスが表示されます。
IPv6 プライマリ DNS	ネットワークから割り当てられた IPv6 プライマリ DNS アドレスが表示されます。
IPv6 セカンダリ DNS	ネットワークから割り当てられた IPv6 セカンダリ DNS アドレスが表示されます。
LAN IP	本製品に設定されている IP アドレスが表示されます。
LAN MAC	本製品の MAC アドレスが表示されます。

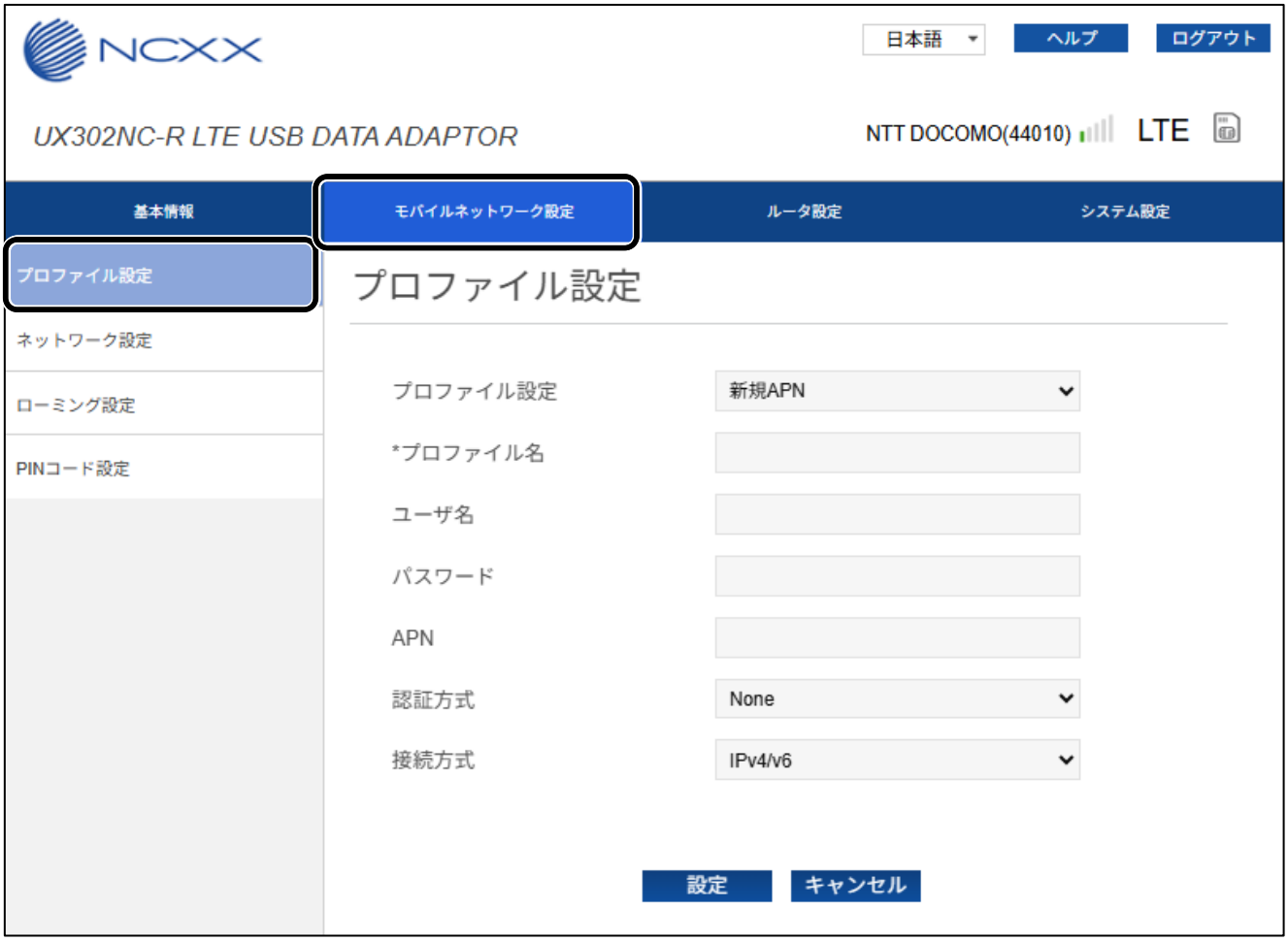
モバイルネットワーク設定

ネットワークに接続するためのプロファイル設定を行います。

プロファイル設定

プロファイルを新規作成する手順について説明します。

❶ **設定メニューの[モバイルネットワーク設定]をクリックし、左側のタブ[プロファイル設定]をクリックします。**



❷ **プロファイル設定から[プロファイル名]、[ユーザ名]、[パスワード]、[APN]を入力し、[認証方式]、[接続方式]を選択します。入力内容を確認し、[設定]をクリックします。**



」

プロファイル設定	プロファイルを選択します。 ●新規 APN（初期値）
プロファイル名	任意のプロファイル名を入力します。 半角英数最大 64 文字が使用可能です。
ユーザ名	事業者より提供されているユーザ名を入力します。 半角最大 64 文字が使用可能です。
パスワード	事業者より提供されているパスワードを入力します。 半角記号(`,",:; ¥ &% + '<>?\を除く)最大 64 文字が使用可能です。
APN	事業者より提供されている APN を入力します。 半角最大 62 文字が使用可能です。
認証方式	事業者より指定される認証方式を選択します。 ●PAP　●CHAP　●None（初期値）
接続方式	接続方式を選択します。 ●IPv4　●IPv6　●IPv4/v6（初期値）

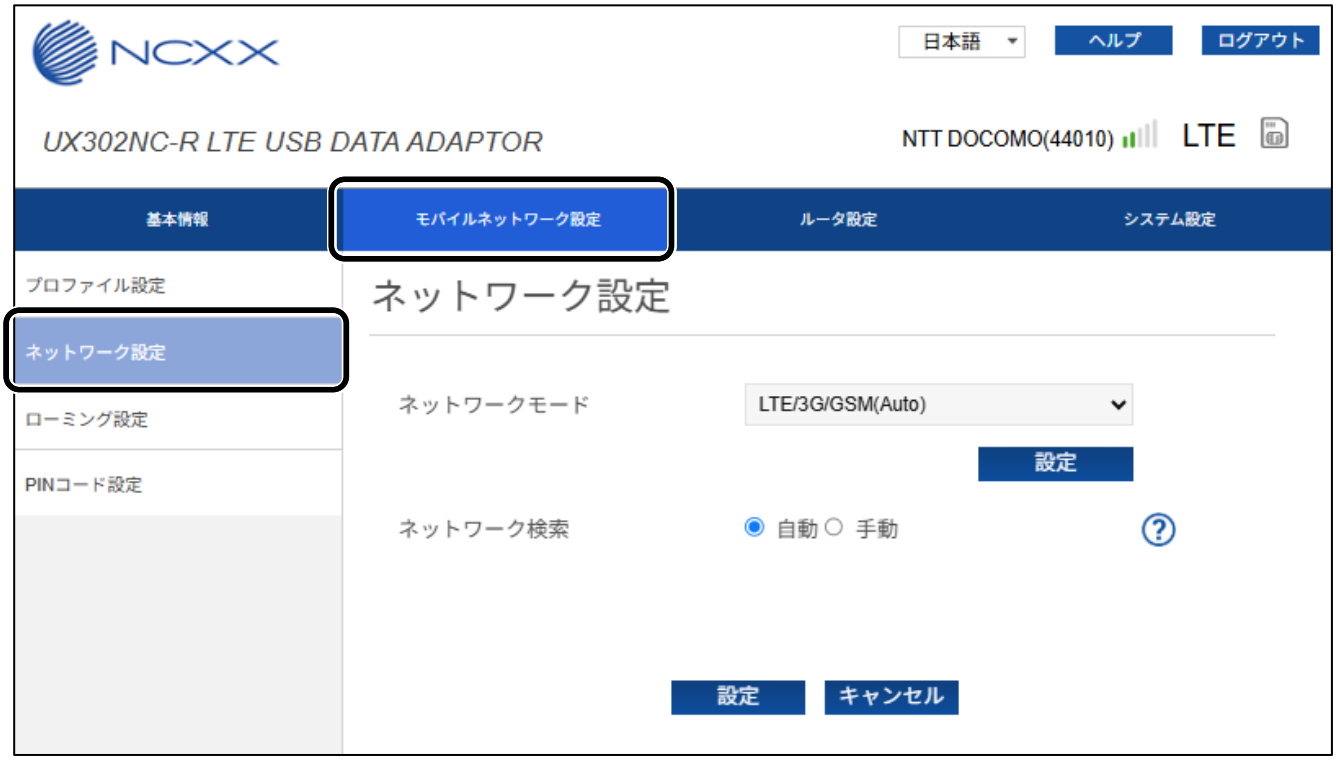
お知らせ

- 指定するプロファイルで接続する際は、プロファイル設定からプロファイルを選択し[設定]をクリックしてください。
- 新たに追加設定する場合は、プロバイダから取得した情報(接続先[APN]、ユーザ名、パスワードなど)を手元に控えた上で、設定してください。
- プロファイルは最大 15 個の作成が可能です。

ネットワークモードを選択する

使用するネットワークの通信方式を設定します。

❶ **設定メニューの[モバイルネットワーク設定]をクリックし、左側のタブ[ネットワーク設定]をクリックします。**



❷ **[ネットワークモード]から通信方式を選択して[設定]をクリックします。**

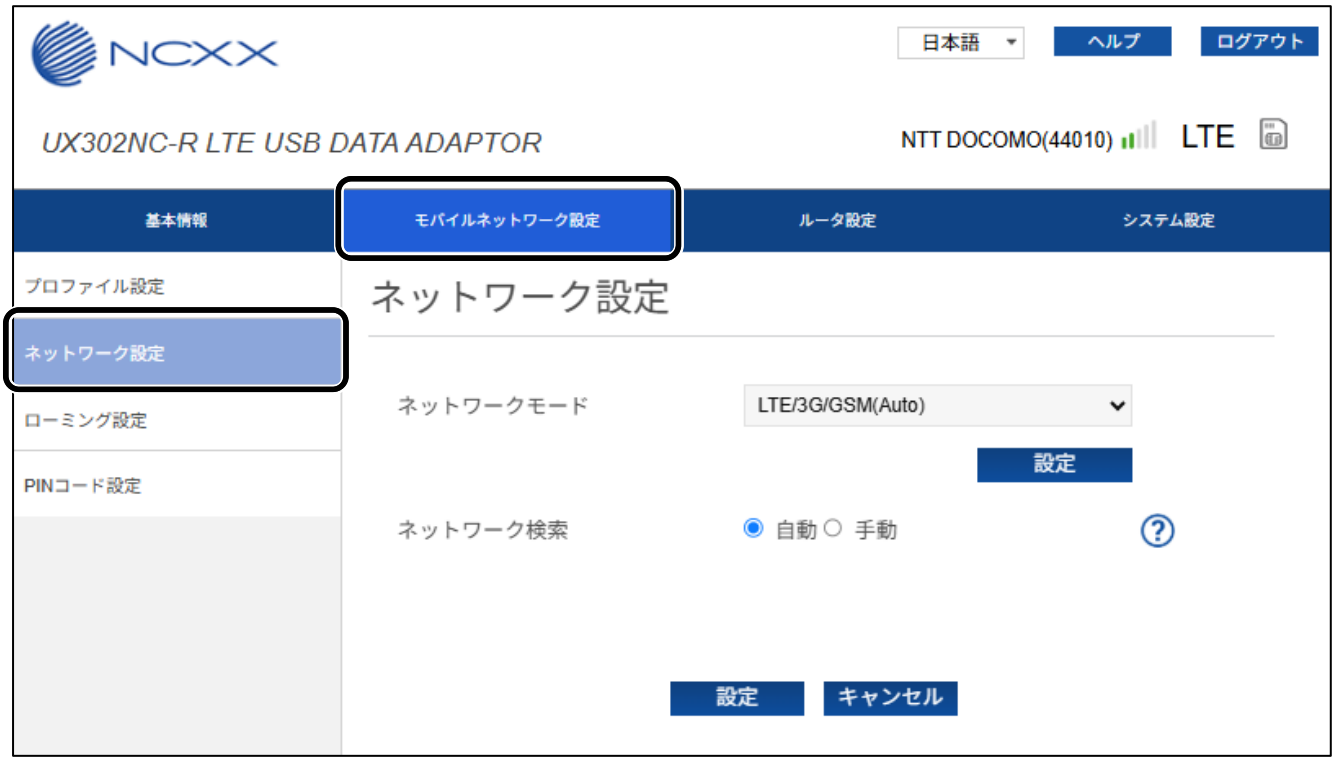


ネットワークモード	使用するネットワークの通信方式を選択します。 ●LTE/3G/GSM(Auto)（初期値） ●LTE Only ●3G Only

ネットワーク検索する

接続する際のネットワークを検索する機能で、自動を選択した場合は接続時に自動でネットワークを検索して接続します。ここでは海外で利用する場合など、接続するネットワークを手動で選択する場合のネットワーク検索手順について説明します。

❶ **設定メニューの[モバイルネットワーク設定]をクリックし、左側のタブ[ネットワーク設定]をクリックします。**



❷ **[ネットワーク検索]の[手動]を選択し、[検索]をクリックします。**



ネットワーク検索	ネットワーク検索方法を選択します。 ●自動（初期値） ●手動

❸ **下記画面のようにネットワークの検索を行ないます。**



お知らせ

● ネットワーク検索には時間がかかる場合があります。

❹ **下記画面のように検索されたネットワークが表示されますので、利用するネットワークを選択して[設定]をクリックします。**



ローミング設定

国際ローミングとは、日本国内で使用している製品を、ご契約のプロバイダが提携している海外通信事業者のサービスエリアでご利用いただけるサービスです。

お知らせ

- 海外ローミングサービスについては、ご契約されているプロバイダによりサービスしていない場合があります。
- 接続するネットワークはネットワーク設定が[自動]に設定されていると、自動的に選択されます。それ以外の設定の場合は、手動で設定する必要があります。設定方法はネットワーク設定(「ネットワーク検索する」⇒114 ページ)をご確認ください。

❶ **設定メニューの[モバイルネットワーク設定]をクリックし、左側のタブ[ローミング設定]をクリックします。**



❷ **[ローミング]の[有効]または[無効]を選択して[設定]をクリックします。**



ローミング	ローミング設定を選択します。 ●有効 ●無効（初期値）

注意

- パケット定額サービスを利用しない海外での接続は、通信料が高額になる場合があります。事前に契約されているプロバイダにご確認ください。

PIN コード設定

SIM カードには、「PIN コード」という暗証番号があります。この暗証番号により、ユーザ固有データと第 3 者不正使用に対する強力なセキュリティ機能を実現しています。
お買い上げ時、PIN コードは「0000」に設定されており、PIN コードは無効になっています。有効にすることで、紛失、または盗難にあった際、不正に使用されることがありません。

お 願 い

- 設定した PIN コードは、メモを取るなどして忘れないようご注意ください。
- PIN コードを有効に設定した上で、PIN コードをお忘れになった場合、PIN コードを解除するための PUK コードが必要になります。

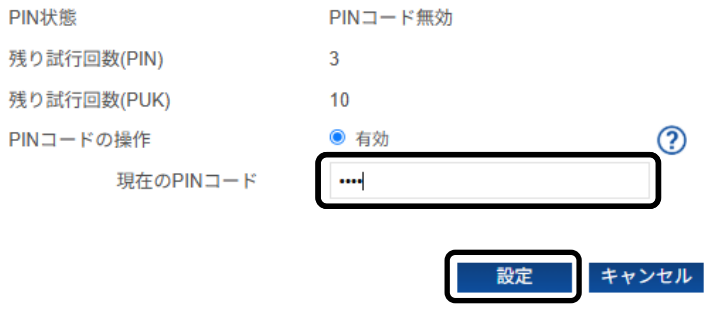
PIN コードの設定を有効にする

❶ 設定メニューの[モバイルネットワーク設定]をクリックし、左側のタブ[PINコード設定]をクリックします。[PIN コードの操作]の[有効]をクリックします。



PIN 状態	ご利用中の SIM カードの PIN コードの状態（PIN コード無効）が表示されます。
残り試行回数(PIN)	ご利用中の SIM カードに対して入力可能な PIN コードの回数が表示されます。
残り試行回数(PUK)	ご利用中の SIM カードに対して入力可能な PUK コードの回数が表示されます。
PIN コードの操作	ご利用中の SIM カードの PIN コードを有効に設定します。 ●有効

❷ [現在の PIN コード]に「0000」を入力し、[設定]をクリックします。PIN コードを変更している場合(「PIN コードを変更する」⇒121 ページ)は、設定した PIN コードを入力します。



現在の PIN コード	ご利用中の SIM カードの PIN コードを入力します。 4～8 桁の数字

PIN コードの設定を無効にする

❶ 設定メニューの[モバイルネットワーク設定]をクリックし、左側のタブ[PINコード設定]をクリックします。
[PIN コードの操作]の[無効]をクリックします。



PIN 状態	ご利用中の SIM カードの PIN コードの状態（PIN コード有効）が表示されます。
残り試行回数(PIN)	ご利用中の SIM カードに対して入力可能な PIN コードの回数が表示されます。
残り試行回数(PUK)	ご利用中の SIM カードに対して入力可能な PUK コードの回数が表示されます。
PIN コードの操作	ご利用中の SIM カードの PIN コードの変更/無効を選択します。 ●変更 ●無効

❷ [現在の PIN コード]に設定したコードを入力し、[設定]をクリックします。



現在の PIN コード	ご利用中の SIM カードの PIN コードを入力します。 4～8 桁の数字

PIN コードを変更する

お知らせ

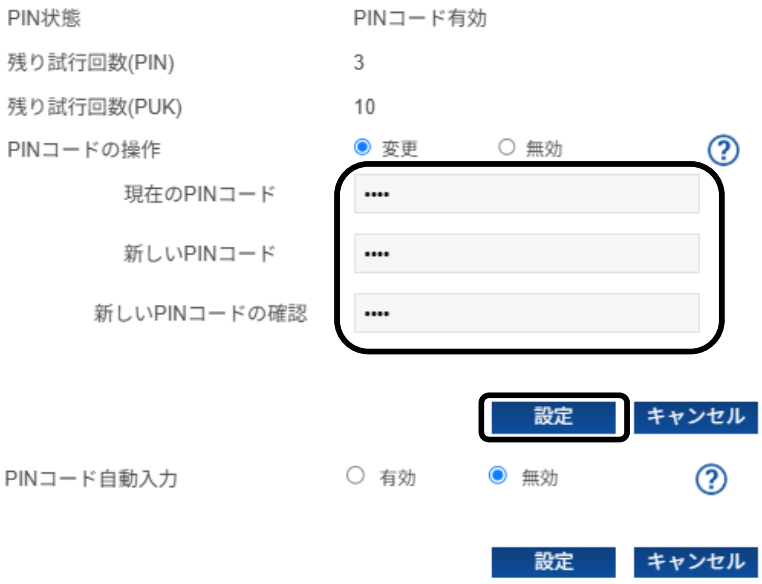
● PIN コードの変更は[PIN 状態]が PIN コード有効に設定されているときのみ選択することができます。

❶ **設定メニューの[モバイルネットワーク設定]をクリックし、左側のタブ[PINコード設定]をクリックします。[PIN コードの操作]の[変更]をクリックします。**



PIN 状態	ご利用中の SIM カードの PIN コードの状態（PIN コード有効）が表示されます。
残り試行回数(PIN)	ご利用中の SIM カードに対して入力可能な PIN コードの回数が表示されます。
残り試行回数(PUK)	ご利用中の SIM カードに対して入力可能な PUK コードの回数が表示されます。
PIN コードの操作	ご利用中の SIM カードの PIN コードの変更/無効を選択します。 ●変更 ●無効

❷ 下記画面が表示されますので、[現在の PIN コード]には現在設定されている PIN コードを入力します。
[新しい PIN コード]、[新しい PIN コードの確認]に新しい PIN コードを入力し、[設定]をクリックします。



現在の PIN コード	ご利用中の SIM カードの PIN コードを入力します。 4～8 桁の数字
新しい PIN コード	新しく設定する SIM カードの PIN コードを入力します。 4～8 桁の数字
新しい PIN コードの確認	新しく設定する SIM カードの PIN コードを再度入力します。 4～8 桁の数字

PIN コード自動入力を選択する

お知らせ

● PIN コード自動入力の設定は[PIN 状態]が PIN コード有効に設定されているときのみ選択することができます。

❶ **設定メニューの[モバイルネットワーク設定]をクリックし、左側のタブ[PINコード設定]をクリックします。**



❷ **下記画面が表示されますので、[PIN コード自動入力]の[有効]または[無効]を選択して[設定]をクリックします。**



PIN コード自動入力	PIN コード自動入力を選択します。 ●有効 PIN コードを有効に設定、また PIN コードの変更により新しい PIN コードを設定したパソコンに接続した場合、自動で PIN コードが解除されます。 ●無効（初期値） パソコンに接続した場合、PIN コードの解除を求める画面が表示されます。

PIN コードを解除する

PIN コードが有効、また[PIN コード自動入力]が[無効]に設定されている状態で本製品をパソコンに接続しログインすると、PIN コードの解除を求める画面が表示されます。

❶ **PIN コードの解除を求める画面が表示されます。**
[OK]をクリックします。



❷ **下記画面が表示されますので、[PIN コードの操作]の[認証]をクリックします。**
[現在の PIN コード]には現在設定されている PIN コードを入力し、[設定]をクリックします。



PIN 状態	ご利用中の SIM カードの PIN コードの状態（SIM カードがロックされています。PIN コードを入力してください。）が表示されます。

残り試行回数(PIN)	ご利用中の SIM カードに対して入力可能な PIN コードの回数が表示されます。
残り試行回数(PUK)	ご利用中の SIM カードに対して入力可能な PUK コードの回数が表示されます。
PIN コードの操作	ご利用中の SIM カードの PIN コードを解除するため認証を設定します。 ●認証
現在の PIN コード	ご利用中の SIM カードの PIN コードを入力します。 4～8 桁の数字

PIN ロックを解除する

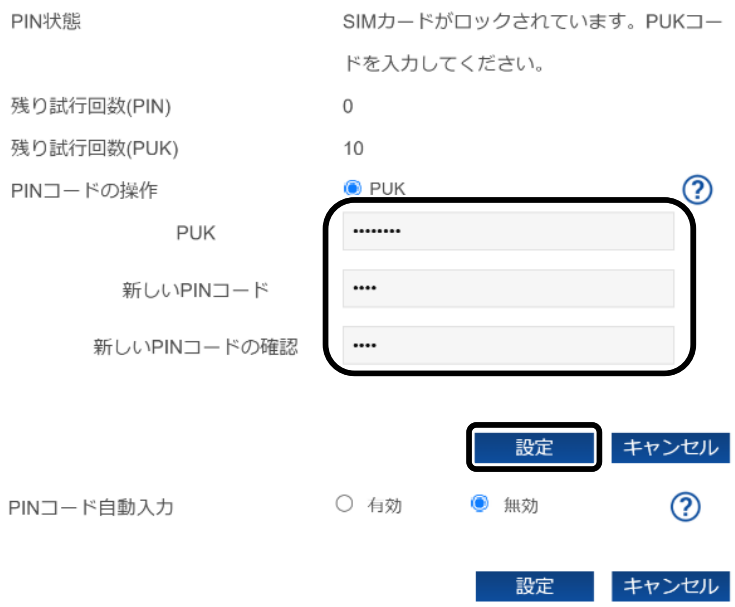
PIN コードを有効にした状態で、PIN コードの入力を 3 回連続で間違えると、設定した PIN コードが無効になり、すべての機能がロックされ、PIN ロック状態となります。その場合、PIN ロックの解除コード（PUK）の入力により、PIN コードを再発行する事ができます。

❶ **PIN コードの入力を 3 回間違えると、[残り試行回数(PIN)]が 0 となり、PUK コードを入力する下記画面が表示されます。**
[PIN コードの操作]の[PUK]をクリックします。



PIN 状態	ご利用中の SIM カードの PIN コードの状態（SIM カードがロックされています。PUK コードを入力してください。）が表示されます。
残り試行回数(PIN)	ご利用中の SIM カードに対して入力可能な PIN コードの回数が表示されます。
残り試行回数(PUK)	ご利用中の SIM カードに対して入力可能な PUK コードの回数が表示されます。
PIN コードの操作	ご利用中の SIM カードの PIN ロックを解除するため PUK を設定します。 ●PUK

❷ [PUK] には PIN ロックの解除コード(PUK)を入力します。[新しい PIN コード]、[新しい PIN コードの確認]には PIN コードを入力し、[設定]をクリックします。



PUK	ご利用中の SIM カードの PIN ロックの解除コード(PUK)を入力します。 4～8 桁の数字
新しい PIN コード	新しく設定する SIM カードの PIN コードを入力します。 4～8 桁の数字
新しい PIN コードの確認	新しく設定する SIM カードの PIN コードを再度入力します。 4～8 桁の数字

注意

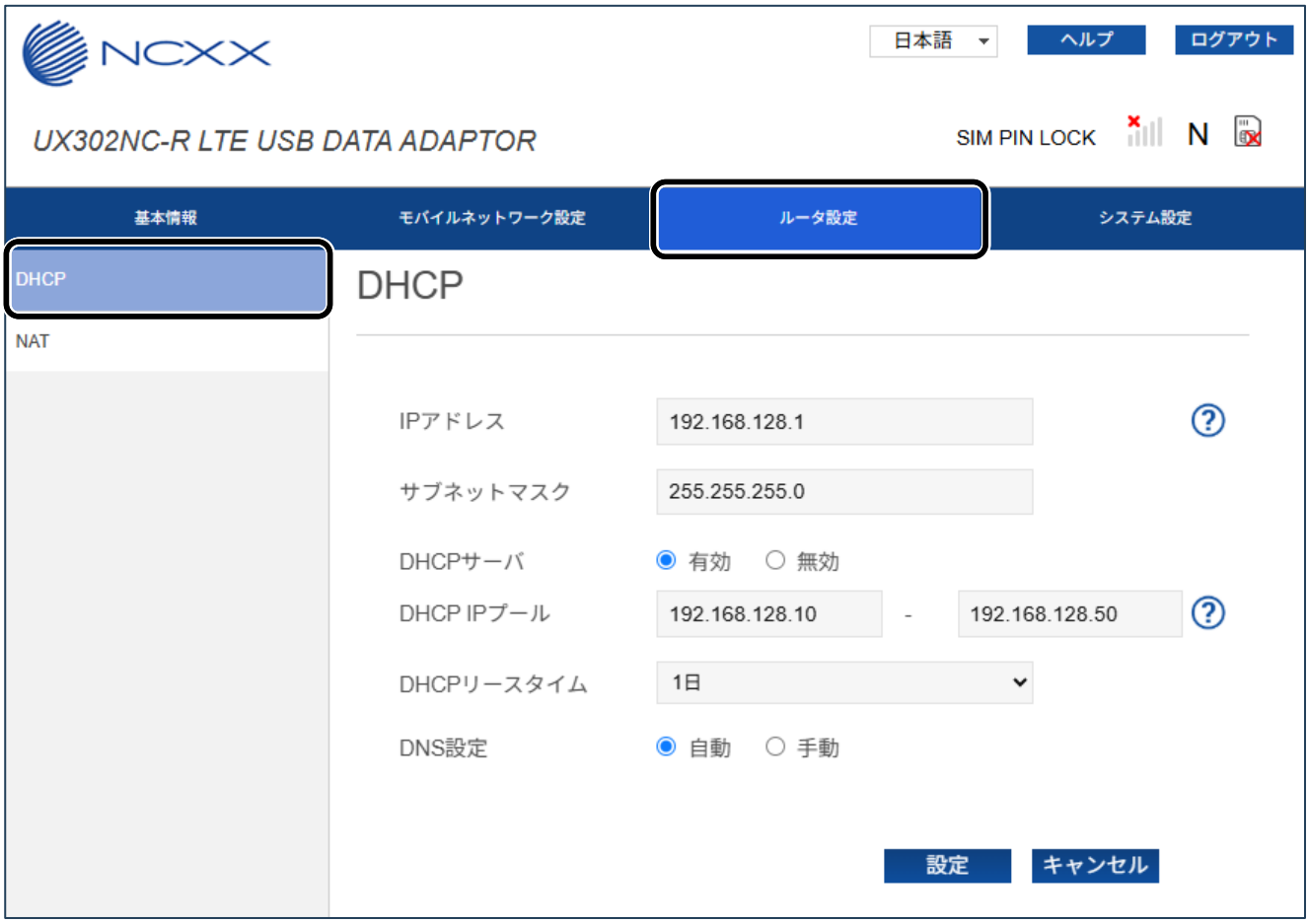
- PIN コードは 3 回連続、PUK コードは 10 回連続で間違えると、それぞれのコードが無効になり、PIN ロック/PUK ロック状態となります。PIN ロック/PUK ロック状態となった場合は、ご契約の通信事業者の窓口へお問い合わせ下さい。

ルータ設定

DHCP

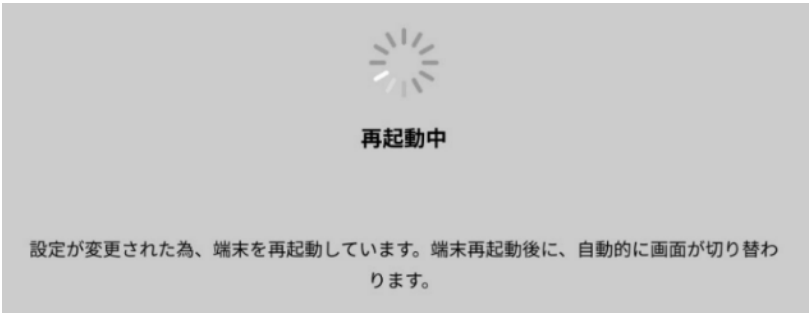
DHCP に関する設定を行います。

❶ **設定メニューの[ルータ設定]をクリックし、左側のタブ[DHCP]をクリックします。**



❷ **DHCP の各設定を行い、[設定]をクリックします。**
設定が変更され、端末は再起動します。





IP アドレス	本製品のプライベート IP アドレスを設定します。 192.168.128.1（初期値） 0 ～ 255 の数字が使用可能です。
サブネットマスク	本製品のサブネットマスクを設定します。 255.255.255.1（初期値） 0 ～ 255 の数字が使用可能です。
DHCP サーバ	DHCP サーバの有効/無効を設定します。 ●有効（初期値） ●無効
DHCP IP プール	本製品に接続された機器に割り当てるプライベート IP アドレスの最小値を設定します。 192.168.128.10 ～ 192.168.128.50（初期値） 0 ～ 255 の数字が使用可能です。
DHCP リースタイム	本製品に接続された機器に割り当てた IP アドレスのリースタイムを設定します。 ●30 分　●1 時間　●2 時間 ●半日　●1 日（初期値）　●2 日 ●1 週間　●2 週間
DNS 設定	DNS サーバのアドレスを自動/手動で設定します。 ●自動（初期値） ●手動

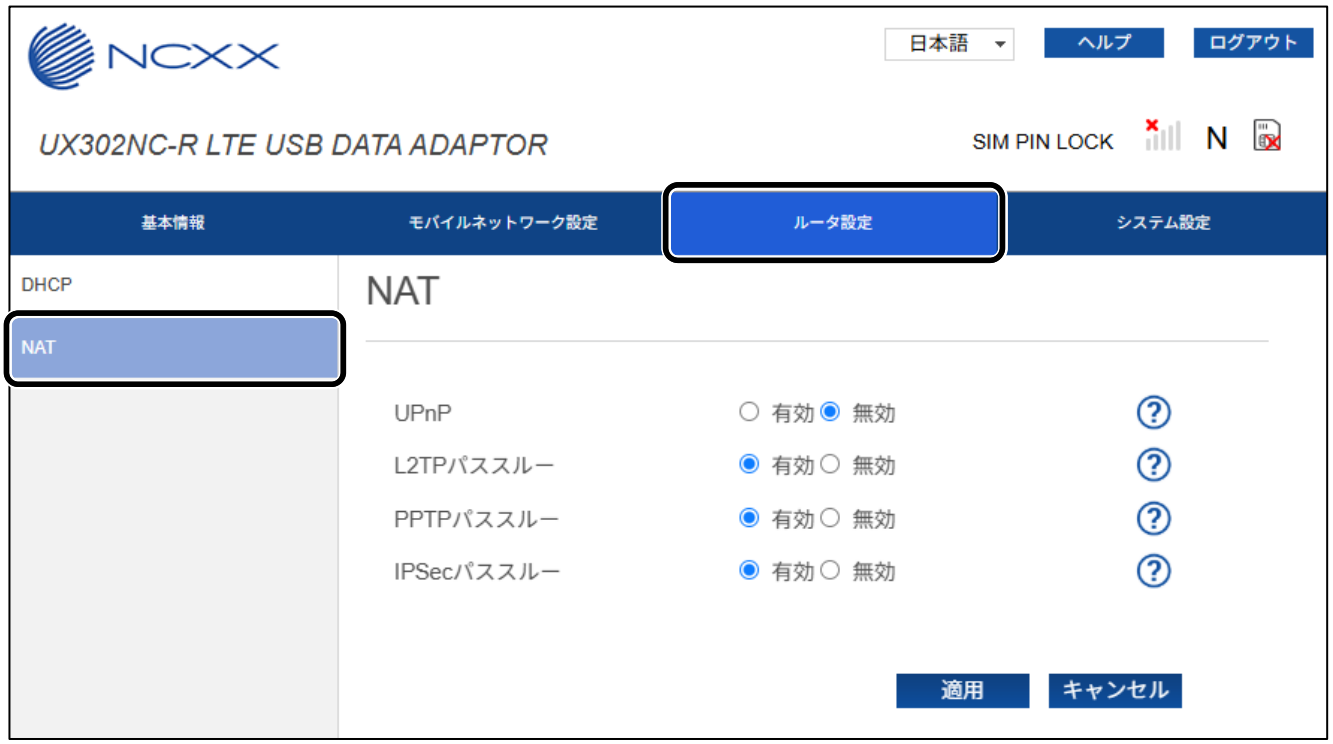
注意

- DHCP サーバを無効に設定すると、Web ブラウザから全ての設定ができなくなりますので、無効に設定しないでください。
- 設定を変更すると再起動しますが、IP アドレスを変更した場合には再起動後に自動的に画面が「再起動中」から切り替わらない場合があります。変更した IP アドレスで再度ログインしてください。

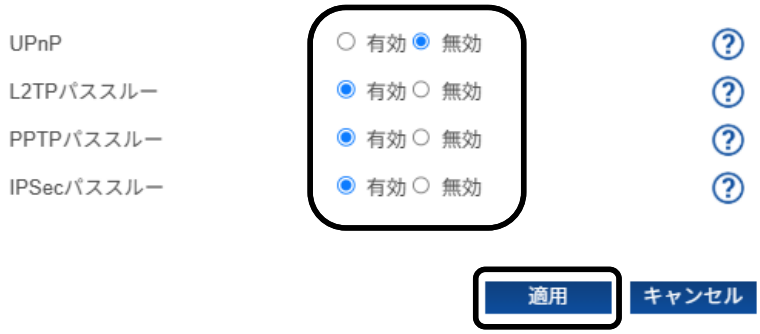
NAT

NAT に関する設定を行います。
本製品では 3 種類のパススルー機能を搭載することで、VPN 通信を通過させることができます。

❶ **設定メニューの[ルータ設定]をクリックし、左側のタブ[NAT]をクリックします。**



❷ **NAT の各設定を行い、[設定]をクリックします。**



UPnP	●有効 ●無効（初期値）
L2TP パススルー	●有効（初期値） ●無効
PPTP パススルー	●有効（初期値） ●無効
IPSec パススルー	●有効（初期値） ●無効

お願い

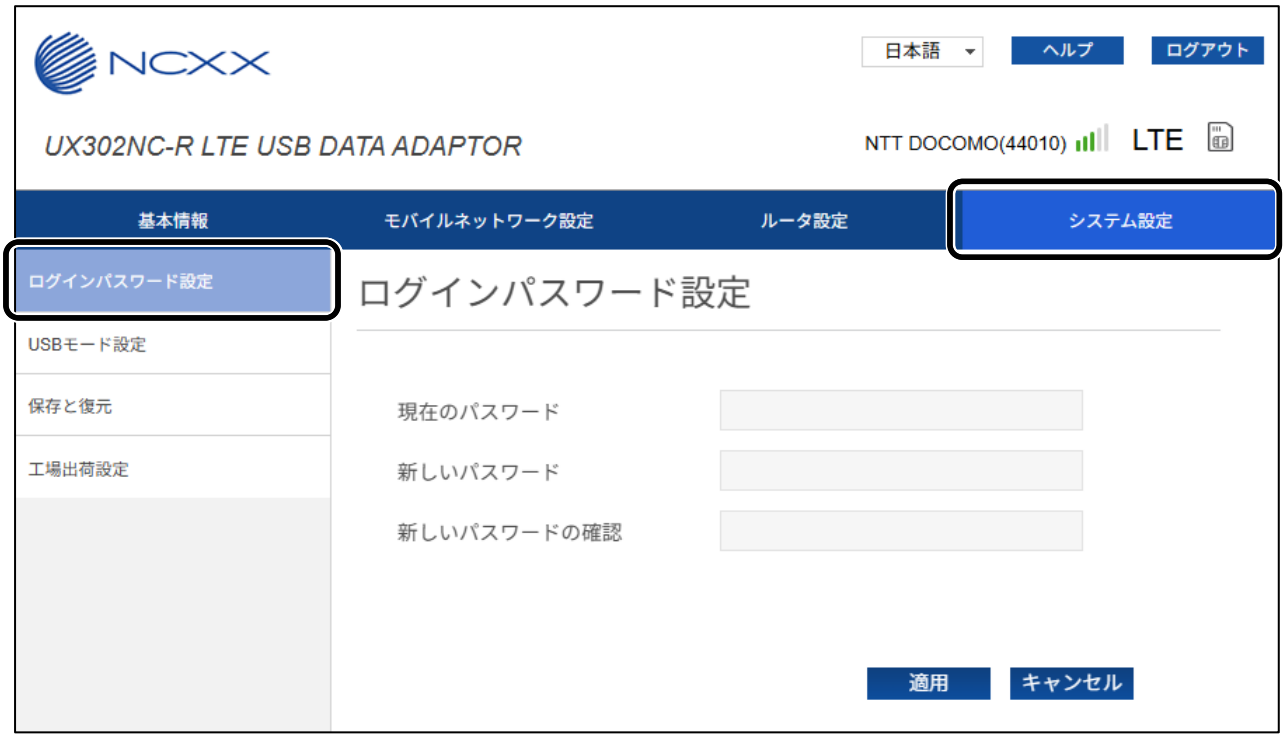
- UPnP（ユニバーサルプラグアンドプレイ）は、周辺機器、情報家電など UPnP 対応デバイスを接続する機能を提供します。セキュリティ上、必要ない場合は無効にすることをお勧めします。

システム設定

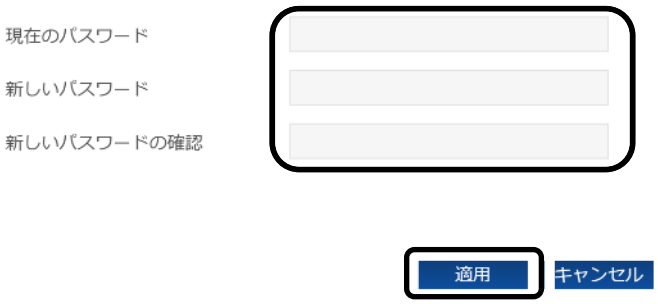
ログインパスワード設定

本製品の Web UI のログインパスワードを変更することができます。

❶ **設定メニューの[システム設定]をクリックし、左側のタブ[ログインパスワード設定]をクリックします。**



❷ **パスワードを入力し[適用]をクリックします。**



現在のパスワード	現在のログインパスワードを入力します。
新しいパスワード	新しいログインパスワードを入力します。 半角英数字 8～32 文字で、大文字、小文字、数字を必ず 1 文字以上使用する必要があります。
新しいパスワードの確認	新しいログインパスワードを再入力します。 半角英数字 8～32 文字で、大文字、小文字、数字を必ず 1 文字以上使用する必要があります。

USB モード設定

本製品の USB インターフェースを設定します。

❶ **設定メニューの[システム設定]をクリックし、左側のタブ[USB モード設定]をクリックします。**



❷ **USB モードを選択し、[適用]をクリックします。**



USB モード	USB インターフェースを選択します。 ●自動 （初期値） 接続されたパソコン側の OS を自動で判別し、RNDIS または ECM に自動で切り替えます。 ●RNDIS 本製品を Windows で使用できます。 ●ECM 本製品を Mac で使用できます。

お知らせ

- ルーターモードで Mac に接続してご使用になる場合、お買い上げの状態（USB モデム—モード）からルーターモードへの変更は Mac ではできません。
  Windows のパソコンにセットアップして、デバイス設定ツールでルーターモードに設定を変更してから Mac に接続してください。
  セットアップ方法については（「セットアップについて」⇒25 ページ）、デバイス設定ツールの使い方については（「デバイス設定ツールについて」⇒100 ページ）をご覧ください。

保存と復元

本製品の設定情報の保存、復元を行います。

本体設定を保存する

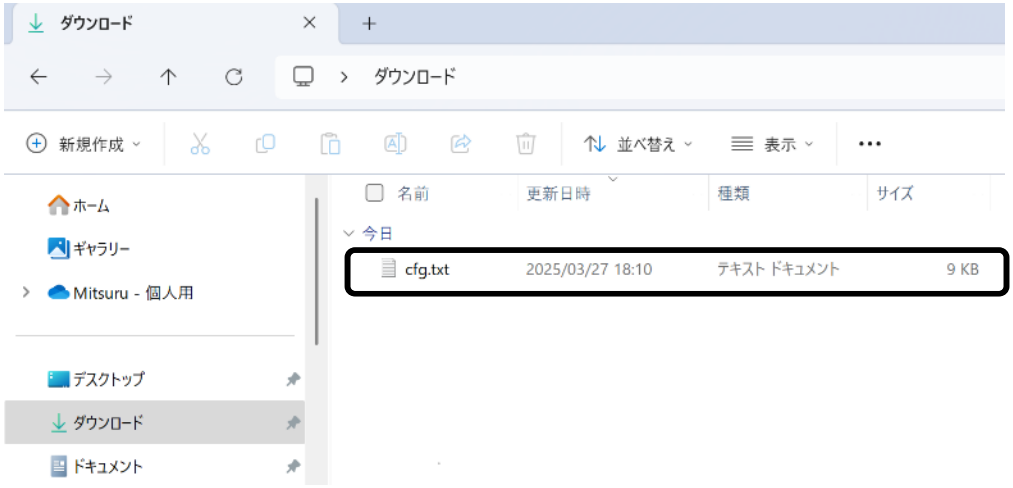
❶ 設定メニューの[システム設定]をクリックし、左側のタブ[保存と復元]をクリックします。



❷ 設定の保存の[保存]をクリックします。



❸ パソコンに「cfg.txt」のファイル名で保存されます。



本体設定を復元する

❶ 設定メニューの[システム設定]をクリックし、左側のタブ[保存と復元]をクリックします。



❷ 復元ファイルの選択の[ブラウズ]をクリックします。



❸ パソコンに保存されている「cfg.txt」のファイル名を選択し、[開く]をクリックします。



❹ [復元]をクリックすると設定が復元され、端末は再起動します。



工場出荷設定

本製品に設定した内容を消去して工場出荷状態（お買い上げ時の状態）に戻すことができます。

❶ **設定メニューの[システム設定]をクリックし、左側のタブ[工場出荷設定]をクリックします。**



❷ **端末の初期化の[リセット]をクリックします。**



❸ **[OK]をクリックすると工場出荷設定状態に戻り、端末は再起動します。**





5 付録

ファームウェア更新 …… **138**
エラーコード …… **139**
困ったときに …… **143**
よくある質問 …… **145**
仕様について …… 145
機能について …… 145
契約・修理について …… 145
仕様 …… **146**
用語集 …… **148**
本製品の比吸収率(SAR)などについて …… **150**
本製品の比吸収率(SAR)について …… 150
FCC Regulations …… 151
Radio Wave Exposure Information …… 151
European RF Exposure Information …… 152
Regulatory conformance …… 152

ファームウェア更新

ファームウェアは本端末を動作させるソフトウェアのことです。ファームウェアを更新することで動作の改善や新機能が追加されたりします。
ファームウェアは最新のバージョンに更新してご使用ください。

お知らせ

- 本製品のファームウェア更新は、Windows にのみ対応しています。

❶ **当社の「UX302NC-R / UX302NC-R(S)のサポート」ページを開きます。**
https://www.ncxx.co.jp/product/ux302ncr/support/

❷ **「UX302NC-R / UX302NC-R(S) バージョンアップファームウェア（Windows 版）」をクリックます。**
該当機種のバージョンアップファームウェアを選択し、クリックします。

❸ **バージョンアップファームウェアとバージョンアップ手順書をダウンロードします。**

❹ **本製品が USB モデムモードに設定されていることを確認します。**
ルーターモードに設定されている場合には、デバイス設定ツールを使用して USB モデムモードに設定を変更してください。
デバイス設定ツールの使い方については（「デバイス設定ツールについて」⇒100 ページ）をご覧ください。

お知らせ

- 本製品はルーターモードでのファームウェア更新には対応していません。USB モデムモードでのみファームウェアを更新できます。

❺ **バージョンアップ手順書に従ってファームウェアを更新します。**

エラーコード

通信エラーや機器の異常などをお知らせするエラーコードをコネクションマネージャー画面に表示します。

コード	内容	処置方法
2	HLR にユーザが登録されていません。	通信事業者にお問い合わせください。
3	IMSI 認証が失敗しました。	通信事業者にお問い合わせください。
4	VLR にユーザが登録されていません。	しばらくお待ち頂くか、電源を入れ直してください。
5	ネットワークにて IMEI による認証を許容していません。	通信事業者にお問い合わせください。
6	IMEI 認証失が失敗しました。	しばらくお待ち頂くか、電源を入れ直してください。
7	GPRS サービスが許可されていません。	通信事業者にお問い合わせください。
8	未提供サービス試行による規制が発生しました。	通信事業者にお問い合わせください。
9	ネットワークからの MS アイデンティティー更新ができませんでした。	電源を入れ直してもう一度接続してください。
10	ネットワークから切り離されました。	メンテナンス等により、一時的に切り離された可能性があります。電源を入れ直してもう一度接続してください。
11	PLMN が許可されていません。	サービスの契約が無効となっているか、サービスの禁止されている端末でネットワークにアクセスしようとしたことにより発生した可能性があります。通信事業者にお問い合わせください。
12	サービスをご使用になれない特定エリアです。	しばらくお待ち頂くか、電源を入れ直してください。
13	このエリアではローミングをご使用になれません。	通信事業者にお問い合わせください。
14	お使いの SIM で、パケット通信サービスが許可されていません。	通信事業者にお問い合わせください。
15	このエリアではご使用になれません。	通信事業者にお問い合わせください。
17	ネットワーク障害により、一時的に利用できません。	電源を入れ直してもう一度接続してください。
22	輻輳	PLMN 固有のネットワーク障害および輻輳/認証障害の可能性があります。電源を入れ直してもう一度接続してください。

23	認証が受け入れられませんでした。	PLMN 固有のネットワーク障害および輻輳/認証失敗の可能性があります。電源を入れ直してもう一度接続してください。
24	ベアラがマルチメディアサービス提供に不十分なためネットワークから接続を拒否されました。	通信事業者にお問い合わせください。
25	LLC or SNDCP failure / LLC または SNDCP のエラーが発生しました。	非サポート
26	ネットワークリソース不足により接続を拒否されました。	しばらく時間を空けて、もう一度接続してください。
27	アクセスポイント名が含まれていない、またはアクセスポイント名が解決できないため接続を拒否されました。	APN が正しく設定されているかご確認ください。
28	PDP アドレスまたは PDP タイプが識別できないため接続を拒否されました。	PDP Type IP 固定ですので発生いたしません。
29	ユーザ認証エラーにより、接続を拒否されました。	ユーザ名、パスワードが間違っている可能性があります。ご確認ください。
30	要求されたサービスが GGSN によって拒否されました。	通信事業者にお問い合わせください。
31	要求されたサービスが不特定の理由により拒否されました。	通信事業者にお問い合わせください。
32	PLMN がサポートしないサービス要求をしたために接続を拒否されました。	通信事業者にお問い合わせください。
33	本製品が加入していないサービスオプション要求をしたため、接続を拒否されました。	通信事業者にお問い合わせください。
34	サービスを提供するために必要な機能のうち、1 つまたは複数が一時的にサービス断となり、接続を拒否されました。	通信事業者にお問い合わせください。
35	使用済の NSAPI を使用したことにより、接続を拒否されました。	非サポート
36	ネットワークからの切断要求により切断されました。	無通信監視による正常切断です。
37	PDP コンテキスト修正処理で受け入れられない QoS を指定されたことにより切断されました。	本製品の能力外の QoS 変更がネットワークから指示されたことを示します。
38	ネットワーク内のエラー発生により切断されました。	通信事業者にお問い合わせください。
39	GGSN 再開後、PDP コンテキストの活性化要求が発生しました。	通信事業者にお問い合わせください。
40	ネットワークからの PDP コンテキスト活性化開始要求を拒否しました。	本製品非サポートの PDP コンテキスト活性化要求による拒否を示します。

41	セカンダリ PDP コンテキスト活性化要求、または本製品が開始した PDP コンテキスト修正内のエラーが検出されました。	非サポート
42	セカンダリ PDP コンテキスト活性化要求、または MS が開始した PDP コンテキスト修正に含まれる TFT オペレーション内構文的エラーが検出されました。	非サポート
43	Linked TI IE によって特定された PDP コンテキストの非活性状態が通知されました。	非サポート
44	セカンダリ PDP コンテキスト活性化要求、または MS が開始した PDP コンテキスト修正に含まれる TFT のパケットフィルタ内に、1 つまたは複数のエラーが検出されました。	非サポート
45	セカンダリ PDP コンテキスト活性化要求、または MS が開始した PDP コンテキスト修正に含まれる TFT のパケットフィルタ内に、1 つまたは複数の構文的エラーが検出されました。	非サポート
46	ネットワークが既に TFT のない活性化された PDP コンテキストを持っています。	通信事業者にお問い合わせください。
48	ネットワークまたは MS によって、ベアラ制御モード違反のために要求されたサービスが拒否されました。	通信事業者にお問い合わせください。
50	要求された PDN 接続は PDP タイプ IPv4 のみが許可されています。	IPv4 のみの設定に変更し、もう一度接続してください。
51	要求された PDN 接続は PDP タイプ IPv6 のみが許可されています。	IPv6 のみの設定に変更し、もう一度接続してください。
56	同じサービスに対して第 2 の PDP コンテキスト起動を要求したので、本製品の開始要求が拒否されました。	非サポート
81	本理由値を送信している装置が、MS～ネットワークのインターフェース上で現在使用されていない TI(Transaction Identifier)を持つメッセージを受信しました。	シーケンスエラーが発生したため、もう一度接続してください。
95	意味的に間違ったコンテンツを持つメッセージを受信しました。	通信事業者にお問い合わせください。
96	本理由値を送信している装置が、意味的でない必須 IE のエラーを持つメッセージを受信しました。	通信事業者にお問い合わせください。
97	装置が実装していないメッセージを受信しました。	プロトコルエラーが発生したため、もう一度接続してください。
98	本理由値を送信している装置が、プロトコルステートと両立しないメッセージを受信しました。	プロトコルエラーが発生したため、もう一度接続してください。

99	IEI が定義されていない、または認識できない IE を含むメッセージを受信しました。	プロトコルエラーが発生したため、もう一度接続してください。
100	本理由値を送信している装置が、条件付 IE エラーを持つメッセージを受信しました。	プロトコルエラーが発生したため、もう一度接続してください。
101	プロトコルステートと互換性のないメッセージを受信しました。	プロトコルエラーが発生したため、もう一度接続してください。
111	他のプロトコルエラークラスの理由値が適用されないプロトコルエラーイベントが発生しました。	プロトコルエラーが発生したため、もう一度接続してください。
112	PDP コンテキストまたは MBMS コンテキストが現在アクティブな PDP コンテキストと組み合わせて許可されていません。	通信事業者にお問い合わせください。
619	ユーティリティの設定で、認証 ID、認証パスワード、APN のいずれかに誤りがある可能性があります。	コネクションマネージャーの設定確認を行い、解決しない場合は、お手持ちの認証 ID、認証パスワードが正しいかを再度ご確認ください。
633	モデム（またはほかの接続デバイス）はすでに使用中か、正しく構成されていません。	接続の際に、本製品がはずれていて、正しく接続されていない可能性があります。 差し込み口を再度ご確認ください。 また、パソコンの再起動で回復する可能性もあります。
678	リモートコンピューターが応答しませんでした。	コネクションマネージャーの設定で、接続番号に誤りがある可能性があります。 コネクションマネージャーの設定を確認し、もう一度接続してください。
680	発信音がありませんでした。	ドライバが正しくインストールされていない可能性があります。 パソコンからドライバをアンインストールし、再度インストールし直してください。
629	モデム（または他の接続デバイス）でハードウェア障害が発生しました。	ドライバが正しくインストールされていない可能性があります。 パソコンからドライバをアンインストールし、再度インストールし直してください。
777	リモートコンピューターのモデム（または他の接続デバイス）が壊れているため、接続できませんでした。	コネクションマネージャーの設定で、接続番号に誤りがある可能性があります。 コネクションマネージャーの設定を確認し、もう一度接続してください。
797	モデムが見つからないか、またはモデムがビジー状態であったため、リモートコンピューターへの接続を確立できませんでした。	接続の際に、本製品がはずれていて、正しく接続されていない可能性があります。 本製品の差し込み口を再度ご確認ください。

困ったときに

本製品が正常に動作しない場合は、まず以下の項目をご確認ください。
確認した後も動作しない場合は、ご契約の通信事業者の窓口までお問い合わせください。

症状	確認内容
本製品を差し込んでもパソコンが全く反応しない	■ 本製品が正しく接続されていない可能性があります。本製品をもう一度、奥までしっかりと差込み、接続してください。 ■ 省エネタイプのパソコンでは本製品への電源を OFF にしているものがあります。本製品の表示ランプが消灯している場合は本製品への電源が供給されていない可能性がありますので、パソコンの取扱説明書に従い、電源の状態を確認してください。 ■ お使いのパソコンにより、本製品を接続しても、自動でセットアップが開始されない場合があります。 デスクトップ画面上から[エクスプローラ]を開き、[UX302NC Data Connection Manager]フォルダの中の[Setup_vx.x.x.exe]をダブルクリックしてください。セットアップを開始します。 ■ 本製品のドライバが正常に機能していない可能性があります。ドライバが正しく設定されていることを確認の上、本製品をパソコンへ接続してください。
本製品をパソコンに認識させたのにコネクションマネージャーから使えない	■ 本製品がパソコンに正しく接続されているか確認してください。 ■ 本製品がパソコンに正しく認識されているか確認してください。さらに手順に従って各項目を確認してください。
コネクションマネージャーや Web UI がうまく動かない	■ 途中まで動作する場合、あるいは一部の機能は動作するが全体としてうまく動作しない場合、設定が不適切な可能性があります。設定内容を確認してください。 ■ パソコンの電源を一度 OFF にし、再度電源を ON にしてください。 ■ パソコンの電池を確認してください。電池の残量が少なくなると動作が不安定になることがあります。電池の残量が少ない場合は、パソコンに付属の AC アダプタを使用するか、新しい電池に交換してください。

症状	確認内容
通信できない、(発信できない)発信するとすぐ切れてしまう	■ 本製品に SIM カードが正しく取り付けられていることを確認してください。「SIM カードの取り付け方」⇒22 ページ) ■ SIM カードの PIN コードが有効、または PIN ロック状態、完全ロック状態になっている可能性があります。PIN コードの設定を確認してください。 ■ プロファイル情報([プロファイル名]、[接続番号]、[ユーザ名]、[パスワード]、[APN])で英数字の入力間違い、前後の余分なスペース(空白)などが入力されていないか、ご確認ください。 ■ お近くの基地局で使える回線がすべて他の人に使用されていると利用できない場合があります。しばらくしてから再度発信してみてください。 ■ 電波の状態や回線の状態が悪いことがあります。表示ランプの点灯時間が短い点滅している場合は、電波の届きにくい場所にいる可能性がありますので、安定して点灯する場所に移動してください。 ■ エラーコードが表示される場合、(「エラーコード」⇒139 ページ)をご覧ください
通信速度が遅く感じる	■ 電波の状態や回線の状態が悪いことがあります。表示ランプの点灯時間が短い点滅している場合は、電波の届きにくい場所にいる可能性がありますので、安定して点灯する場所に移動してください。
通信が安定しない	■ 電波の状態や回線の状態が悪いことがあります。表示ランプの点灯時間が短い点滅している場合は、電波の届きにくい場所にいる可能性がありますので、安定して点灯する場所に移動してください。

よくある質問

ここではよく寄せられる質問について、その例を示します。

仕様について

Q どのパソコンに接続して通信ができますか？

Ⓐ USB インターフェースを装備したパソコンでご利用いただけます。
なお、最新の動作確認機種については当社ホームページをご覧ください。
https://www.ncxx.co.jp/

Q 動作確認機種に記載されていないパソコン、OS でも本製品は使用できますか？

Ⓐ 動作確認機種に関しましては、実際のパソコンを使用して確認を行っております。
従って、当社で確認できていない機種についてはホームページへの記載を行っておりませんが、ハード的に問題ない場合は対応 OS 搭載機種では動作します。

Q 本製品に USB メモリーとしての機能はありますか？

Ⓐ 本製品はメモリーとしての機能はございません。

Q 消費電力はどのくらいですか？

Ⓐ （「仕様」⇒146 ページ）をご覧ください。

機能について

Q 本製品で音声通話はできますか？

Ⓐ 音声通話はできません。

Q コネクションマネージャーのバージョンの確認方法を教えてください。

Ⓐ Windows の場合は、（「本体情報･設定」⇒62 ページ）をご覧ください。
macOS の場合は、（「本体情報･設定」⇒90 ページ）をご覧ください。

契約・修理について

Q 解約や契約の変更、修理をしたいのですが、どうしたらよいでしょうか？

Ⓐ ご契約、修理の詳細につきましては、ご契約の通信事業者の窓口へお問い合わせください。

仕様

製品名		UX302NC-R
対応 OS	**USB モデムモード**	● Windows 7 SP1 以降 [32bit/64bit] ● Windows 8.1 [32bit/64bit] ● Windows 10 [32bit/64bit] ● Windows 11 [64bit] ● Mac OS X 10.8 以降 [Intel] ● macOS 10.12 Sierra／10.13 High Sierra ／10.14 Mojave／10.15 Catalina [Intel] ● macOS 11 Big Sur [Intel/Apple Silicon] ● macOS 12 Monterey [Intel/Apple Silicon] ● macOS 13 Ventura [Intel/Apple Silicon] ● macOS 14 Sonoma [Intel/Apple Silicon] ● macOS 15 Sequoia [Intel/Apple Silicon]
	ルーターモード	● Windows 10 [32bit/64bit] ● Windows 11 [64bit] ● macOS 11 Big Sur [Intel/Apple Silicon] ● macOS 12 Monterey [Intel/Apple Silicon] ● macOS 13 Ventura [Intel/Apple Silicon] ● macOS 14 Sonoma [Intel/Apple Silicon] ● macOS 15 Sequoia [Intel/Apple Silicon] ● macOS 26 Tahoe [Intel/Apple Silicon] ● Chrome OS
インターフェース		USB2.0 USB モデムモード: Modem、NDIS、AT command ポート ※1 ルーターモード: RNDIS ポート、AT command ポート
外形寸法		88.0mm x 30.0mm x 12.2mm （USB プラグ収納時）突起部除く
重量		約 35g（本体）
使用電源		DC5.0V（パソコンの USB 端子より供給）
対応周波数		LTE : 800/1500/1800/2100MHz 3G : 800/850/2100MHz GSM : 850/900/1800/1900MHz
通信方式		LTE W-CDMA/HSPA GSM/GPRS/EDGE
最大消費電力（平均） ※2	**通信時**	LTE : 約 3.0W 3G : 約 2.3W GSM : 約 2.25W

待ち受け時 ネットワーク検索時	0.175W
環境条件(動作時)	温度環境条件:−10～+50℃
	湿度環境条件:15～90%RH
技術基準設計認証番号	D170131201

※1 IPv4v6 デュアルスタックは Windows NDIS モードのみサポートしています。
macOS RAS モードを使用して接続する場合、IPv6 通信は使用できません。NDIS モードを使用してください。

※2 この数値は、電源投入時や通信中の瞬間的なピーク電力を除いた値です。
電源電圧:5V、周囲温度:25℃での条件での規定となります。
この条件以外でのご使用では、数値が変動する場合があります。

用語集

HLR (Home Location Register)
3GPP 上で規定される加入者情報の管理機能、および呼処理機能を有する論理ノードです。

HSS (Home Subscriber Server)
3GPP 移動通信網における加入者情報データベースであり、認証情報および在圏情報の管理を行います。

IMSI (International Mobile Subscriber Identity)
UIM(User Identity Module)内に格納される、移動通信で使用するユーザごとの固有の番号です。

VLR (Visitor Location Register)
移動端末と HLR(Home Location Register) / HSS(Home Subscriber Server)の間に位置し、加入者情報を記録・管理するデータベースで、端末の移動管理などの機能を提供する論理ノードです。

GPRS (General Packet Radio Service)
GSM、UMTS で採用されているパケット通信システムです。

UMTS (Universal Mobile Telecommunications System)
第 3 世代移動通信方式の1つで、日本・ヨーロッパを中心に広く採用されています。

PLMN (Public Land Mobile Network)
移動通信システムを用いたサービスを提供するオペレータのことを示します。

SNDCP (Sub Network Dependent Convergence Protocol)
GSM 方式の GPRS において利用され、オプション機能として、パケット圧縮、解凍などを有するプロトコルです。

LLC (Logical Link Control)
GSM 方式の GPRS において利用され、再送制御および秘匿機能を有する論理的接続を提供するプロトコルです。

NSAPI (Netscape Server Application Programming Interface)
Sun Java System Web Server に搭載される API(アプリケーションプログラムインターフェース)のことです。

GGSN (Gateway GPRS Support Node)
PDN との接続点であり、IP アドレスの割り当てや、SGSN へのパケット転送などを行うゲートウェアです。

TFT (Traffic Flow Template)
携帯端末の IP アドレス(PDP アドレス)宛てのパケットに対するフィルタリング機能です。

Linked TI IE
セカンダリ PDP コンテキストからプライマリ PDP コンテキストを参照するために使用されます。

PDN (Packet Data Network)
EPC が接続する外部のネットワークです。

EPC (Evolved Packet Core)
LTE のコアネットワークです。

APN (Access Point Name)
接続ポイント名、企業ユーザなどが接続先として用意するネットワークの接続ポイント名です。

本製品の比吸収率（SAR）などについて

本製品の比吸収率（SAR）について

この機種［UX302NC-R］のデータ通信端末は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。
このデータ通信端末は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準（※）ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。
国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）で定めており、本データ通信端末に対するSARの許容値は2.0W/kgです。取扱説明書に記述する通常使用の場合、このデータ通信端末のSARの最大値は1.180W/kgです。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。
データ通信端末は、携帯電話等基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通信を行っている状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、データ通信端末の出力は小さくなります。
通信中は、身体から0.5センチ以上離し、かつその間に金属（部分）が含まれないようにしてください。このことにより、本データ通信端末が国の技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合していることを確認しています。
世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。
SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ
https://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm
一般社団法人電波産業会のホームページ
https://www.arib-emf.org/01denpa/denpa02-02.html

（※）技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則14条の2）で規定されています。

FCC Regulations

This device complies with part 15 of the FCC Rules.
Operation is subject to the following two conditions:
(1) This device may not cause harmful interference.
(2) This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

This equipment has been tested and found to comply with the limits of a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications.
However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation; if this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

1. Reorient/relocate the receiving antenna.
2. Increase the separation between the equipment and receiver.
3. Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
4. Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

Caution:
Changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

Radio Wave Exposure Information

This Product meets the government's requirements for exposure to radio waves.
The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons regardless of age or health.
FCC RF Exposure Information and Statement the SAR limit of USA (FCC) is 1.6 W/kg averaged over one gram of this Device MiFi (FCC ID：SLKUX302NC-R) has been tested against this SAR limit.
The SAR value of the device is 1.12 W/kg, meet the standards. SAR information on this can be viewed on-line at http://www.fcc.gov/oet/ea/fccid/.
Please use the device FCC ID number for search. This device was tested for typical operations 5mm from the body. To maintain compliance with FCC RF exposure requirements, 5mm separation distance should maintain to the user's bodies.

European RF Exposure Information

This device meets guidelines for exposure to radio waves. Your device is a LTE Modem. As recommended by international guidelines, the device is designed not to exceed the limits for exposure to radio waves. These guidelines were developed by the International Commission on Non-Ionizing Radiation Protection (ICNIRP), an independent scientific organization, and include safety measures designed to ensure the safety of all users, regardless of age and health. The Specific Absorption Rate (SAR) is the unit of measurement for the amount of radio frequency energy absorbed by the body when using a device. The SAR value is determined at the highest certified power level in laboratory conditions, but the actual SAR level during operation can be well below the value. This is because the device is designed to use the minimum power required to reach the network. The SAR limit adopted by Europe is 2.0W/kg averaged over 10grams of tissue, the SAR value of the device is 1.390W/kg at the separation distance of 5mm from the body, meet the standards. For electronic safety, maintain the separation distance with accessories containing no metal and positioning the device while operating is typically below that indicated above. This is due to automatic changes to the power level of the device to ensure it only uses the minimum level required to reach the network.
※The tests are carried out in accordance with international guidelines for testing.

Regulatory conformance

- **Statement**
  Hereby, NCXX Inc. declares that the radio equipment type UX302NC-R is in compliance with Directive 2014/53/EU and this product is allowed to be used in all EU member states.
  The full text of the EU declaration of conformity is available at the following internet address:
  https://www.ncxx.co.jp/

- **Frequency and Power**
  GSM:
  900MHz : 32dBm
  1800MHz : 29.5dBm
  WCDMA:
  BandI : 23.5dBm
  LTE FDD:
  Band1/3 : 23 dBm

製造元：株式会社 ネクス
〒025-0323　岩手県花巻市椚ノ目 2-32-1
URL　https://www.ncxx.co.jp/
TEL　050-3101-3755(一般電話･公衆電話･携帯電話･PHS 共通)

Rev. 2.0